



WebOTX アプリケーション開発ガイド

WebOTX アプリケーション開発ガイド

バージョン：8.1

版数：第3版

リリース：2009年4月

Copyright (C) 1998 – 2009 NEC Corporation. All rights reserved.

目次

1. Developer's Studio	3
1.4. 配備記述子エディタ	3
1.4.1. 配備記述子エディタのweb.xmlエディタ	3
1.4.2. nec-web.xmlファイルの要素	118

1.Developer's Studio

本章では、WebOTX 開発環境の機能を使いこなすための詳細な説明を行います。また、WebOTX が提供する API の利用方法について説明します。

1.4.配備記述子エディタ

配備記述子エディタについて、説明します

1.4.1.配備記述子エディタの web.xml エディタ

概要

web.xml エディタは、Eclipse 用のプラグインです。

本プラグインは Eclipse に以下の機能を追加します。

web.xml ファイル新規作成機能

web.xml ファイルを新規作成するためのウィザードを提供します。

web.xml ファイル編集機能

Java Servlet 2.5 仕様/JavaServer Pages 2.1 仕様に対応した web.xml ファイルの編集を支援する機能を提供します。

Eclipse のパッケージ・エクスプローラで web.xml ファイルを右クリックし、ポップアップ・メニューから「アプリケーションから開く」→「配備記述子エディタ(web.xml)」を実行することにより、web.xml エディタが起動し、web.xml ファイルを編集できます。

web.xml ファイルバージョン変換機能

Java Servlet 2.4 仕様/JavaServer Pages 2.0 仕様または Java Servlet 2.3 仕様/JavaServer Pages 1.2 仕様の web.xml ファイルを読み込んで、Java Servlet 2.5 仕様/JavaServer Pages 2.1 仕様の web.xml ファイルに変換する機能を提供します。

nec-web.xml ファイル編集機能

nec-web.xml ファイルの編集を支援する機能を提供します。

nec-web.xml ファイルは、Web アプリケーションに対して WebOTX 固有のオプションを設定するためのファイルです。

nec-web.xml ファイルと同じディレクトリにある web.xml ファイルを web.xml エディタで開くことにより、nec-web.xml ファイルも web.xml エディタで編集できるようになります。

環境設定

web.xml エディタは、“web.xml”というファイル名に関連付いていますので、ファイル名 “web.xml” の web.xml ファイルを編集する場合には、特に設定することはありません。

任意の名前で保存した web.xml ファイルを web.xml エディタで編集したい場合には、web.xml エディタとそ

のファイル名を関連付ける必要があります。設定方法については、「web.xml エディタとファイルの関連付け」を参照してください。

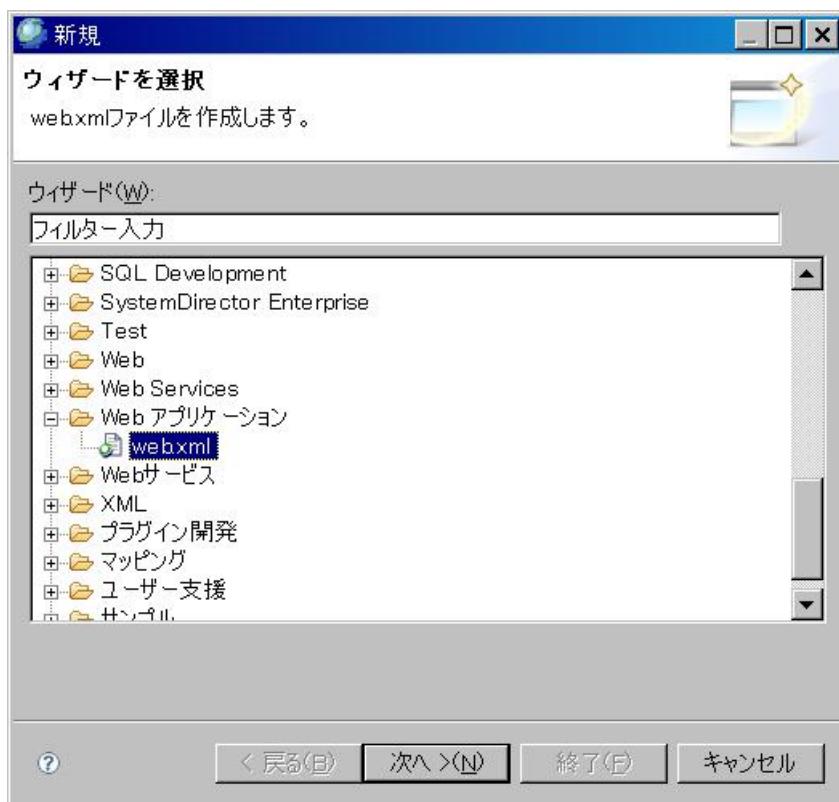
機能説明

web.xml エディタの使用方法について説明します。

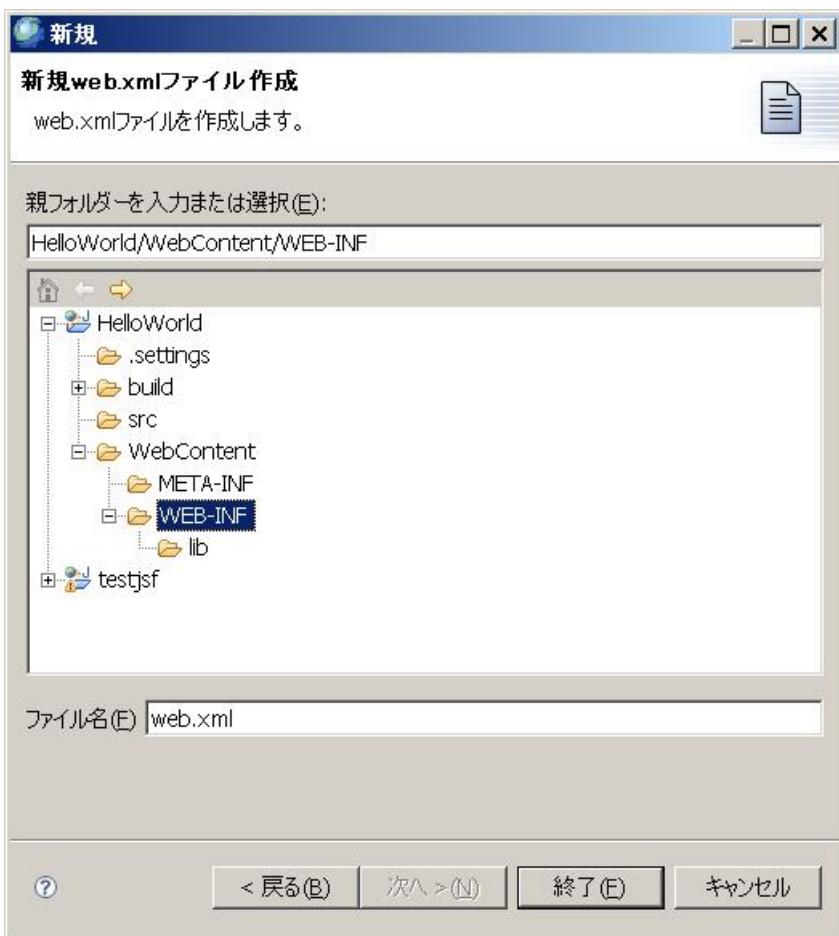
新規 web.xml と nec-web.xml の作成

新しい web.xml と nec-web.xml ファイルは以下の手順で作成することができます。

1. Eclipse を起動します。
2. メニューから「ファイル」→「新規」→「その他」を選択するか、ツールバーの「新規」ボタン  をクリックして、「新規ウィザード」を起動します。



3. 「新規ウィザード」の「Web アプリケーション」から「web.xml」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。
4. 「新規 web.xml ウィザード」の「親フォルダーを入力または選択」に web.xml ファイルの格納先 (Web アプリケーションのルートフォルダ/WEB-INF) を設定します。



5. 「ファイル名」に web.xml ファイル名 (web.xml) を設定して、「終了」ボタンをクリックします。
6. 新規 web.xml ファイルと nec-web.xml ファイルがでて、web.xml エディタが開きます。
7. web.xml エディタで web.xml ファイルを開くと、web.xml ファイルと nec-web.xml ファイルのバックアップファイル (webotx_web.bak, webotx_nec-web.bak) ができます。web.xml エディタを閉じると、バックアップファイルは削除します。

※ “web.xml”以外のファイル名を設定した場合は、web.xml エディタとファイルの関連付けを行う必要がありますので、「web.xml エディタとファイルの関連付け」を参照してください。

既存 web.xml の編集

既存の web.xml ファイルを web.xml エディタで編集するには、以下の方法で web.xml ファイルを開きます。

- Eclipse のパッケージ・エクスプローラで、web.xml ファイルを右クリックし、ポップアップ・メニューから「アプリケーションから開く」—「配備記述子エディタ(web.xml)」を選択します。

- ※ web.xml ファイルの名前が“web.xml”でない場合は、web.xml エディタとファイルの関連付けを行う必要がありますので、「web.xml エディタとファイルの関連付け」を参照してください。
- ※ web.xml ファイルと同じディレクトリに nec-web.xml ファイルがあれば、web.xml エディタは、nec-web.xml ファイルも一緒に読み込みます。
- ※ nec-web.xml ファイルに問題があれば、web.xml エディタはそのファイルの内容を webotx_nec-web.save ファイルに保存して、「nec-web.xml が無効なファイルです。配備記述子エディタは新しいファイルを作成します。」というエラーメッセージボックスを表示し、新しい nec-web.xml フ

アイルを作成します。

web.xml の保存

web.xml ファイルを保存するには、2 つの方法があります。

- Eclipse のメニューから「ファイル」→「保管」を選択します。
 - Eclipse のツールバーの「保管」ボタン をクリックします。
- ※ 保存した時点でバックアップファイルも更新します。

web.xml エディタとファイルの関連付け

web.xml エディタと任意の名前の web.xml ファイルを以下の手順で関連付けることができます。

1. Eclipse を起動します。
2. メニューから「ウィンドウ」→「設定」を選択します。
3. 「設定」ウィンドウで、「一般」→「エディター」カテゴリを拡張して、「ファイルの関連付け」を選択します。
4. 「ファイル・タイプ」リストの「追加」ボタンをクリックし、web.xml エディタに関連付けたい web.xml ファイルの名前を追加します。
5. 「ファイル・タイプ」リストで、追加した web.xml ファイル名を選択し、「関連付けられたエディタ」リストの「追加」ボタンをクリックします。
6. 「エディターの選択ダイアログ」で、「内部エディター」の中から「 配備記述子エディタ(web.xml)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
7. 「設定」ウィンドウの「OK」ボタンをクリックして、web.xml エディタと任意の名前の web.xml ファイルの関連付けを終了します。

web.xml のバージョン

WebOTX web.xml エディタの GUI ページで編集できるのは、Java Servlet 2.5 仕様/JavaServer Pages 2.1 仕様(バージョン 2.5 形式)の web.xml ファイルだけです。

既存の Java Servlet 2.4 仕様(バージョン 2.4 形式)または Java Servlet 2.3 仕様(バージョン 2.3 形式)の web.xml ファイルを編集するには、2 つの方法があります。

● バージョン 2.5 形式に変換して編集する方法

手順は以下のとおりです。

1. バージョン 2.4 またはバージョン 2.3 形式の web.xml ファイルを web.xml エディタで開きます。
2. バージョン変換の問い合わせメッセージボックスで「はい」ボタンをクリックします。
3. web.xml エディタがバージョン 2.5 形式に変換して開きますので、変更を保存します。
4. バージョン 2.5 形式の web.xml ファイルとして編集、保存します。

● バージョン 2.4 またはバージョン 2.3 形式のまま編集する方法

手順は以下のとおりです。

- バージョン 2.4 またはバージョン 2.3 形式の web.xml ファイルを web.xml エディタで開きます。
- バージョン変換の問い合わせメッセージボックスで「いいえ」ボタンをクリックします。
- web.xml エディタはバージョン 2.4 またはバージョン 2.3 形式のまま読み込んで「標準 D.D」ページに表示します。
- バージョン 2.4 またはバージョン 2.3 形式の web.xml ファイルとして編集、保存します。

〈注意〉

バージョン 2.4 またはバージョン 2.3 形式の場合、「標準 D.D」ページでしか編集できません。また、スキーマによる妥当性チェックは行いますので、エラーがある場合は、問題ビューにエラーメッセージを表示します。

サポートする要素

Java Servlet 2.5 仕様で web.xml ファイルに使用できる要素をすべてサポートします。

サポートする要素の一覧を以下に示します。

番号	要素	対応する編集画面
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>	「一般」ページ:「エンコーディング」 必須(1 個)
2	<web-app xmlns="http://java.sun.com/xml/ns/javaee" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema- instance" xsi:schemaLocation="http://java.sun.com/xml/ns/ javaee web-app_2_5.xsd" version="2.5" metadatacomplete="true">	編集不可 必須(1 個) 「一般」ページ:「完全メタデータ」 任意(0~1 個)
3	<description> </description>	「一般」ページ:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
4	<display-name> </display-name>	「一般」ページ:「表示名」 任意(0 個以上)*1
5	<icon>	「一般」ページ:「アイコン...」ボタン: 「アイコンダイアログ」 任意(0 個以上)*1
6	<small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイコン」 任意(0~1 個)
7	<large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイコン」 任意(0~1 個)
	</icon>	
8	<distributable />	「一般」ページ:「詳細設定...」ボタン: 「詳細設定ダイアログ」:「配布可」 任意(0 個以上)*2
9	<context-param>	「コンテキスト」ページ:コンテキスト パラメータリストの 1 行 任意(0 個以上)
10	<description> </description>	コンテキストパラメータリストの 1 行:「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
11	<param-name> </param-name>	コンテキストパラメータリストの 1 行:「パラメータ」 必須(1 個)

12	<param-value> </param-value>	コンテキストパラメータリストの 1 行:「値」 必須(1 個)
	</context-param>	
13	<filter>	「filtratマッピング」ページ :「フィルタリスト編集...」ボタン:「フィルタリスト編集ダイアログ」:サーブレット フィルタリストの 1 行 任意(0 個以上)
14	<description> </description>	サーブレットフィルタリストの 1 行: 「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
15	<display-name> </display-name>	サーブレットフィルタリストの 1 行: 「表示名」 任意(0 個以上)*1
16	<icon>	サーブレットフィルタリストの 1 行: 「アイコン」:「アイコンダイアログ」 任意(0 個以上)*1
17	<small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイコン」 任意(0~1 個)
18	<large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイコン」 任意(0~1 個)
	</icon>	
19	<filter-name> </filter-name>	サーブレットフィルタリストの 1 行: 「フィルタ名」 必須(1 個)
20	<filter-class> </filter-class>	サーブレットフィルタリストの 1 行: 「フィルタクラス」 必須(1 個)
21	<init-param>	サーブレットフィルタリストの 1 行: 初期化パラメータリストの 1 行 任意(0 個以上)
22	<description> </description>	初期化パラメータリストの 1 行:「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
23	<param-name> </param-name>	初期化パラメータリストの 1 行:「パラメータ」 必須(1 個)
24	<param-value> </param-value>	初期化パラメータリストの 1 行: 「値」 必須(1 個)
	</init-param>	
	</filter>	
25	<filter-mapping>	「filtratマッピング」ページ :サー ブレットフィルタマッピングリストの 1 行 任意(0 個以上)
26	<filter-name> </filter-name>	サーブレットフィルタマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「フィルタ設定ダイアログ」:「フィルタ名」 必須(1 個)
27-1	<url-pattern> </url-pattern>	サーブレットフィルタマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「フィルタ設定ダイアログ」の 1 行:「編集...」 ボタン:「ターゲット設定ダイアロ グ」:「URL パターン」 url-pattern または servlet-name が

		必須(1 個以上)
27-2	< servlet-name> </servlet-name>	サーブレットフィルタマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「フィルタ設定ダイアログ」の 1 行:「編集...」ボタン:「ターゲット設定ダイアログ」:「サーブレット」
28	< dispatcher> </dispatcher>	サーブレットフィルタマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「フィルタ設定ダイアログ」:「ディスパッチャ」任意(0 個~4 個)
	</filter-mapping>	
29	< listener>	「リスナ」ページ :リスナリストの 1 行 任意(0 個以上)
30	< description> </description>	リスナリストの 1 行:「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
31	< display-name> </display-name>	リスナリストの 1 行:「表示名」 任意(0 個以上)*1
32	< icon>	リスナリストの 1 行:「アイコン」:「アイコンダイアログ」 任意(0 個以上)*1
33	< small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイコン」 任意(0~1 個)
34	< large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイコン」 任意(0~1 個)
	</icon>	
35	< listener-class> </listener-class>	リスナリストの 1 行:「リスナクラス」 必須(1 個)
	</listener>	
36	< servlet>	「サーブレット」ページ:サーブレットリストの 1 行 任意(0 個以上)
37	< description> </description>	サーブレットリストの 1 行:「編集...」 ボタン:「サーブレット設定ダイアログ」:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
38	< display-name> </display-name>	サーブレットリストの 1 行:「編集...」 ボタン:「サーブレット設定ダイアログ」:「表示名」 任意(0 個以上)*1
39	< icon>	サーブレットリストの 1 行:「編集...」 ボタン:「サーブレット設定ダイアログ」:「アイコン...」ボタン:「アイコンダイアログ」 任意(0 個以上)*1
40	< small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイコン」 任意(0~1 個)
41	< large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイコン」 任意(0~1 個)
	</icon>	
42	< servlet-name> </servlet-name>	サーブレットリストの 1 行:「編集...」 ボタン:「サーブレット設定ダイアログ」:「サーブレット名」

		必須(1 個)
43-1	< servlet-class> </servlet-class>	サーブレットリストの 1 行:「編集...」ボタン:「サーブレット設定ダイアログ」:「サーブレット」servlet-class または jsp-file が必須(1 個)
43-2	<jsp-file></jsp-file>	サーブレットリストの 1 行:「編集...」ボタン:「サーブレット設定ダイアログ」:「JSP」
44	<init-param>	サーブレットリストの 1 行:「初期化パラメータ」タブ:初期化パラメータリストの 1 行 任意(0 個以上)
45	<description> </description>	初期化パラメータリストの 1 行:「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
46	<param-name> </param-name>	初期化パラメータリストの 1 行:「パラメータ」 必須(1 個)
47	<param-value> </param-value>	初期化パラメータリストの 1 行: 「値」 必須(1 個)
	</init-param>	
48	<load-on-startup> </load-on-startup>	サーブレットリストの 1 行:「編集...」 ボタン:「サーブレット設定ダイアログ」:「ロード順」 任意(0~1 個)
49	<run-as>	サーブレットリストの 1 行:「セキュリティ」タブ:「実行タイプ」 任意(0~1 個)
50	<description> </description>	「実行タイプ」:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
51	<role-name> </role-name>	「実行タイプ」 任意(0~1 個)
	</run-as>	
52	<security-role-ref>	サーブレットリストの 1 行:「セキュリティ」タブ:ロール参照リストの 1 行 任意(0 個以上)
53	<description> </description>	ロール参照リストの 1 行:「説明」: 「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
54	<role-name> </role-name>	ロール参照リストの 1 行:「ロール名」 必須(1 個)
55	<role-link> </role-link>	ロール参照リストの 1 行:「ロールリンク」 任意(0~1 個)
	</security-role-ref>	
	</servlet>	
56	<servlet-mapping>	サーブレットリストの 1 行:「URL」タブ:URL パターンリストの 1 行 任意(0 個以上)
57	<servlet-name> </servlet-name>	サーブレットリストの 1 行:「サーブレット名」 必須(1 個)
58	<url-pattern> </url-pattern>	URL パターンリストの 1 行:「URL パターン」 必須(1 個以上)

	</servlet-mapping>	
59	<session-config>	「一般」ページ:「詳細設定...」ボタン:「詳細設定ダイアログ」:「セッションタイムアウト」 任意(0 個以上)*3
60	<session-timeout> </session-timeout>	「セッションタイムアウト」 任意(0~1 個)
	</session-config>	
61	<mime-mapping>	「一般」ページ:「詳細設定...」ボタン:「詳細設定ダイアログ」:MIME マッピングリストの 1 行 任意(0 個以上)
62	<extension></extension>	MIME マッピングリストの 1 行:「拡張子」 必須(1 個)
63	<mime-type></mime-type>	MIME マッピングリストの 1 行: 「MIME タイプ」 必須(1 個)
	</mime-mapping>	
64	<welcome-file-list>	「ファイル参照」ページ:welcome ファイルリスト 任意(0 個以上)*4
65	<welcome-file> </welcome-file>	welcome ファイルリストの 1 行 必須(1 個以上)
	</welcome-file-list>	
66	<error-page>	「ファイル参照」ページ:エラーマッピングリストの 1 行 任意(0 個以上)
67-1	<error-code> </error-code>	エラーマッピングリストの 1 行:「エラーコード/例外」 error-code または exception-type が必須(1 個)
67-2	<exception-type> </exception-type>	エラーマッピングリストの 1 行:「エラーコード/例外」
68	<location></location>	エラーマッピングリストの 1 行:「リソースの場所」 必須(1 個)
	</error-page>	
69	<jsp-config>	「ファイル参照」ページ:JSP タグライブラリリスト、「JSP プロパティ」ページ 任意(0 個以上)*3
70	<taglib>	「ファイル参照」ページ:JSP タグライブラリリストの 1 行 任意(0 個以上)
71	<taglib-uri> </taglib-uri>	JSP タグライブラリリストの 1 行: 「URI」 必須(1 個)
72	<taglib-location> </taglib-location>	JSP タグライブラリリストの 1 行:「タグライブラリの場所」 必須(1 個)
	</taglib>	
73	<jsp-property-group>	「JSP プロパティ」ページ:JSP プロパティグループリストの 1 行 任意(0 個以上)
74	<description> </description>	JSP プロパティグループリストの 1 行:「説明」「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1

75	<display-name> </display-name>	JSP プロパティグループリストの 1 行:「グループ名」 任意(0 個以上)*1
76	<icon>	JSP プロパティグループリストの 1 行:「アイコン」「アイコンダイアログ」 任意(0 個以上)
77	<small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイコン」 任意(0~1 個)
78	<large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイコン」 任意(0~1 個)
	</icon>	
79	<url-pattern> </url-pattern>	JSP プロパティグループリストの 1 行:URL パターンリストの 1 行 任意(1 個以上)
80	<el-ignored> </el-ignored>	JSP プロパティグループリストの 1 行:「EL 無効」 任意(0~1 個)
81	<page-encoding> </page-encoding>	JSP プロパティグループリストの 1 行:「ページエンコーディング」 任意(0~1 個)
82	<scripting-invalid> </scripting-invalid>	JSP プロパティグループリストの 1 行:「スクリプト無効」 任意(0~1 個)
83	<is-xml></is-xml>	JSP プロパティグループリストの 1 行:「XML ドキュメント」 任意(0~1 個)
84	<include-prelude> </include-prelude>	JSP プロパティグループリストの 1 行:先頭にインクルードするファイルリストの 1 行 任意(0 個以上)
85	<include-coda> </include-coda>	JSP プロパティグループリストの 1 行:末尾にインクルードするファイルリストの 1 行 任意(0 個以上)
	</jsp-property-group>	
	<jsp-config>	
86	<security-constraint>	「セキュリティ」ページ:セキュリティ制約リストの 1 行 任意(0 個以上)
87	<display-name> </display-name>	セキュリティ制約リストの 1 行 任意(0 個以上)*1
88	<web-resource-collection>	セキュリティ制約リストの 1 行:Web リソースコレクションリストの 1 行 任意(1 個以上)
89	<web-resource-name> </web-resource-name>	Web リソースコレクションリストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web リソースコレクション編集ダイアログ」:「コレクション名」 必須(1 個)
90	<description> </description>	Web リソースコレクションリストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web リソースコレクション編集ダイアログ」:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
91	<url-pattern> </url-pattern>	Web リソースコレクションリストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web リソースコ

		レクション編集ダイアログ」:URL パターンリストの 1 行 任意(1 個以上)
92	<http-method> </http-method>	Web リソースコレクションリストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web リソースコレクション編集ダイアログ」:「HTTP メソッド」 任意(0~1 個)
	</web-resource-collection>	
93	<auth-constraint>	セキュリティ制約リストの 1 行:「認定ロール」 任意(0~1 個)
94	<description> </description>	「認定ロール」:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
95	<role-name> </role-name>	「認定ロール」:すべてのロール/ロールの一覧 任意(0 個以上)
	</auth-constraint>	
96	<user-data-constraint>	セキュリティ制約リストの 1 行:「転送保証」 任意(0~1 個)
97	<description> </description>	「転送保証」:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
98	<transport-guarantee> </transport-guarantee>	「転送保証」 必須(1 個)
	</user-data-constraint>	
	</security-constraint>	
99	<login-config>	「セキュリティ」ページ:「ユーザ認証方法」 任意(0 個以上)*3
100	<auth-method> </auth-method>	「ユーザ認証方法」 任意(0~1 個)
101	<realm-name> </realm-name>	「ユーザ認証方法」:「設定...」ボタン:「ユーザ認証設定ダイアログ」: 「ルーム名」 任意(0~1 個)
102	<form-login-config>	「ユーザ認証方法」:「設定...」ボタン:「ユーザ認証設定ダイアログ」 任意(0~1 個)
103	<form-login-page> </form-login-page>	「ユーザ認証設定ダイアログ」:「ログインページ」 必須(1 個)
104	<form-error-page> </form-error-page>	「ユーザ認証設定ダイアログ」:「エラーページ」 必須(1 個)
	</form-login-config>	
	</login-config>	
105	<security-role>	「ロール」ページ:ロールリストの 1 行 任意(0 個以上)
106	<description> </description>	ロールリストの 1 行:「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
107	<role-name> </role-name>	ロールリストの 1 行:「ロール名」 必須(1 個)
	</security-role>	

108	<env-entry>	「環境エントリ」ページ:環境エントリリストの 1 行 任意(0 個以上)
109	<description> </description>	環境エントリリストの 1 行:「説明」: 「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
110	<env-entry-name> </env-entry-name>	環境エントリリストの 1 行:「名前」 必須(1 個)
111	<env-entry-type> </env-entry-type>	環境エントリリストの 1 行:「型」 任意(0~1 個)
112	<env-entry-value> </env-entry-value>	環境エントリリストの 1 行:「値」 任意(0~1 個)
113	<mapped-name> </mapped-name>	環境エントリリストの 1 行:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「マップ名」 任意(0~1 個)
114	<injection-target>	環境エントリリストの 1 行:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「インジェクションターゲット」 任意(0 個以上)
115	<injection-target-class> </injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)
116	<injection-target-name> </injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲット名」 必須(1 個)
	</injection-target>	
	</env-entry>	
117	<ejb-ref>	「EJB 参照」ページ:EJB 参照リストの 1 行(「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「インターフェース」が Remote の場合) 任意(0 個以上)
118	<description> </description>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」: 「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
119	<ejb-ref-name> </ejb-ref-name>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」: 「参照名」 必須(1 個)
120	<ejb-ref-type> </ejb-ref-type>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」: 「タイプ」 任意(0~1 個)
121	<home></home>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」: 「ホームインターフェース」 任意(0~1 個)
122	<remote></remote>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」: 「ローカル/リモートインターフェース」 任意(0~1 個)
123	<ejb-link></ejb-link>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」: 「エンタプライズ Bean」 任意(0~1 個)

124	<mapped-name> </mapped-name>	「EJB 参照設定ダイアログ」:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「マップ名」 任意(0~1 個)
125	<injection-target>	「EJB 参照設定ダイアログ」:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「インジェクションターゲット」 任意(0個以上)
126	<injection-target-class> </injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)
127	<injection-target-name> </injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲット名」 必須(1 個)
	</injection-target>	
	</ejb-ref>	
128	<ejb-local-ref>	「EJB 参照」ページ:EJB 参照リストの 1 行(「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「インターフェース」が Local の場合) 任意(0 個以上)
129	<description> </description>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
130	<ejb-ref-name> </ejb-ref-name>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「参照名」 必須(1 個)
131	<ejb-ref-type> </ejb-ref-type>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「タイプ」 任意(0~1 個)
132	<local-home> </local-home>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「ホームインターフェース」 任意(0~1 個)
133	<local></local>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「ローカル/リモートインターフェース」 任意(0~1 個)
134	<ejb-link></ejb-link>	EJB 参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「EJB 参照設定ダイアログ」:「エンタプライズ Bean」 任意(0~1 個)
135	<mapped-name> </mapped-name>	「EJB 参照設定ダイアログ」:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「マップ名」 任意(0~1 個)
136	<injection-target>	「EJB 参照設定ダイアログ」:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「インジェクションターゲット」 任意(0個以上)
137	<injection-target-class> </injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)

138	<injection-target-name> </injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲット名」必須(1 個)
	</injection-target>	
	</ejb-local-ref>	
139	<service-ref>	「Web サービス参照」ページ:Web サービス参照リストの 1 行 任意(0 個以上)
140	<description> </description>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」任意(0 個以上)*1
141	<display-name> </display-name>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「表示名」任意(0 個以上)*1
142	<icon>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「アイコン...」ボタン:「アイコンダイアログ」任意(0 個以上)*1
143	<small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイコン」任意(0~1 個)
144	<large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイコン」任意(0~1 個)
	</icon>	
145	<service-ref-name> </service-ref-name>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「参照名」必須(1 個)
146	<service-interface> </service-interface>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「インターフェース」必須(1 個)
147	<wsdl-file></wsdl-file>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「WSDL ファイル」任意(0~1 個)
148	<jaxrpc-mapping-file> </jaxrpc-mapping-file>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「マッピングファイル」任意(0~1 個)
149	<service-qname> </service-qname>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「サービス QName」任意(0~1 個)
150	<port-component-ref>	Web サービス参照リストの 1 行:「編集...」ボタン:「Web サービス参照設定ダイアログ」:「ポートコンポーネント参照設定...」ボタン:「ポートコンポーネント参照設定ダイアログ」:「ポートコンポーネント参照リストの 1 行」任意(0 個以上)
151	<service-endpoint-interface> </service-endpoint-interface>	ポートコンポーネント参照リストの 1 行:「サービスエンドポイントインタ

		フェース」 必須(1 個)
152	<port-component-link> </port-component-link>	ポートコンポーネント参照リストの 1 行:「ポートコンポーネント名」 任意(0~1 個)
	</port-component-ref>	
153	<handler>	Web サービス参照リストの 1 行:「編 集...」ボタン:「Web サービス参照設 定ダイアログ」:「ハンドラ設定...」ボ タン:「ハンドラ設定ダイアログ」:ハ ンドラリストの 1 行 任意(0 個以上)
154	<description> </description>	ハンドラリストの 1 行:「説明」:「説明 ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
155	<display-name> </display-name>	ハンドラリストの 1 行:「表示名」 任意(0 個以上)*1
156	<icon>	ハンドラリストの 1 行:「アイコン」: 「アイコンダイアログ」 任意(0 個以上)*1
157	<small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイ コン」 任意(0~1 個)
158	<large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイ コン」 任意(0~1 個)
	</icon>	
159	<handler-name> </handler-name>	ハンドラリストの 1 行:「ハンドラ名」 必須(1 個)
160	<handler-class> </handler-class>	ハンドラリストの 1 行:「ハンドラクラ ス」 必須(1 個)
161	<init-param>	ハンドラリストの 1 行:「初期化パラ メータ」タブ:初期化パラメータリスト の 1 行 任意(0 個以上)
162	<description> </description>	初期化パラメータリストの 1 行:「説 明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
163	<param-name> </param-name>	初期化パラメータリストの 1 行:「パ ラメータ」 必須(1 個)
164	<param-value> </param-value>	初期化パラメータリストの 1 行: 「値」 必須(1 個)
	</init-param>	
165	<soap-header> </soap-header>	ハンドラリストの 1 行:「SOAP ヘッ ダ」タブ:SOAP ヘッダの 1 行 任意(0 個以上)
166	<soap-role> </soap-role>	ハンドラリストの 1 行:「SOAP ロー ル」タブ:SOAP ロールの 1 行 任意(0 個以上)
167	<port-name> </port-name>	ハンドラリストの 1 行:「ポート」タブ: ポートの 1 行 任意(0 個以上)
	</handler>	
	</service-ref>	
168	<resource-ref>	「リソース参照」ページ :リソースマ

		ネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行 任意(0 個以上)
169	<description></description>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行:「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
170	<res-ref-name></res-ref-name>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行:「参照名」 必須(1 個)
171	<res-type></res-type>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行:「型」 任意(0~1 個)
172	<res-auth></res-auth>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行:「認証」 任意(0~1 個)
173	<res-sharing-scope></res-sharing-scope>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行:「共有可能」 任意(0~1 個)
174	<mapped-name></mapped-name>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「マップ名」 任意(0~1 個)
175	<injection-target>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの 1 行:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「インジェクションターゲット」 任意(0 個以上)
176	<injection-target-class></injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)
177	<injection-target-name></injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲット名」 必須(1 個)
	</injection-target>	
	</resource-ref>	
178	<resource-env-ref>	「リソース環境参照」ページ :リソース環境参照リストの 1 行 任意(0 個以上)
179	<description></description>	リソース環境参照リストの 1 行:「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
180	<resource-env-ref-name></resource-env-ref-name>	リソース環境参照リストの 1 行:「参照名」 必須(1 個)
181	<resource-env-ref-type></resource-env-ref-type>	リソース環境参照リストの 1 行: 「型」 任意(0~1 個)
182	<mapped-name></mapped-name>	リソース環境参照リストの 1 行:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「マップ名」 任意(0~1 個)
183	<injection-target>	リソース環境参照リストの 1 行:「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「インジェクションターゲット」 任意(0 個以上)

184	<injection-target-class> </injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)
185	<injection-target-name> </injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲット名」 必須(1 個)
	</injection-target>	
	</resource-env-ref>	
186	<message-destination-ref>	「メッセージ宛先参照」ページ:メッセージ宛先参照リストの 1 行 任意(0 個以上)
187	<description> </description>	メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「編集...」ボタン:「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」「説明...」ボタン:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
188	<message-destination-ref-name> </message-destination-ref-name>	メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「編集...」ボタン:「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」「参照名」 必須(1 個)
189	<message-destination-type> </message-destination-type>	メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「編集...」ボタン:「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」「型」 任意(0~1 個)
190	<message-destination-usage> </message-destination-usage>	メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「編集...」ボタン:「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」「使用法」 任意(0~1 個)
191	<message-destination-link> </message-destination-link>	メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「編集...」ボタン:「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」「宛先名」 任意(0~1 個)
192	<mapped-name> </mapped-name>	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」「リソースグループ」「リソースグループの設定ダイアログ」「マップ名」 任意(0~1 個)
193	<injection-target>	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」「リソースグループ」「リソースグループの設定ダイアログ」「インジェクションターゲット」 任意(0 個以上)
194	<injection-target-class> </injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)
195	<injection-target-name> </injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行:「インジェクションターゲット名」 必須(1 個)
	</injection-target>	
	</message-destination-ref>	
196	<message-destination>	「メッセージ宛先」ページ:メッセージ宛先リストの 1 行 任意(0 個以上)
197	<description> </description>	メッセージ宛先リストの 1 行:「説明」「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
198	<display-name>	メッセージ宛先リストの 1 行:「表示

	</display-name>	名」 任意(0 個以上)*1	
199	<icon>	メッセージ宛先リストの 1 行:「アイコン」:「アイコンダイアログ」 任意(0 個以上)*1	
200	<small-icon> </small-icon>	「アイコンダイアログ」:「小さいアイコン」 任意(0~1 個)	
201	<large-icon> </large-icon>	「アイコンダイアログ」:「大きいアイコン」 任意(0~1 個)	
	</icon>		
202	<message-destination-name> </message-destination-name>	メッセージ宛先リストの 1 行:「宛先名」 必須(1 個)	
203	<mapped-name></mapped-name>	メッセージ宛先リストの 1 行:「マップ名」 任意(0~1 個)	
	</message-destination>		
204	<locale-encoding-mapping-list>	「一般」ページ:「詳細設定...」ボタン: 「詳細設定ダイアログ」:ロケールエンコーディングマッピングリスト 任意(0 個以上)*4	
205	<locale-encoding-mapping>	ロケールエンコーディングマッピングリストの 1 行 任意(1 個以上)	
206	<locale></locale>	ロケールエンコーディングマッピングリストの 1 行:「ロケール」 必須(1 個)	
207	<encoding></encoding>	ロケールエンコーディングマッピングリストの 1 行:「エンコーディング」 必須(1 個)	
	</locale-encoding-mapping>		
	</locale-encoding-mapping-list>		
208	<persistence-context-ref>	「永続コンテキスト参照」ページ: 永続コンテキスト参照リストの 1 行 任意(0 個以上)	
209	<description> </description>	永続コンテキスト参照リストの 1 行: 「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1	
210	<persistence-context-ref-name> </persistence-context-ref-name>	永続コンテキスト参照リストの 1 行: 「永続コンテキスト参照名」 必須(1 個)	
211	<persistence-unit-name> </persistence-unit-name>	永続コンテキスト参照リストの 1 行: 「永続結合名」 任意(0~1 個)	
212	<persistence-context-type> </persistence-context-type>	永続コンテキスト参照リストの 1 行: 「永続コンテキストタイプ」 任意(0~1 個)	
	<persistence-property>	永続コンテキスト参照リストの 1 行: 「永続プロパティ」:「永続プロパティの設定」ダイアログ:永続プロパティリストの 1 行 任意(0 個以上)	
214	<name> </name>	永続プロパティリストの一行:「名前」 必須(1 個)	
215	<value> </value>	永続プロパティリストの一行:「値」 必須(1 個)	

	</persistence-property>	
216	<mapped-name> </mapped-name>	永続コンテキスト参照リストの 1 行: 「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「マップ名」 任意(0~1 個)
217	<injection-target>	永続コンテキスト参照リストの 1 行: 「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「インジェクションターゲット」 任意(0 個以上)
218	<injection-target-class> </injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行: 「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)
219	<injection-target-name> </injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行: 「インジェクションターゲット名」 必須(1 個)
	</injection-target>	
	</persistence-context-ref>	
220	<persistence-unit-ref>	「永続結合参照」ページ : 永続結合参照リストの 1 行 任意(0 個以上)
221	<description> </description>	永続結合参照リストの 1 行: 「説明」:「説明ダイアログ」 任意(0 個以上)*1
222	<persistence-unit-ref-name> </persistence-unit-ref-name>	永続結合参照リストの 1 行: 「永続結合参照名」 必須(1 個)
223	<persistence-unit-name> </persistence-unit-name>	永続結合参照リストの 1 行: 「永続結合名」 任意(0~1 個)
224	<mapped-name> </mapped-name>	永続結合参照リストの 1 行: 「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「マップ名」 任意(0~1 個)
225	<injection-target>	永続結合参照リストの 1 行: 「リソースグループ」:「リソースグループの設定ダイアログ」:「インジェクションターゲット」 任意(0 個以上)
226	<injection-target-class> </injection-target-class>	「インジェクションターゲット」の 1 行: 「インジェクションターゲットクラス」 必須(1 個)
227	<injection-target-name> </injection-target-name>	「インジェクションターゲット」の 1 行: 「インジェクションターゲット名」 必須(1 個)
	</injection-target>	
	</persistence-unit-ref>	
228	<post-construct>	「ポストコンストラクト」ページ : ポストコンストラクトリストの 1 行 任意(0 個以上)
229	<lifecycle-callback-class> </lifecycle-callback-class>	ポストコンストラクトリストの 1 行: 「ライフサイクルコールバッククラス」 任意(0~1 個)
230	<lifecycle-callback-method> </lifecycle-callback-method>	ポストコンストラクトリストの 1 行: 「ライフサイクルコールバックメソッド」

		ド」 必須(1 個)
	</post-construct>	
231	<pre-destroy>	「破棄直前イベント」ページ：破棄直前イベントリストの 1 行 任意(0 個以上)
232	<lifecycle-callback-class> </lifecycle-callback-class>	破棄直前イベントリストの 1 行:「ライフサイクルコールバッククラス」 任意(0~1 個)
233	<lifecycle-callback-method> </lifecycle-callback-method>	破棄直前イベントリストの 1 行:「ライフサイクルコールバックメソッド」 必須(1 個)
	</pre-destroy>	
	</web-app>	

(*1)ただし、複数定義があっても GUI ページで編集できるのは最後の定義だけです。

(*2)ただし、複数定義しても、Web コンテナでは 1 つだけ定義しているのと同様に扱われる所以、0~1 個に制限します。複数定義がある場合、最後の定義を編集対象とし、それ以外の定義は「詳細設定ダイアログ」で OK ボタンをクリックした時点で削除します。

(*3)ただし、複数定義すると Web コンテナでエラーになるので、0~1 個に制限します。複数定義がある場合、エラーメッセージがでて標準 D.D ページが開きますので、1 つに修正してください

(*4)ただし、複数定義しても、Web コンテナではまとめて定義しているのと同様に扱われる所以、0~1 個に制限します。複数定義がある場合、全部をまとめて表示します。また、編集して保存すると 1 つにまとめて書き出します。

web.xml エディタの GUI ページでは、nec-web.xml ファイルに使用できるすべての要素はサポートしていません。

GUI ページでサポートする要素の一覧を以下に示します。

nec-web.xml ファイルで使用できるすべての要素については「nec-web.xml ファイルの要素」を参照してください。

番号	要素	対応する編集画面
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>	編集不可 必須(1 個)
2	<nec-web-app error-url ="a" httpservlet-security-provider ="b">	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の「error-url」と 「httpservlet-security-provider」 任意(0~1 個)
3	< context-root > </context-root>	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の「コンテキストルート」 任意(0~1 個)
4	<security-role-mapping>	「ロール」ページ:ロールリストの 1 行:「WebOTX 固有の設定」 任意(0 個以上)*1
5	<role-name></role-name>	ロールリストの 1 行:「ロール名」 必須(1 個)
6	<principal-name></principal-name>	ロールリストの 1 行:「WebOTX 固有の設定」の「Principal 名」タグ:Principal 名リストの 1 行: 「Principal 名」と「クラス名」 principal-name または group-name が必須(1 個以上)

7	<group-name></ group-name >	「ロールリストの 1 行」:「WebOTX 固有の設定」の「グループ名」タブ:「グループ名リストの 1 行」:「グループ名」 principal-name または group-name が必須(1 個以上)
	</security-role-mapping>	
8	<session-config>	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の「セッション...」ボタン:「セッションの設定」ダイアログ 任意(0~1 個)
9	<session-manager>	「セッションの設定」ダイアログ: 「session-manager」 任意(0~1 個)
10	<persistence-type></persistence-type>	「session-manager」:「persistence-type」 必須(1 個)
11	<manager-properties>	「session-manager」: 「manager-properties...」ボタン 任意(0~1 個)
12	<property></property>	「manager-properties...」ボタン: 「プロパティの設定」ダイアログ: プロパティグループの 1 行 任意(0 個以上)
	</manager-properties>	
13	<store-properties>	「session-manager」: 「store-properties...」ボタン 任意(0~1 個)
14	<property></property>	「store-properties...」ボタン:「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループの 1 行 任意(0 個以上)
	</store-properties>	
	</session-manager>	
15	<session-properties>	「セッションの設定」ダイアログ: 「session-properties...」ボタン 任意(0~1 個)
16	<property></property>	「session-properties...」ボタン:「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループの 1 行 任意(0 個以上)
	</session-properties>	
17	<cookie-properties>	「セッションの設定」ダイアログ: 「cookie-properties...」ボタン 任意(0~1 個)
18	<property></property>	「cookie-properties...」ボタン:「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループの 1 行 任意(0 個以上)
	</cookie-properties>	
	</session-config>	
19	<servlet>	「サーブレット」ページ:サーブレットリストの 1 行:「WebOTX 固有の設定」 任意(0 個以上)*2
20	<servlet-name></servlet-name>	サーブレットリストの 1 行:「サーブレット名」

		必須(1個)
21	<principal-name></principal-name>	サーブレットリストの1行: 「WebOTX 固有の設定」の 「Principal名」と「クラス名」 任意(0~1個)
	</servlet>	
22	<ejb-ref>	「EJB 参照」ページ:EJB 参照リストの1行:「WebOTX 固有の設定」 任意(0個以上)*2
23	<jndi-name></jndi-name>	EJB 参照リストの1行:「参照名」 必須(1個)
24	<res-ref-name></res-ref-name>	EJB 参照リストの1行:「WebOTX 固有の設定」の「JNDI名」 必須(1個)
	</ejb-ref>	
25	<resource-ref>	「リソース参照」ページ:リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの1行:「WebOTX 固有の設定」 任意(0個以上)*2
26	<res-ref-name></res-ref-name>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの1行:「参照名」 必須(1個)
27	<jndi-name></jndi-name>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの1行:「WebOTX 固有の設定」の「JNDI名」 必須(1個)
28	<default-resource-principal>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの1行:「WebOTX 固有の設定」 任意(0~1個)
29	<name></name>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの1行:「WebOTX 固有の設定」の「ユーザ名」 必須(1個)
30	<password></password>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストの1行:「WebOTX 固有の設定」の「パスワード」 必須(1個)
	</default-resource-principal>	
	</resource-ref>	
31	<resource-env-ref>	「リソース環境参照」ページ:リソース環境参照リストの1行: 「WebOTX 固有の設定」 任意(0個以上)*2
32	<resource-env-ref-name></resource-env-ref-name>	リソース環境参照リストの1行: 「参照名」 必須(1個)
33	<jndi-name></jndi-name>	リソース環境参照リストの1行: 「WebOTX 固有の設定」の「JNDI名」 必須(1個)
	</resource-env-ref>	
34	<cache max-entries="4096" timeout-in-seconds="30" enabled="true">	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の「キャッシング...」ボタン: 「キャッシングの設定」ダイアログ: 「最大エントリ数」、「タイムアウト」、「使用可」

		任意(0~1 個)
35	<cache-helper>	「キャッシュの設定」ダイアログ:cache-helper リストの 1 行 任意(0 個以上)
36	<name></name>	cache-helper リストの 1 行:「名前」 必須(1個)
37	<class-name></class-name>	cache-helper リストの 1 行:「クラス名」 必須(1個)
38	<property></property>	cache-helper リストの 1 行:「プロパティ」:「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループリストの 1 行 任意(0 個以上)
	</cache-helper>	
39	<default-helper>	「キャッシュの設定」ダイアログ:「default-helper...」ボタン 任意(0~1 個)
40	<property></property>	「default-helper...」ボタン:「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループリストの 1 行 任意(0 個以上)
	</default-helper>	
41	<property></property>	「キャッシュの設定」ダイアログ:「プロパティ...」ボタン:「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループリストの 1 行 任意(0 個以上)
42	<cache-mapping>	「キャッシュの設定」ダイアログ:キャッシュマッピングリストの 1 行 任意(0 個以上)
43	<url-pattern></url-pattern>	キャッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キャッシュマッピングの設定」ダイアログ:マッピング型:「URL パターン」 servlet-name または url-pattern が必須(1個)
44	<servlet-name></servlet-name>	キャッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キャッシュマッピングの設定」ダイアログ:「マッピング型」:「サーブレット」 servlet-name または url-pattern が必須(1個)
45	<cache-helper-ref></cache-helper-ref>	キャッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キャッシュマッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「cache-helper-ref の参照」「cache-helper-ref の参照」または「その他」が必須(1個)
46	<timeout></timeout>	キャッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キャッシュマッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「その他の設定...」ボタン:「その他の設定」ダイアログ:「タイムアウト設定」 任意(0~1 個)
47	<refresh-field></refresh-field>	キャッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キャッシュマ

		「ツッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「その他の設定...」ボタン:「その他の設定」ダイアログ:「refresh-field」 任意(0~1 個)
48	<dispatcher></dispatcher>	キヤッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キヤッシュマッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「その他の設定...」ボタン:「その他の設定」ダイアログ:「dispatcher」 任意(0 個以上)
49	<http-method></http-method>	キヤッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キヤッシュマッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「その他の設定...」ボタン:「その他の設定」ダイアログ:「http-method」 任意(0 個以上)
50	<key-field></key-field>	キヤッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キヤッシュマッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「その他の設定...」ボタン:「その他の設定」ダイアログ:「key-field」 任意(0 個以上)
51	<constraint-field>	キヤッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キヤッシュマッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「その他の設定...」ボタン:「その他の設定」ダイアログ:「constraint-field」 任意(0 個以上)
52	<constraint-field-value></constraint-field-value>	キヤッシュマッピングリストの 1 行:「編集...」ボタン:「キヤッシュマッピングの設定」ダイアログ:「制約」:「その他の設定...」ボタン:「その他の設定」ダイアログ:「constraint-field」: 「constraint-field-value」 任意(0 個以上)
	</constraint-field>	
	</cache-mapping>	
	</cache>	
53	<class-loader>	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の「クラスローダ...」ボタン:「クラスローダの設定」ダイアログ 任意(0~1 個)
54	<property></property>	「クラスローダの設定」ダイアログ:「プロパティ...」ボタン::「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループリストの 1 行 任意(0 個以上)
	</class-loader>	
55	<jsp-config>	「JSP プロパティ」ページ: 「WebOTX 固有の設定」 任意(0~1 個)

56	<property></property>	「WebOTX 固有の設定」:「プロパティの設定...」ボタン:「プロパティの設定」ダイアログ:プロパティグループリストの 1 行 任意(0 個以上)
	</jsp-config>	
57	<locale-charset-info>	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の「charset...」ボタン:「Locale Charset Info の設定」ダイアログ 任意(0~1 個)
58	<locale-charset-map></ locale-charset-map >	「Locale Charset Info の設定」ダイアログ:locale-charset-map リストの 1 行 必須(1 個以上)
59	< parameter-encoding></ parameter-encoding>	「Locale Charset Info の設定」ダイアログ:「parameter-encoding」 任意(0~1 個)
	</ locale-charset-info >	
60	<property></property>	「プロパティ」ページ:プロパティリストの 1 行
61	<message-destination>	「メッセージ宛先」ページ: メッセージ宛先リストの 1 行:「WebOTX 固有の設定」 任意(0 個以上)*2
62	<message-destination-name></message-destination-name>	メッセージ宛先リストの 1 行:「宛先名」 必須(1 個)
63	<jndi-name></jndi-name>	メッセージ宛先リストの 1 行: 「WebOTX 固有の設定」の「JNDI 名」 必須(1 個)
	</message-destination>	
64	<message-destination-ref>	「メッセージ宛先参照」ページ: メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「WebOTX 固有の設定」 任意(0 個以上)*2
65	<message-destination-ref-name></message-destination-ref-name>	メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「宛先参照名」 必須(1 個)
66	<jndi-name></jndi-name>	メッセージ宛先参照リストの 1 行: 「WebOTX 固有の設定」の「JNDI 名」 必須(1 個)
	</message-destination-ref>	
67	<idempotent-url-pattern></idempotent-url-pattern>	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の 「idempotent-url-pattern...」ボタン:「idempotent-url-pattern の設定」ダイアログ:idempotent-url-pattern グループリストの 1 行 任意(0 個以上)
68	<parameter-encoding></parameter-encoding>	「一般」ページ:「WebOTX 固有の設定」の 「parameter-encoding...」ボタン:「parameter-encoding の設定」ダイアログ:「parameter-encoding」 任意(0~1 個)

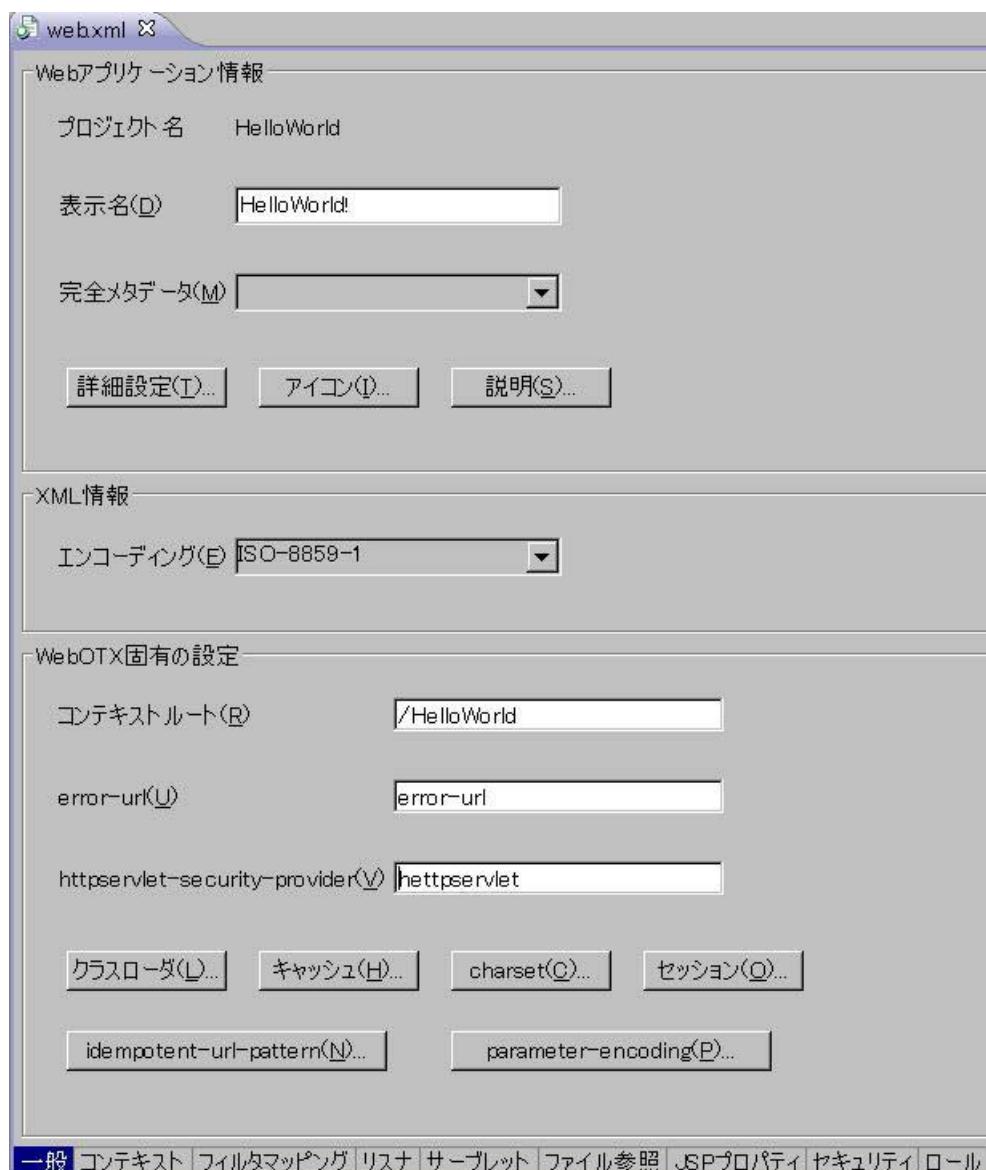
```
</nec-web-app>
```

(*1)ただし、同じ role-name の定義が複数ある場合は、まとめて表示します。また、編集して保存あるいは「WebOTX D.D」ページを表示すると1つにまとめて書き出します。

(*2)ただし、サブ要素(<servlet-name>、<ejb-ref-name>、<res-ref-name>、<resource-env-ref-name>、<message-destination-name>)で同じ名前を設定している定義が複数ある場合、最後の定義を編集対象とし、それ以外の定義は、編集して保存あるいは「WebOTX D.D」ページを表示した時点で削除します。

「一般」ページ

web.xml エディタの「一般」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

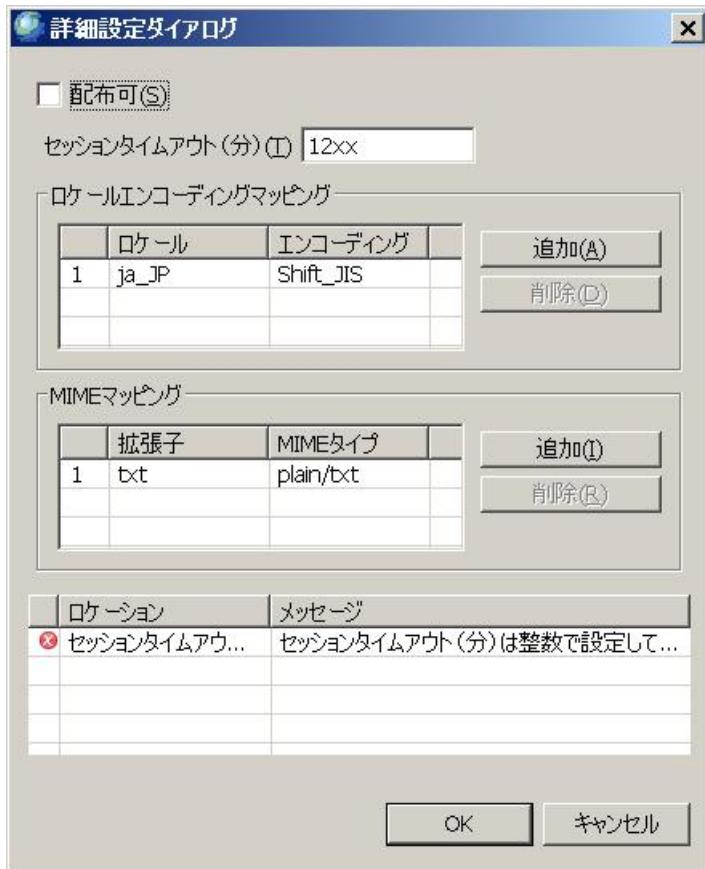
項目	要素	説明
プロジェクト名	-	この web.xml ファイルが含まれる Eclipse のプロジェクト名を表示します。

表示名	<web-app> <display-name>	Web アプリケーションの表示名を設定します。 [任意]
完全メタデータ	-	<p>この値は、</p> <pre><web-app xmlns= "http://java.sun.com/xml/ns/javaee" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation=" http://java.sun.com/xml/ns/javaee web-app_2_5.xsd" version="2.5" metadata-complete="true"></pre> <p>の metadata-complete を設定します。</p> <p>完全メタデータを以下から選択します。</p> <p>""</p> <p>true</p> <p>false</p> <p>[任意]</p>
「詳細設定...」ボタン	-	「詳細設定...」ボタンをクリックすると、「詳細設定ダイアログ」を表示します。
「アイコン...」ボタン	<web-app> <icon>	「アイコン...」ボタンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。
「説明...」ボタン	<web-app> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、Web アプリケーションの説明を設定します。
エンコーディング	-	<p>この web.xml ファイルの文字コードを指定します。この値は、XML 宣言のエンコーディング宣言に設定します。</p> <pre><?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?></pre> <p>エンコーディングを以下から選択</p>

		します。 UTF-8 UTF-16 ISO-8859-1 EUC-JP Shift_JIS ISO-2022-JP BIG5 GB2312 既定値:ISO-8859-1
WebOTX固有の設定	-	nec-web.xml の編集ができます。
error-url	-	「error-url」を設定します。 [任意]
http servlet-security-provider	-	「 http servlet-security-provider 」を設定します。 [任意]
コンテキストルート	<nec-web-app> <context-root>	Web アプリケーションのコンテキストルートを設定します。 [任意]
「クラスローダ...」ボタン	<nec-web-app> <class-loader>	「クラスローダ...」ボタンをクリックすると、「クラスローダの設定」ダイアログを表示します。
「キャッシュ...」ボタン	<nec-web-app> <cache>	「キャッシュ...」ボタンをクリックすると、「キャッシュの設定」ダイアログを表示します。
「charset...」ボタン	<nec-web-app> <locale-charset-info>	「charset...」ボタンをクリックすると、「Locale Charset Info の設定」ダイアログを表示します。
「セッション...」ボタン	<nec-web-app> <session-config>	「セッション...」ボタンをクリックすると、「セッションの設定」ダイアログを表示します。
「idempotent-url-pattern...」ボタン	<nec-web-app> <idempotent-url-pattern>	「idempotent-url-pattern...」ボタンを クリックすると「idempotent-url-pattern の設定」ダイアログを表示します。
「parameter-encoding...」ボタン	<nec-web-app> <parameter-encoding>	「parameter-encoding...」ボタンを クリックすると「parameter-encoding の設定」ダイアログを表示します。

「詳細設定ダイアログ」

「一般」ページの「詳細設定...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
配布可	<web-app> <distributable/>	配布可能かどうか指定します。 [任意]
セッションタイムアウト	<web-app> <session-config> <session-timeout>	セッションタイムアウト間隔を分単位で設定します。 [任意] ※ 整数值でなければなりません。 ※ <session-config> 要素が複数あると、「標準 D.D」ページしか開けません。「標準 D.D」ページで 1 つに修正してください。
ロケールエンコーディングマッピング	<web-app> <locale-encoding-mapping-list> <locale-encoding-mapping>	「ロケールエンコーディングマッピング」を設定します。 [任意] ※

		<locale-encoding-mapping-list> 要素が複数あっても、それぞれの<locale-encoding-mapping>要素をまとめて表示します。
MIME マッピング	<web-app> <mime-mapping>	「MIME マッピング」を設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「一般」ページに戻ります。

ロケールエンコーディングマッピング

項目	要素	説明
ロケールエンコーディングマッピング	<web-app> <locale-encoding-mapping-list> <locale-encoding-mapping>	マッピングするロケールとエンコーディングを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
ロケール	<web-app> <locale-encoding-mapping-list> <locale-encoding-mapping> <locale>	ロケールを設定します。 [必須] ※ ISO-639-1 で定義されている“Language-code”(“ja”など)か、“Language-code_Country-code”(“ja_JP”など)でなければなりません。
エンコーディング	<web-app> <locale-encoding-mapping-list> <locale-encoding-mapping> <encoding>	エンコーディングを設定します。 [必須] ※IANA キャラクターセットでなければなりません。
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

MIME マッピング

項目	要素	説明
MIME マッピング	<web-app> <mime-mapping>	マッピングする拡張子と MIME タイプを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
拡張子	<web-app> <mime-mapping> <extension>	拡張子("txt"など)を設定します。 [必須]
MIME タイプ	<web-app> <mime-mapping> <mime-type>	MIME タイプ("txt/plain"など)を設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「クラスローダの設定」ダイアログ

「一般」ページの「クラスローダ...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



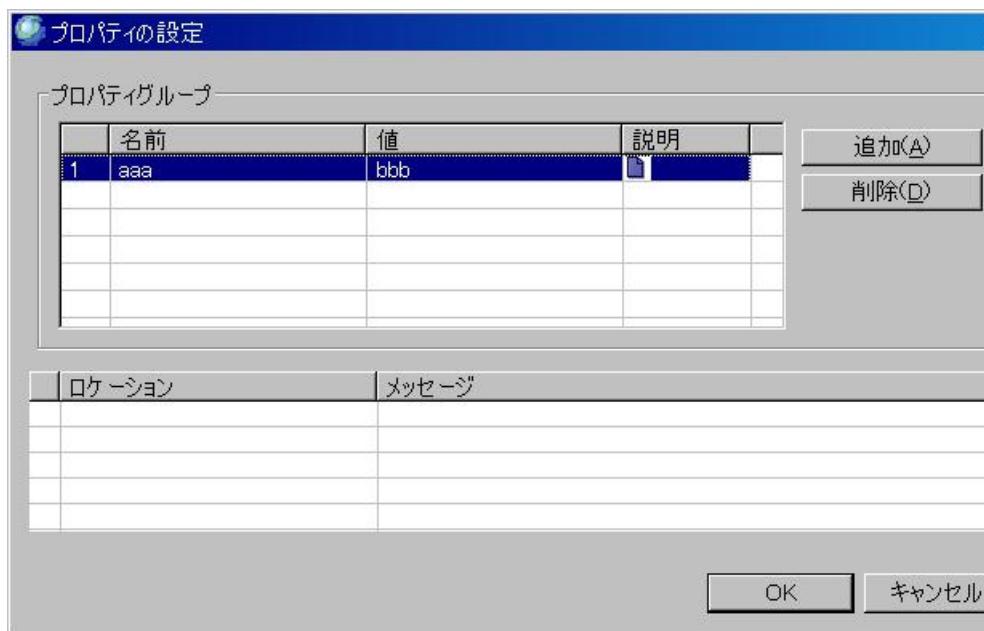
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
extra-class-path	<nec-web-app> <class-loader>の extra-class-path 属性	追加のクラスパスを設定します。 複数のクラスパスを設定する場合は、Windows 環境では";"(セミコロン)、Unix 環境では":"(コロン)で区切ってください。 [任意]
delegate	<nec-web-app>	親クラスローダを優先するか、口

	<class-loader>の delegate 属性	一カルのクラスローダを優先するかを設定します。 true: 親クラスローダを優先 false: ローカルのクラスローダを優先 既定値:true
「プロパティ...」ボタン	<nec-web-app> <class-loader> <property>	「プロパティの設定」ダイアログを表示して、プロパティの情報を編集します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「一般」ページに戻ります。

「プロパティの設定」ダイアログ

「クラスローダの設定」ダイアログの「プロパティ...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



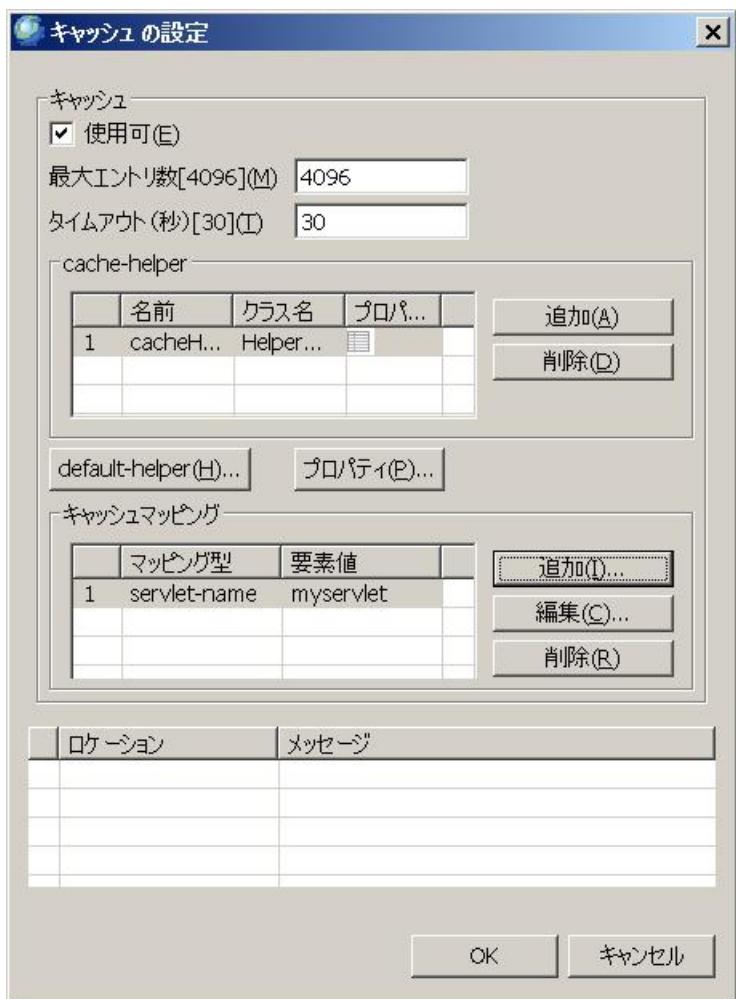
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
プロパティグループ	<nec-web-app> <class-loader> <property>	クラスローダのプロパティを一覧表示します。 [任意]
名前	<nec-web-app> <class-loader>	クラスローダのプロパティの名前を設定します

	<property> の name 属性	[必須]
値	<nec-web-app> <class-loader> <property> の value 値属性	クラスローダのプロパティの値を設定します。 [必須]
説明	<nec-web-app> <class-loader> <property> <descripti on>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、説明ダイアログを表示し、クラスローダのプロパティの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「クラスローダの設定」ダイアログに戻ります。

「キャッシュの設定」ダイアログ

「一般」ページの「キャッシュ...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

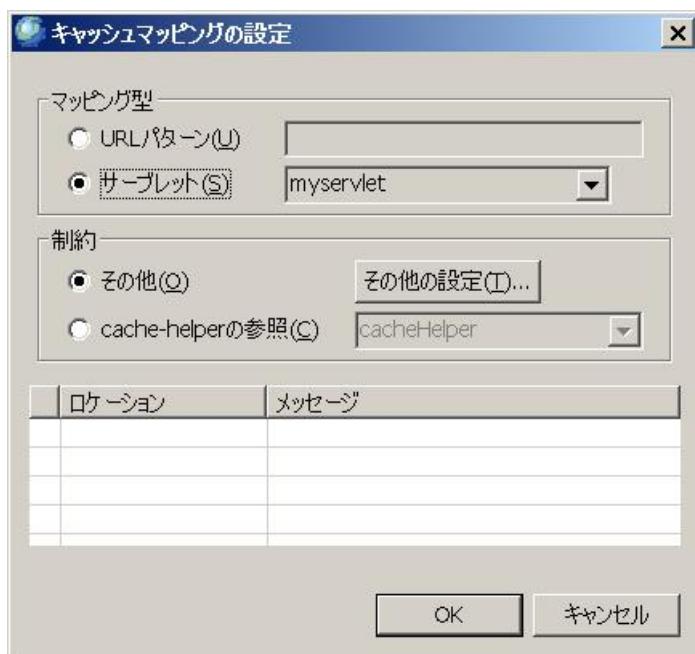
項目	要素	説明
使用可	<nec-web-app> <cache>の enabled 属性	サーブレットと JSP のキャッシングを有効にするかどうかを指定します。 true: キャッシュを有効にする false: キャッシュを無効にする 既定値: true
最大エントリ数	<nec-web-app> <cache>の max-entries 属性	キャッシングに格納できるエントリの最大数を設定します。 ※整数値でなければなりません。 既定値: 4096
タイムアウト	<nec-web-app> <cache>の timeout-in-seconds 属性	エントリをキャッシング内で保持する最大時間を秒単位で設定します。 ※整数値でなければなりません。 既定値: 30

cache-helper	<nec-web-app> <cache> <cache-helper>	cache-helper を一覧表示します。
名前	<nec-web-app> <cache> <cache-helper> の name 属性	ヘルパークラスの一意の名前を指定します。cache-mapping 要素で参照する名前です。 [必須]
クラス名 属性	<nec-web-app> <cache> <cache-helper> の class-name	キヤッッシュヘルパークラスの完全修飾クラス名を指定します。 [必須]
プロパティ	<nec-web-app> <cache> <cache-helper> <property>	プロパティを設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックして、「プロパティの設定」ダイアログを表示し、カスタムのキヤッッシュヘルパークラスで使用できるプロパティを指定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「default-helper...」ボタン	<nec-web-app> <cache> <default-helper> <property>	「プロパティの設定」ダイアログを表示し、内蔵のデフォルトキヤッッシュヘルパークラスのプロパティを変更します。 [任意]
「プロパティ...」ボタン	<nec-web-app> <cache> <property>	「プロパティの設定」ダイアログを表示して、キヤッッシュのプロパティの情報を編集します。 [任意]
キヤッッシュマッピング	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping>	キヤッッシュマッピングを一覧表示します。 「追加...」ボタン/「編集...」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/編集/削除ができます。 [任意]
マッピング型	-	「キヤッッシュマッピングの設定」ダ

		「アログで設定したマッピング型(servlet-name または url-pattern)を表示します。 [必須]
要素値	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <servlet-name>/<url-patte rn>	「キャッシュマッピングの設定」ダイアログで設定したマッピング型の要素値を表示します。 [必須]
「追加...」ボタン	-	「キャッシュマッピングの設定」ダイアログを表示して、キャッシュマッピングの情報を追加します。
「編集...」ボタン	-	「キャッシュマッピングの設定」ダイアログを表示して、選択行の情報を編集します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「一般」ページに戻ります。

「キャッシュマッピングの設定」ダイアログ

「キャッシュの設定」ダイアログの「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。

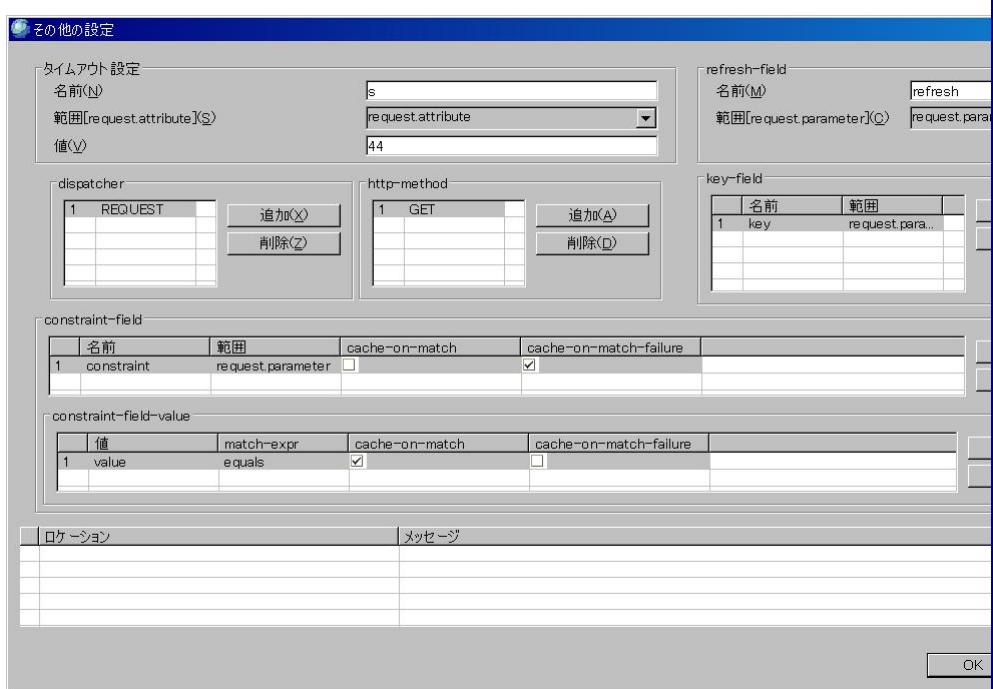


各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
マッピング型	—	
URLパターン	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <url-pattern>	キャッシングを有効にする URL パターンを設定します。 [URL パターンまたはサーブレットが必須]
サーブレット	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <servlet-name>	コンボボックスからキャッシングを有効にするサーブレット名を選択します。コンボボックスでは、「サーブレット」ページで定義したサーブレット名が選択できます。 [URL パターンまたはサーブレットが必須]
制約	—	キャッシングマッピングに適用する制約を設定します。
その他、「他の設定...」ボタン	—	「他の設定」ダイアログを表示し、 timeout, refresh-field, http-method, key-field, constraint-field を設定します。
cache-helper の参照	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <cache-helper-ref>	使用するキャッシングヘルパークラスを cache-helper 要素の name 属性で定義している名前で指定します。 [timeout, refresh-field, http-method, key-field, constraint-field を使用しない場合に必須]
「OK」ボタン	—	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	—	設定内容を保存しないで、「キャッシングの設定」ダイアログに戻ります。

「他の設定」ダイアログ

「キャッシングマッピングの設定」ダイアログの「他の設定...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
タイムアウト設定	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <timeout>	キャッシュマッピングごとのタイムアウトを設定します。 [任意]
名前	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <timeout> の name 属性	タイムアウトの名前を設定します。 [必須]
範囲	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <timeout> の scope 属性	タイムアウトの有効範囲を以下から選択します。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie request.attribute session.attribute 既定値: request.attribute
値	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <timeout>	エントリをキャッシュ内で保持する最大時間を秒単位で設定します。キャッシュマッピングごとの固有の値です。 ※整数値でなければなりません。 [必須]

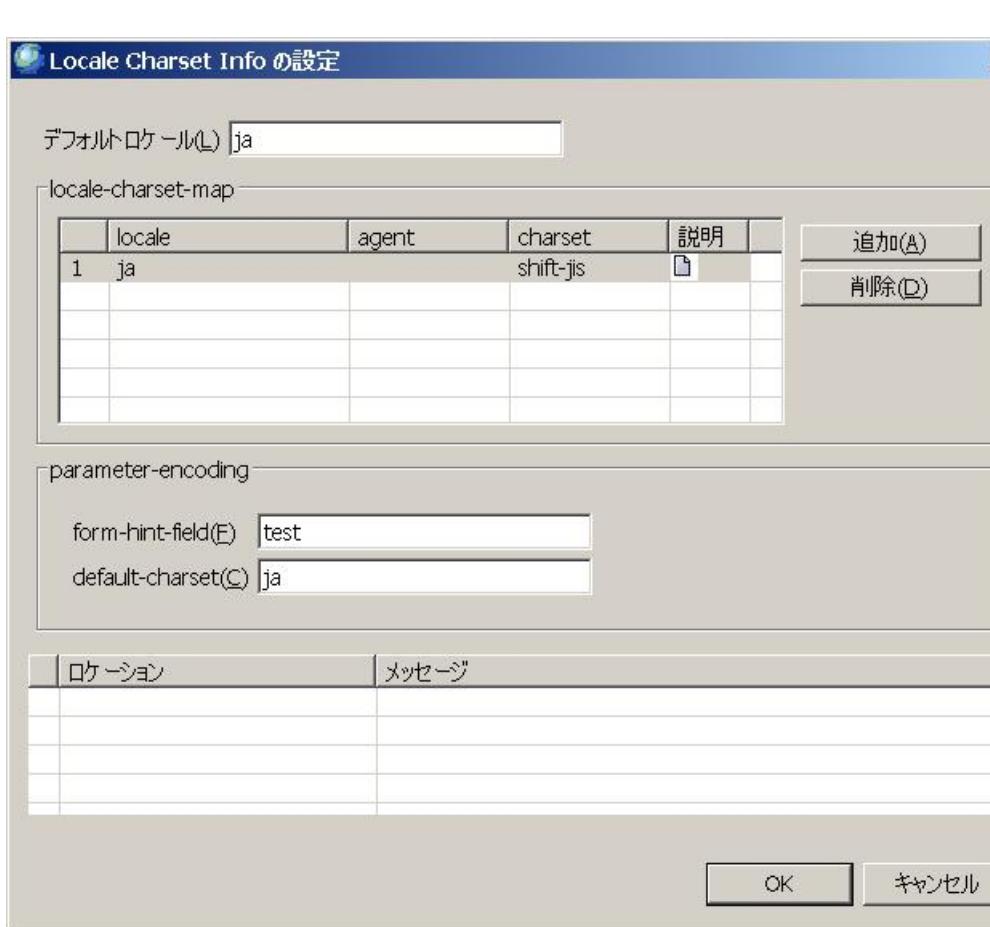
refresh-field	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <refresh-field>	キャッシュマッピングごとの refresh-field を設定します。 [任意]
名前	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <refresh-field> の name 属性	refresh-field の名前を設定します。 [必須]
範囲	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <refresh-field> の scope 属性	refresh-field の有効範囲を以下から選択します。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie session.id session.attribute 既定値: request.parameter
dispatcher	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <dispatcher>	キャッシュ対象の dispatcher を指定します。 既定値: REQUEST [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
http-method	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <http-method>	キャッシュ対象の HTTP メソッドを指定します。 既定値: GET [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
key-field	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <key-field>	キャッシュマッピングごとの key-field を設定します。 [任意]
名前	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <key-field> の name 属性	key-field の名前を設定します。 [必須]
範囲	<nec-web-app>	key-field の有効範囲を以下から選択しま

	<cache> <cache-mapping> <key-field> の scope 属性	す。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie session.id session.attribute 既定値:request.parameter
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
constraint-field	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field>	指定した url-pattern あるいは servlet-name に対するキャッシング制約条件を指定します。 [任意]
名前	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> の name 属性	この制約条件フィールドのパラメータ名を指定します。 [必須]
範囲	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> の scope 属性	このパラメータの有効範囲を以下から選択します。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie session.id session.attribute 既定値:request.parameter
cache-on-match	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> の cache-on-match 属性	条件に一致する応答をキャッシングするかどうか指定します。 既定値:true
cache-on-match-failure	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> の cache-on-match-failure 属性	条件に一致しない応答をキャッシングするかどうか指定します。 既定値:false
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
constraint-field-value	<nec-web-app> <cache>	パラメータの値と比較する制約条件を指定します。

	<cache-mapping> <constraint-field> <constraint-field-value>	[任意]
値	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> <constraint-field-value>	パラメータの値を指定します。 [必須]
match-expr	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> <constraint-field-value> の match-expr 属性	match-expr の有効範囲を以下から選択します。 equals greater lesser not-equals in-range 既定値: equals
cache-on-match	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> <constraint-field-value> の cache-on-match 属性	条件に一致する応答をキャッシュするかどうか指定します。 既定値: true
cache-on-match-failure	<nec-web-app> <cache> <cache-mapping> <constraint-field> <constraint-field-value> の cache-on-match-failure 属性	条件に一致しない応答をキャッシュするかどうか指定します。 既定値: false
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「キャッシングマッピングの設定」ダイアログに戻ります。

「Locale Charset Info の設定」ダイアログ

「一般」ページで「charset...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。

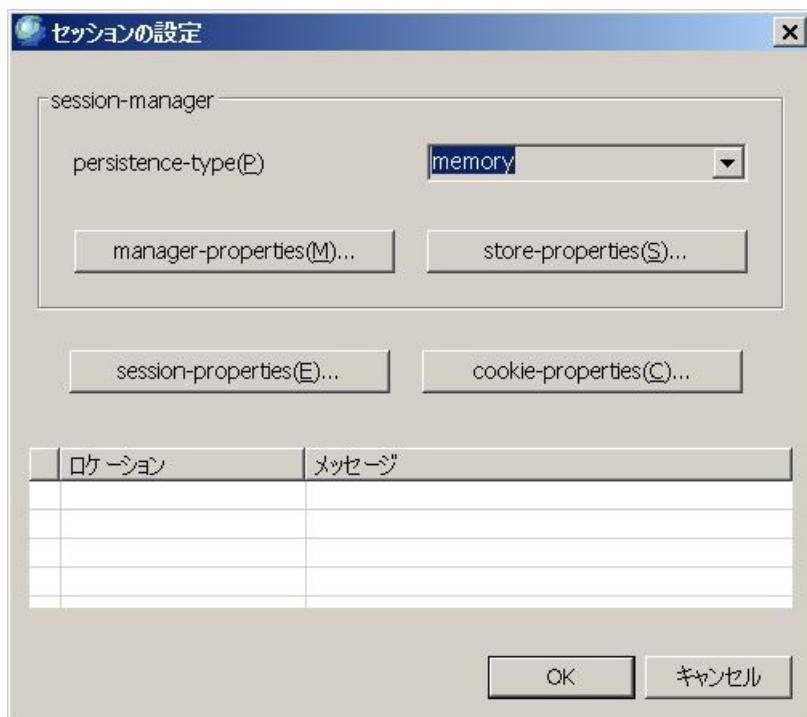


各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
デフォルトロケール	<nec-web-app> <locale-charset-info> の default-locale 属性	デフォルトのロケールを設定します。 [任意] ※この属性は現在利用できません
locale-charset-map	<nec-web-app> <locale-charset-info> <locale-charest-map>	ロケールと charset のマッピングを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [必須]
locale	<nec-web-app> <locale-charset-info> <locale-charest-map> >の locale 属性	ロケールを設定します。 [必須]
agent	<nec-web-app> <locale-charset-info> <locale-charest-map> >の agent 属性	クライアントの種類を設定します。 ※HTTP リクエストヘッダの user-agent の値でなければなりません。 [任意]
charset	<nec-web-app>	charset を設定します。

	<locale-charset-info> <locale-charest-map> >の charset 属性	[必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
parameter-encoding	<nec-web-app> <locale-charset-info> <parameter-encoding>	リクエストヘッダの content-type に charset が指定されていない場合に、Web コンテナが文字エンコードを取得するフィールドとデフォルトの文字エンコード設定します。 [任意]
form-hint-field	<nec-web-app> <locale-charset-info> <parameter-encoding>	文字エンコードを指定するフォーム内の隠しフィールドの名前を設定します。 [任意]
default-charset	<nec-web-app> <locale-charset-info> <parameter-encoding>	デフォルトの文字エンコードを設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「一般」ページに戻ります。

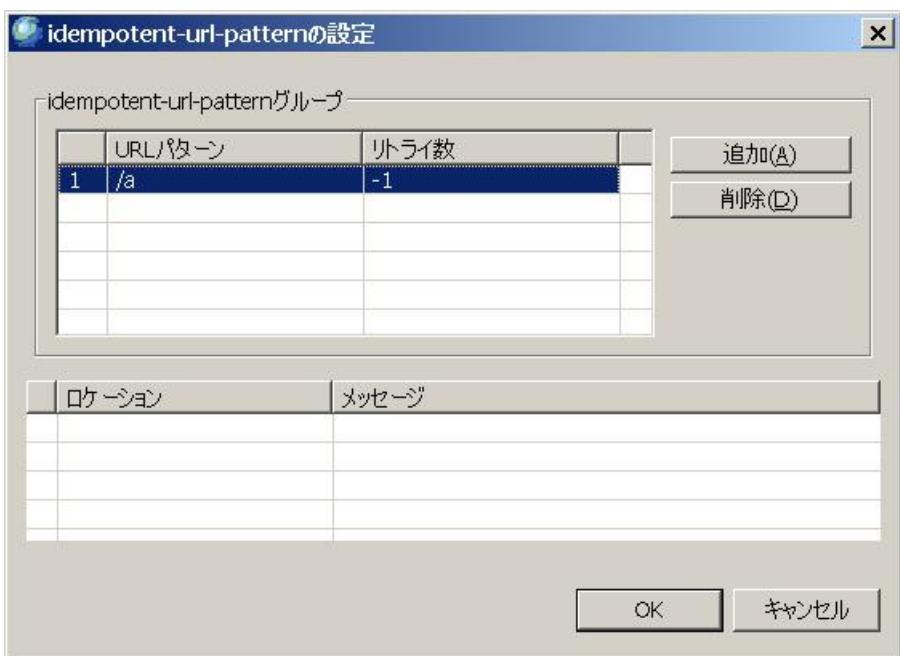
「セッションの設定」ダイアログ



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
session-manager	<nec-web-app> <session-config> <session-manager>	セッションマネージャの設定情報を指定します。 [任意]
persistence-type	<nec-web-app> <session-config> <session-manager> の persistence-type 属性	persistence-type を設定します。 persistence-type の設定値は、次のリストから memory file 選択します。 既定値:memory ※マルチプロセスモードでは file は使用できません。 ※ file を指定する場合は、web.xml に "<distributable />" の設定が必要です。
manager-properties	<nec-web-app> <session-config> <session-manager> <manager-properties >	「プロパティの設定」ダイアログを表示し、 セッションマネージャのプロパティを設定します。
store-properties	<nec-web-app> <session-config> <session-manager> <store-properties >	「プロパティの設定」ダイアログを表示し、 セッション永続化のプロパティを設定します。
session-properties	<nec-web-app> <session-config> <session-properties>	「プロパティの設定」ダイアログを表示し、 セッションのプロパティを設定します。
cookie-properties	<nec-web-app> <session-config> <cookie-properties>	「プロパティの設定」ダイアログを表示し、 セッション ID を格納する cookie のプロパティを設定します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「一般」ページに戻ります。

「idempotent-url-pattern 設定」ダイアログ



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
idempotent-url-pattern	<nec-web-app> <idempotent-url-pattern>	idempotent-url-pattern を指定します。 [任意]
URL パターン	<nec-web-app> <idempotent-url-pattern> の url-pattern 属性	idempotent-url-pattern の url-pattern 属性を設定します。 [任意]
リトライ数	<nec-web-app> <idempotent-url-pattern> の num-of-retries 属性	idempotent-url-pattern の num-of-retries 属性を設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「一般」ページに戻ります。

「parameter-encoding の設定」ダイアログ

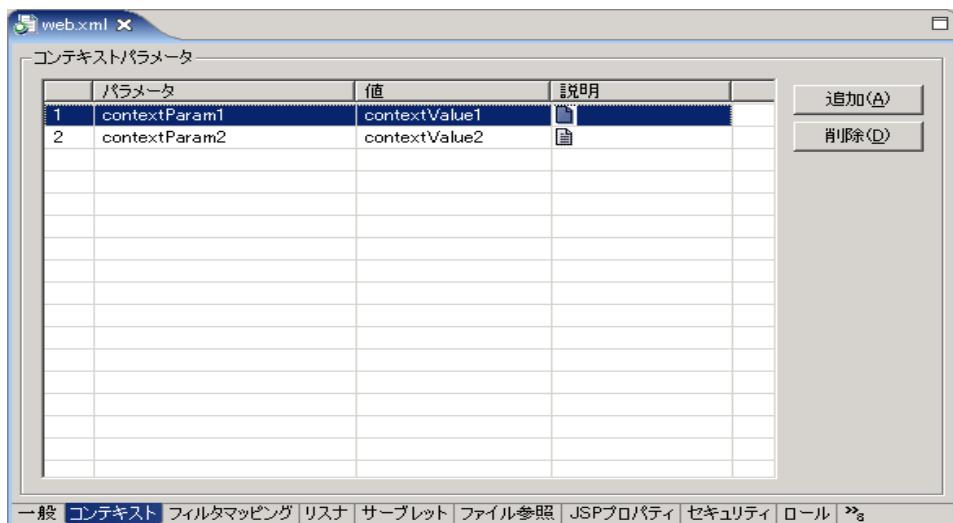


各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
parameter-encoding	<nec-web-app> <parameter-encoding>	parameter-encoding を指定します。 [任意]
form-hint-field	<nec-web-app> <parameter-encoding> の form-hint-field 属性	<parameter-encoding> の form-hint-field 属性を設定します。 [任意]
default-charset	<nec-web-app> <parameter-encoding> の default-charset 属性	<parameter-encoding> の default-charset 属性を設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「一般」ページに戻ります。

「コンテキスト」ページ

web.xml エディタの「コンテキスト」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「コンテキスト」ページでは、<context-param>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
コンテキストパラメータ	<web-app> <context-param>	コンテキストパラメータを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
パラメータ	<web-app>	Web アプリケーションの Servlet コンテキスト

	<context-param> <param-name>	初期化パラメータ名を設定します。 [必須]
値	<web-app> <context-param> <param-value>	パラメータの値を設定します。 [必須]
説明	<web-app> <context-param> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、説明ダイアログを表示し、コンテキストパラメータの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「フィルタマッピング」ページ



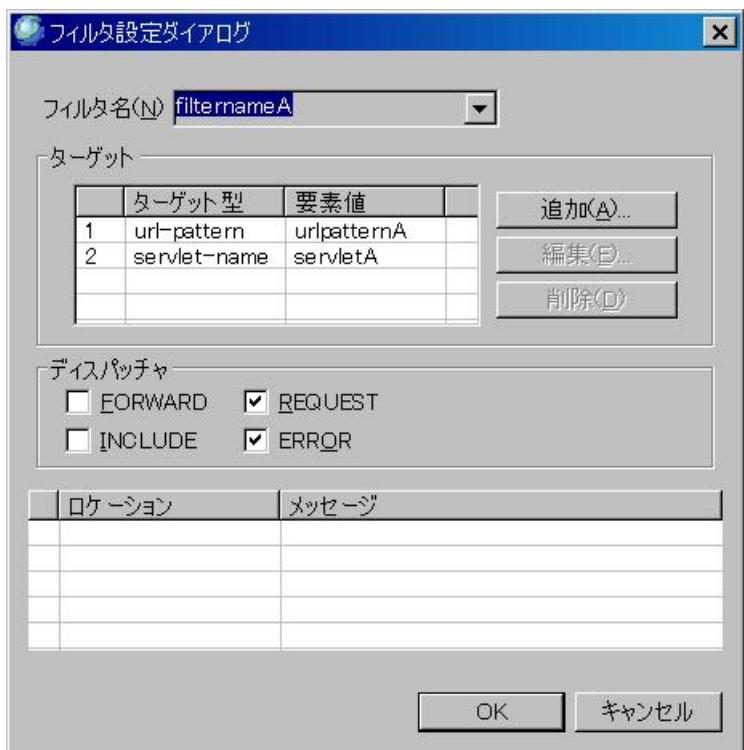
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
サーブレットフィルタマッピング	<web-app> <filter-mapping>	サーブレットフィルタマッピングを一覧表示します。 「追加...」ボタン/「編集...」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/編集/削除ができます。 「filtralist編集...」ボタンでフィルタの設定ができます。 [任意]

フィルタ名	<web-app> <filter-mapping> <filter-name>	「フィルタ設定ダイアログ」で設定したフィルタ名を表示します。 [必須]
ターゲット	<web-app> <filter-mapping> <url-pattern>/ <servlet-name>	「フィルタ設定ダイアログ」で設定したターゲットを表示します。 [必須]
ディスパッチャ	<web-app> <filter-mapping> <dispatcher>	「フィルタ設定ダイアログ」で設定したディスパッチャを表示します。 F:FORWARD R:REQUEST I:INCLUDE E:ERROR ?:不正値 [任意]
「追加...」ボタン	-	「フィルタ設定ダイアログ」を表示して、フィルタマッピングの情報を追加します。
「編集...」ボタン	-	「フィルタ設定ダイアログ」を表示して、選択行の情報を編集します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「上へ」ボタン	-	選択行を一行上へ移動します。
「下へ」ボタン	-	選択行を一行下へ移動します。
「フィルタリスト編集...」ボタン	-	「フィルタリスト編集ダイアログ」を表示します。

「フィルタ設定ダイアログ」

「フィルタマッピング」ページ の「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
フィルタ名	<web-app> <filter-mapping> <filter-name>	コンボボックスからフィルタ名を選択します。 コンボボックスでは、「フィルタリスト編集ダイアログ」で定義したフィルタ名が選択できます。 [必須]
ターゲット	<web-app> <filter-mapping> <url-pattern>/ <servlet-name>	「ターゲット設定ダイアログ」で設定したターゲットを表示します。 [必須]
ディスパッチャ	<web-app> <filter-mapping> <dispatcher>	フィルタの適用範囲を指定します。 FORWARD, REQUEST, INCLUDE, ERROR が指定できます。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「フィルタマッピング」ページに戻ります。

「ターゲット設定ダイアログ」

「フィルタ設定ダイアログ」でターゲットの「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



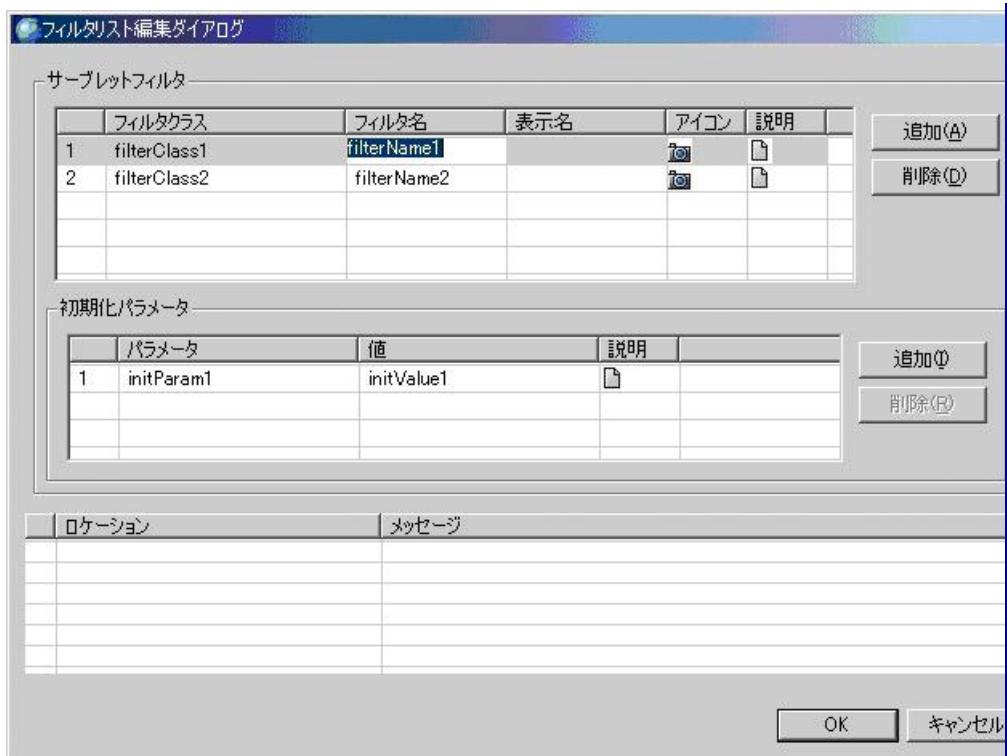
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
URL パターン	<web-app> <filter-mapping> <url-pattern>	フィルタを適用する URL パターンを設定します。 [URL パターンまたはサーブレットが必須]
サーブレット	<web-app> <filter-mapping> <servlet-name>	フィルタを適用するサーブレット名を設定します。コンボボックスでは、「サーブレット」ページで定義したサーブレット名が選択できます。 [URL パターンまたはサーブレットが必須]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「フィルタマッピング」ページに戻ります。

「フィルタリスト編集ダイアログ」

「フィルタマッピング」ページの「フィルタリスト編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「フィルタリスト編集ダイアログ」では、<filter>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
サーブレットフィルタリスト	<web-app> <filter>	サーブレットフィルタを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
フィルタクラス	<web-app> <filter> <filter-class>	フィルタのクラス名を設定します。 [必須]
フィルタ名	<web-app> <filter> <filter-name>	フィルタ名を設定します。 [必須]
表示名	<web-app> <filter> <display-name>	フィルタの表示名を設定します。 [任意]
アイコン	<web-app> <filter> <icon>	アイコンを設定している場合は, 設定していない場合はを表示します。 アイコンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。 [任意]
説明	<web-app>	説明を設定している場合は, 設定してい

	<filter> <description>	ない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、フィルタの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	の削除確認後、選択行の情報を削除します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「フィルタマッピング」ページに戻ります。

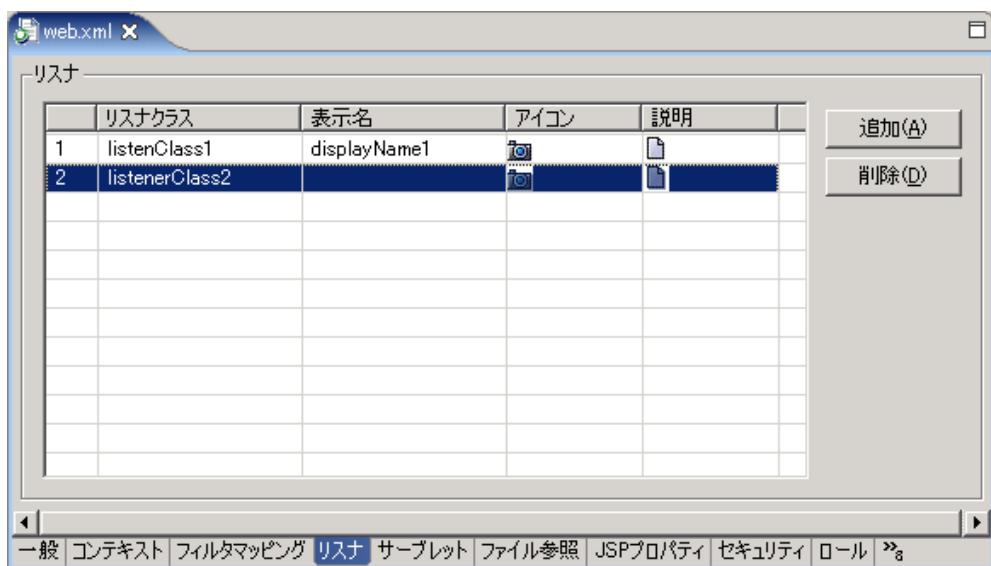
＜初期化パラメータ＞

項目	要素	説明
初期化パラメータリスト	<web-app> <filter> <init-param> <param-name>	サーブレットフィルタリストで選択したフィルタの初期化パラメータを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
パラメータ	<web-app> <filter> <init-param> <param-name>	初期化パラメータ名を設定します。 [必須]
値	<web-app> <filter> <init-param> <param-value>	初期化パラメータの値を設定します。 [必須]
説明	<web-app> <filter> <init-param> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、初期化パラメータの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「リスナ」ページ

web.xml エディタの「リスナ」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「リスナ」ページでは、<listener>要素が編集できます。



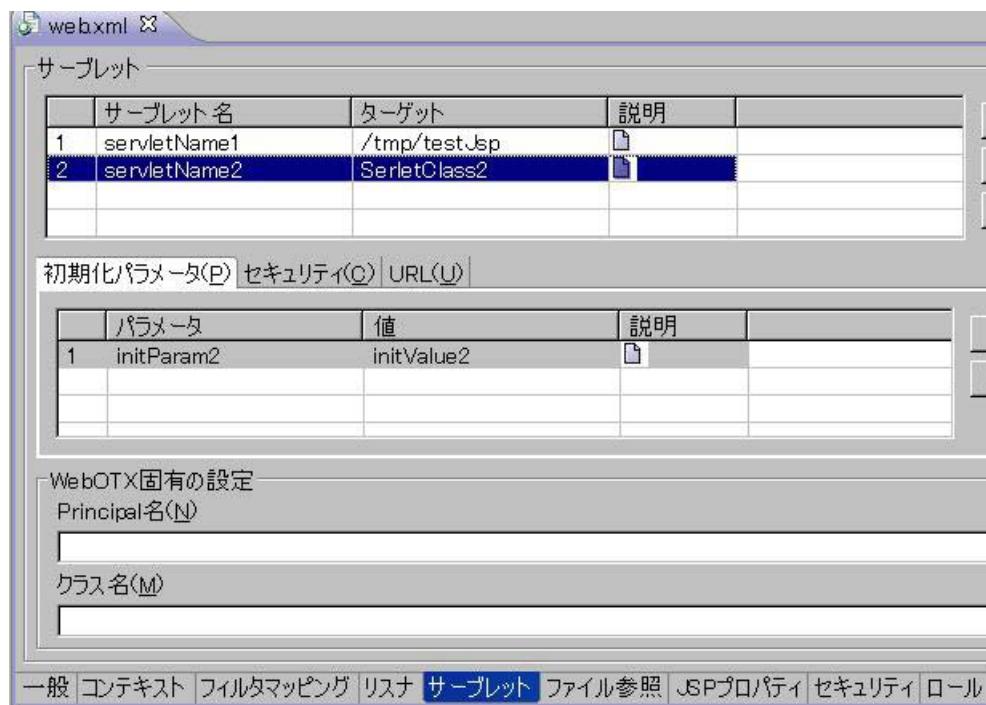
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
リスナ	<web-app> <listener>	リスナを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
リスナクラス	<web-app> <listener> <listener-class>	リスナのクラス名を設定します。 [必須]
表示名	<web-app> <listener> <display-name>	リスナの表示名を設定します。 [任意]
アイコン	<web-app> <listener> <icon>	アイコンを設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。 [任意]
説明	<web-app> <listener> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、リスナの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。

「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
---------	---	---------------------

「サーブレット」ページ

web.xml エディタの「サーブレット」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
 「サーブレット」ページでは、<servlet>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
サーブレットリスト	<web-app> <servlet>	サーブレットを一覧表示します。 「追加...」ボタン、「編集...」ボタン、「削除」ボタンで、定義の追加/編集/削除ができます。 [任意]
サーブレット名	<web-app> <servlet> <servlet-name>	「サーブレット設定ダイアログ」で設定したサーブレット名を表示します。 [必須] ※「サーブレット」ページのURLパターン (servlet-mapping/servlet-name)、「フィルタマッピング」ページ (filter-mapping/servlet-name) で使用しているサーブレット名を、変更、削除することはできません。
ターゲット	<web-app> <servlet>	「サーブレット設定ダイアログ」で設定したターゲット(サーブレットクラス名または JSP フ

	<servlet-class>/ <jsp-file>	ファイル)を表示します。 [必須]
説明	<web-app> <servlet> <description>	説明を設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックすると、「サーブレット設定ダイアログ」で設定した説明を表示します。 [任意]
「追加...」ボタン	-	「サーブレット設定ダイアログ」を表示して、 サーブレットの情報を追加します。
「編集...」ボタン	-	「サーブレット設定ダイアログ」を表示して、 選択行の情報を編集します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※サーブレットリストで行を選択すると、選択したサーブレットの初期化パラメータ、セキュリティ、URL、WebOTX 固有の設定が編集できます。

初期化パラメータ

初期化パラメータ(P) セキュリティ(S) URL(U)			
	パラメータ	値	説明
1	initParam1	initialValue1	
<input style="margin-right: 10px;" type="button" value="追加(A)"/> <input type="button" value="削除(R)"/>			

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
初期化パラメータリスト	<web-app> <servlet> <init-param>	サーブレットリストで選択したサーブレットの初期化パラメータを一覧表示します。 サーブレットを選択しないと編集できません。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
パラメータ	<web-app> <servlet> <init-param> <param-name>	初期化パラメータ名を設定します。 [必須]
値	<web-app> <servlet> <init-param>	初期化パラメータの値を設定します。 [必須]

	<param-value>	
説明	<web-app> <servlet> <init-param> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、初期化パラメータの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

セキュリティ

初期化パラメータ(P) セキュリティ(S) URL(U)

実行タイプ(T)	説明(S)...	
roleName1		
myRole1	roleName1	
myRole2	roleName2	

追加(A) 削除(R)

各項目の説明を以下に示します。

実行タイプ

項目	要素	説明
実行タイプ	<web-app> <servlet> <run-as> <role-name>	サーブレットリストで選択したサーブレットに対して、「ロール」ページで定義したセキュリティロール名のリストから、使用するロールを選択します。サーブレットを選択しないと編集できません。 [任意] ※ロールを選択しない場合は、<run-as>要素が未定義として扱います。そのため、設定済みの説明があっても、<run-as>要素を削除します。
「説明...」ボタン	<web-app> <servlet> <run-as> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、実行タイプの説明を設定します。「実行タイプ」を設定した場合のみ有効です。 [任意]

ロール参照リスト

項目	要素	説明
ロール参照リスト	<web-app>	サーブレットリストで選択したサーブレットに

	< servlet > < security-role-ref >	対して、Web アプリケーション内で使用するロール参照名と、「ロール」ページで定義したセキュリティロール名をマッピングします。サーブレットを選択しないと編集できません。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
ロール名	< web-app > < servlet > < security-role-ref > < role-name >	Web アプリケーション内で使用するロール参照名を設定します。 [必須]
ロールリンク	< web-app > < servlet > < security-role-ref > < role-link >	ロール名で設定したロール参照名で参照するロールを、「ロール」ページで定義したセキュリティロール名のリストから選択します。 [任意]
説明	< web-app > < servlet > < security-role-ref > < description >	説明を設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、ロール参照の説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

URL

The screenshot shows a user interface for managing URL patterns. At the top, there are three tabs: '初期化パラメータ(P)' (Initialization Parameters), 'セキュリティ(S)' (Security), and 'URL(U)' (URL). The 'URL(U)' tab is selected. Below the tabs is a table with two columns: 'URL/パターン' (URL/Pattern) and an empty column. The table contains two rows, both labeled 'URLPattern'. To the right of the table are two buttons: '追加(A)' (Add) and '削除(R)' (Delete).

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
URL パターンリスト	< web-app > < servlet-mapping >	サーブレットリストで選択したサーブレットにマッピングする URL パターンを設定します。 サーブレットを選択しないと編集できません。

		ん。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
URL パターン	<web-app> <servlet-mapping> <url-pattern>	マッピングする URL パターンを設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

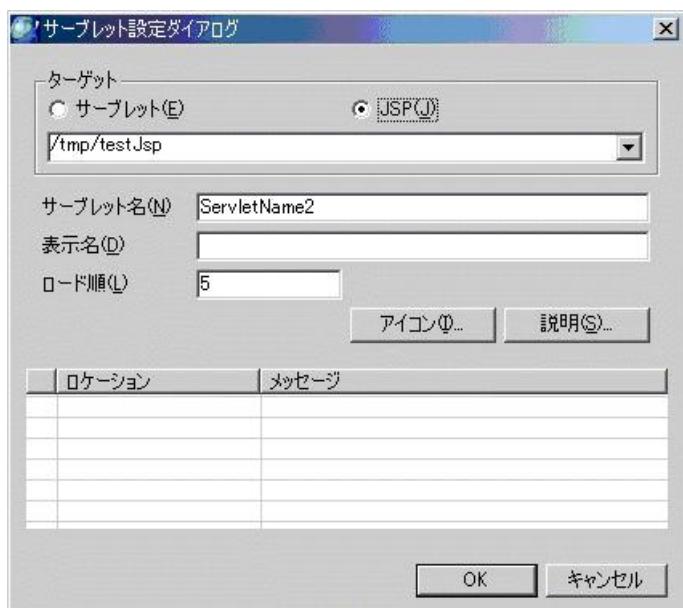
WebOTX 固有の設定

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
Principal 名	<nec-web-app> <servlet> <principal-name>	サーブレットリストで選択したサーブレットに対して、「Principal 名」を設定します。サーブレットを選択しないと編集できません。 [任意]
クラス名	<nec-web-app> <servlet> <principal-name> の class-name 属性	サーブレットリストで選択したサーブレットに対して、「クラス名」を設定します。サーブレットを選択しないと編集できません。 [任意]

「サーブレット設定ダイアログ」

「サーブレット」ページ の「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のようない画面を表示します。

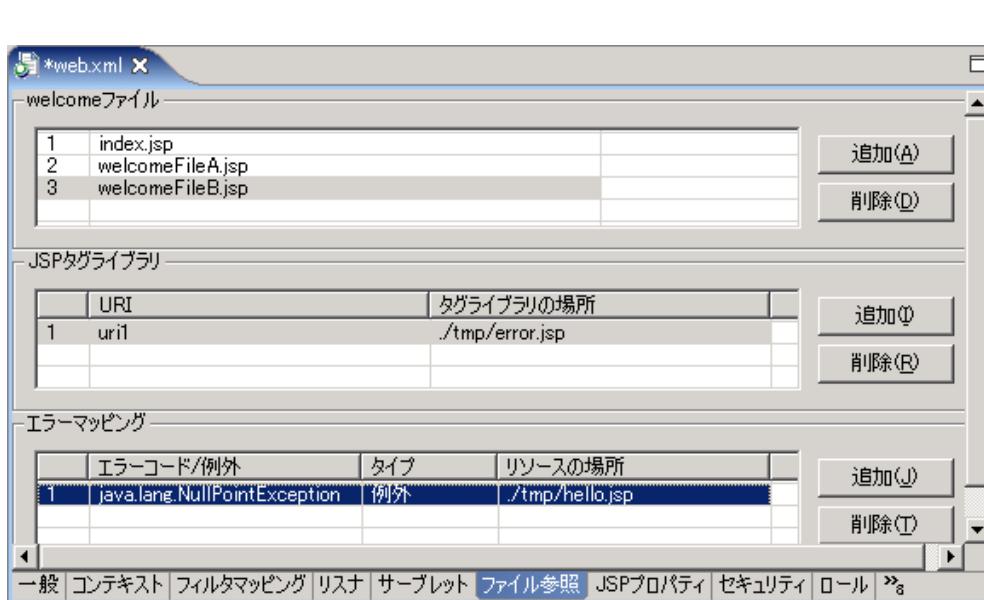


各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
サーブレット	<web-app> <servlet> <servlet-class>	サーブレットを選択した場合は、Web アプリケーション内のサーブレットのクラス名を設定します。 [サーブレットまたは JSP が必須]
JSP	<web-app> <servlet> <jsp-file>	JSP を選択した場合は、Web アプリケーション内の JSP へのパスを設定します。パスは “/”で始まります。 [サーブレットまたは JSP が必須]
サーブレット名	<web-app> <servlet> <servlet-name>	サーブレット名を設定します。 ※「サーブレット」ページの URL パターン (servlet-mapping/servlet-name)、または「フィルタマッピング」ページ (filter-mapping/servlet-name) で使用しているサーブレット名を、変更、削除することはできません。 [必須]
表示名	<web-app> <servlet> <display-name>	サーブレットの表示名を設定します。 [任意]
ロード順	<web-app> <servlet> <load-on-startup>	サーブレットのロード順を “” と整数値で設定します。 [任意]
「アイコン...」ボタン	<web-app> <servlet> <icon>	「アイコン...」ボタンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。
「説明...」ボタン	<web-app> <servlet> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、サーブレットの説明を設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「サーブレット」ページに戻ります。

「ファイル参照」ページ

web.xml エディタの「ファイル参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「ファイル参照」ページでは、<welcome-file-list>要素、<taglib>要素、<error-page>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

welcome ファイル

項目	要素	説明
welcome ファイルリスト	<web-app> <welcome-file-list>	デフォルト Welcome ファイルとして使用する ファイル名を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加 /削除ができます。 [任意] ※<welcome-file-list>要素が複数あっても、 それぞれの<welcome-file>要素をまとめて 表示します。
welcome ファイル	<web-app> <welcome-file-list> <welcome-file>	デフォルト Welcome ファイルとして使用する ファイル名を指定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

JSP タグライブラリ

※ <jsp-config>要素が複数あると、「標準 D.D」ページしか開けません。「標準 D.D」ページで 1 つに修正してください。

項目	要素	説明
JSP タグライブラリリスト	<web-app> <jsp-config>	JSP タグライブラリを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加

	<taglib>	/削除ができます。 [任意]
URI	<web-app> <jsp-config> <taglib> <taglib-uri>	Web アプリケーション内のタグライブラリを特定する URI を設定します。 [必須]
タグライブラリの場所	<web-app> <jsp-config> <taglib> <taglib-location>	タグライブラリ記述ファイルの場所を Web アプリケーションのルートからの相対で設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します

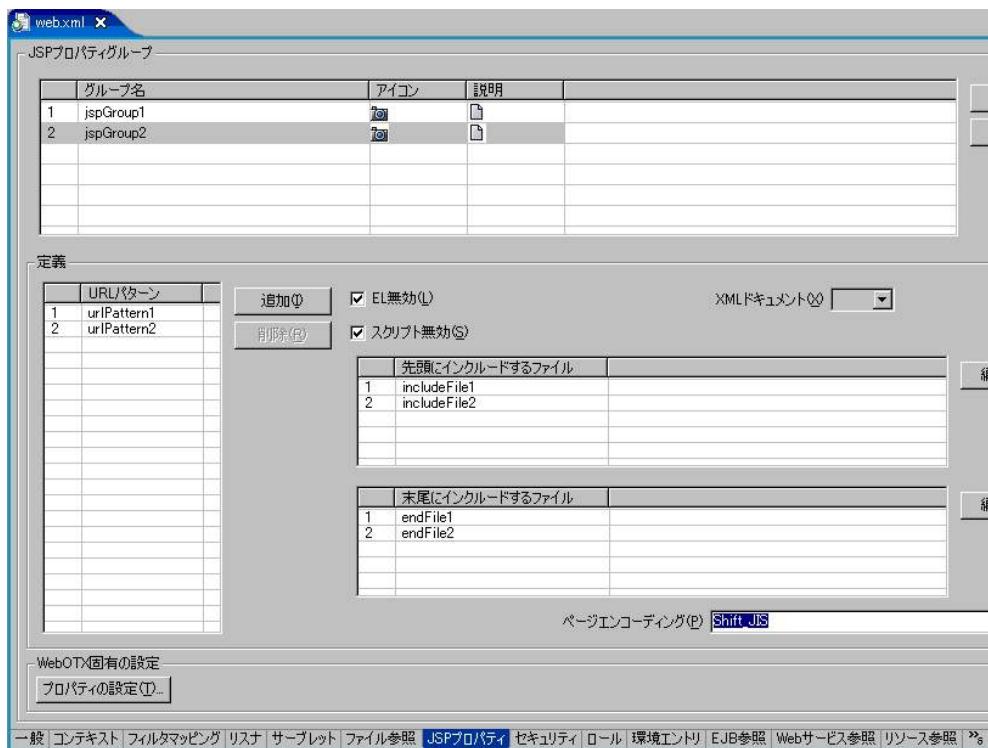
エラーマッピング

項目	要素	説明
エラーマッピングリスト	<web-app> <error-page>	エラーマッピングを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
エラーコード/例外	<web-app> <error-page> <error-code>/ <exception-type>	エラーコードまたは例外の型を設定します。 [必須] ※エラーコードを設定する場合は、タイプで「エラーコード」を選択し、例外の型を設定する場合は、タイプで「例外」を選択してください。
タイプ	-	「エラーコード」または「例外」を選択します。
リソースの場所	<web-app> <error-page> <location>	Web アプリケーションのルートからの相対で Web アプリケーション内のリソースの場所を設定します。 [必須] ※先頭は"/"で始まらなければなりません。
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「JSP プロパティ」ページ

web.xml エディタの「JSP プロパティ」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「JSP プロパティ」ページでは、web.xml の<jsp-property-group>要素と nec-web.xml の<jsp-config>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

※ <jsp-config>要素が複数あると、「標準 D.D」ページしか開けません。「標準 D.D」ページで 1 つに修正してください。

項目	要素	説明
JSP プロパティグループ リスト	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group>	JSP プロパティグループを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
グループ名	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <display-name>	グループ名を設定します。 [任意]
アイコン	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <icon>	アイコンを設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。 [任意]
説明	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group>	説明を設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を

	<description>	表示し、JSP プロパティグループの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します

※JSP プロパティグループリストで行を選択すると、選択した JSP プロパティグループの「定義/URL パターン」と「定義/その他」が編集できます。

定義/URL パターン

項目	要素	説明
URL パターン	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <url-pattern>	JSP プロパティグループリストで選択した JSP プロパティグループに含む JSP の URL パターンを一覧表示します。JSP プロパティグループを選択しないと編集できません。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

定義/その他

JSP プロパティグループリストで選択した JSP プロパティグループに設定するプロパティです。JSP プロパティグループを選択しないと編集できません。

項目	要素	説明
EL 無効	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <el-ignored>	EL を無効にするかどうか指定します。 チェック状態: EL が無効(true) 未チェック状態: EL が有効(false) [任意]
スクリプト無効	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <scripting-invalid>	スクリプトを無効にするかどうか指定します。 チェック状態: スクリプトが無効(true) 未チェック状態: スクリプトが有効(false) [任意]
XML ドキュメント	<web-app> <jsp-config>	URL パターンに一致するリソースが、XML ドキュメントかどうか指定します。 値なし: 指定しない(<is-xml>要素なし)

	<jsp-property-group> <is-xml>	true: XML ドキュメントである false: XML ドキュメントでない [任意]
先頭にインクルードする ファイル	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <include-prelude>	「インクルードファイル設定ダイアログ」で設 定した、先頭にインクルードするファイルを一 覧表示します。 [任意]
末尾にインクルードする ファイル	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <include-coda>	「インクルードファイル設定ダイアログ」で設 定した、末尾にインクルードするファイルを一 覧表示します。 [任意]
「編集...」ボタン	-	「インクルードファイル設定ダイアログ」を表 示して、先頭または末尾にインクルードする ファイルを設定します。
ページエンコーディング	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <page-encoding>	ページエンコーディングの文字コードを設定 します。 [任意]

「インクルードファイル設定ダイアログ」

「JSP プロパティ」ページ の「編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
----	----	----

インクルードファイル	<web-app> <jsp-config> <jsp-property-group> <include-prelude>/ <include-coda>	JSP プロパティグループリストで選択した JSP プロパティグループの JSP の先頭または末尾に自動的にインクルードするファイルを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「上へ」ボタン	-	選択行を一行上へ移動します。
「下へ」ボタン	-	選択行を一行下へ移動します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「JSP プロパティ」ページに戻ります。

WebOTX 固有の設定

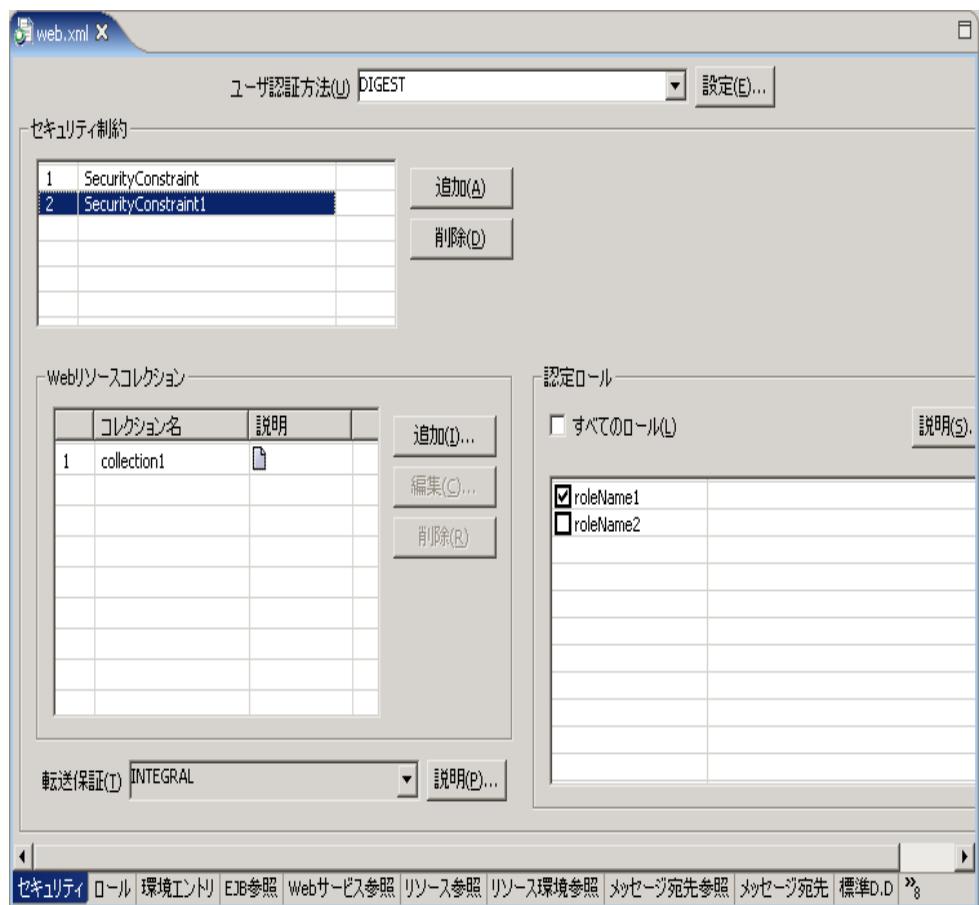
nec-web.xml の<jsp-config>要素を編集します。各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
「プロパティの設定...」ボタン	<nec-web-app> <jsp-config> <property>	「プロパティの設定」ダイアログを表示し、JSP を事前コンパイルするとき、または precompilejsp オプションを指定してアプリケーションを配備するときに使用する JSP の設定情報を設定します。 [任意]

「セキュリティ」ページ

web.xml エディタの「セキュリティ」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「セキュリティ」ページでは、<login-config>要素と<security-constraint>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

ユーザ認証方法

項目	要素	説明
ユーザ認証方法	<web-app> <login-config> <auth-method>	使用する認証方法を設定します。 [任意] ※<login-config>要素が複数あると、「標準 D.D」ページしか開けません。「標準 D.D」ページで 1 つに修正してください。
「設定...」ボタン	-	「設定...」ボタンをクリックすると、「ユーザ認証設定ダイアログ」を表示します。「ユーザ認証方法」を設定した場合のみ有効です。

セキュリティ制約

項目	要素	説明
セキュリティ制約リスト	<web-app> <security-constraint>	セキュリティ制約を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
セキュリティ制約	<web-app>	セキュリティ制約の表示名を設定します。

	<security-constraint> <display-name>	[任意]
「追加」ボタン	-	既存の値と重複しないセキュリティ制約の表示名(SecurityConstraintX)をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※ セキュリティ制約リストで行を選択すると、選択したセキュリティ制約の Web リソースコレクション、認定ロール、転送保証が編集できます。

Web リソースコレクション

項目	要素	説明
Web リソースコレクションリスト	<web-app> <security-constraint> <web-resource-collection> n> <web-resource-name>	セキュリティ制約リストで選択したセキュリティ制約を適用する Web リソースコレクションを一覧表示します。セキュリティ制約を選択しないと編集できません。 「追加...」ボタン/「編集...」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/編集/削除ができます。 [必須]
コレクション名	<web-app> <security-constraint> <web-resource-collection> n> <web-resource-name>	「Web リソースコレクション編集ダイアログ」で設定した Web リソースコレクションの名前を表示します。 [必須]
説明	<web-app> <security-constraint> <web-resource-collection> n> <description>	説明を設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックすると、「Web リソースコレクション編集ダイアログ」で設定した説明を表示します。 [任意]
「追加...」ボタン	-	「Web リソースコレクション編集ダイアログ」を表示して、Web リソースコレクションの情報を追加します。
「編集...」ボタン	-	「Web リソースコレクション編集ダイアログ」を

		表示して、選択行の情報を編集します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

認定ロール

セキュリティ制約リストで選択したセキュリティ制約を適用する Web リソースコレクションへのアクセスを許可するロールです。セキュリティ制約を選択しないと指定できません。

項目	要素	説明
すべてのロール	<web-app> <security-constraint> <auth-constraint> <role-name>	「ロール」ページで定義したセキュリティロールすべてに、Web リソースコレクションへのアクセスを許可する場合にチェックします。 [任意]
ロールの一覧	<web-app> <security-constraint> <auth-constraint> <role-name>	「ロール」ページで定義したセキュリティロールの一覧から、Web リソースコレクションへのアクセスを許可するロールを選択します。 「すべてのロール」をチェックしない場合のみ有効です。 チェック状態: アクセスを許可する 未チェック状態: アクセスを許可しない [任意]
「説明...」ボタン	<web-app> <security-constraint> <auth-constraint> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、認定ロールの説明を設定します。 [任意]

転送保証

項目	要素	説明
転送保証	<web-app> <security-constraint> <user-data-constraint> <transport-guarantee>	セキュリティ制約リストで選択したセキュリティ制約に対して、通信データの保証レベルを設定します。 セキュリティ制約を選択しないと編集できません。 [任意] ※転送保証を設定しない場合は、<user-data-constraint>要素が未定義として扱います。そのため、設定済みの説明があっても、<user-data-constraint>要素を削除

		します。
「説明...」ボタン	<web-app> <security-constraint> <user-data-constraint> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、転送保証の説明を設定します。「転送保証」を設定した場合のみ有効です。 [任意]

「ユーザ認証設定ダイアログ」

「セキュリティ」ページ の「設定...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
realmName	<web-app> <login-config> <realm-name>	使用するrealm名を設定します。 [任意]
ログインページ	<web-app> <login-config> <form-login-config> <form-login-page>	ログインに使用するページの場所を設定します。「ユーザ認証方法」で「FORM」を選択した場合のみ有効です。 [必須] ※先頭は"/"で始まらなければなりません。
エラーページ	<web-app> <login-config> <form-login-config> <form-error-page>	ログイン失敗時に表示するエラーページの場所を設定します。「ユーザ認証方法」で「FORM」を選択した場合のみ有効です。 [必須] ※先頭は"/"で始まらなければなりません。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「セキュリティ」ペ

ページに戻ります。

「Web リソースコレクション編集ダイアログ」

「セキュリティ」ページ の「編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
コレクション名	<web-app> <security-constraint> <web-resource-collection> <web-resource-name>	Web リソースコレクションの名前を設定します。 [必須]
「説明...」ボタン	<web-app> <security-constraint> <web-resource-collection> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、Web リソースコレクションの説明を設定します。 [任意]
URL パターンリスト	<web-app>	セキュリティ制約を適用するリソースの URL パターンを設定します。

	<security-constraint> <web-resource-collection> <url-pattern>	「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
HTTP メソッド	<web-app> <security-constraint> <web-resource-collection> <http-method>	セキュリティ制約を適用する HTTP メソッドを設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「セキュリティ」ページに戻ります。

「ロール」ページ

web.xml エディタの「ロール」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「ロール」ページでは、<security-role>要素が編集できます。

ロール名	説明
1 roleName1	
2 roleName2	

Principal名(P)	グループ名(G)
1 principal1	classname1
2 principal2	classname2

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
定義されたロールリスト	<web-app> <security-role>	セキュリティロールを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
ロール名	<web-app> <security-role> <role-name>	セキュリティロール名を設定します。 [必須] ※「セキュリティ」ページ(servlet/run-as)、あるいは「サーブレット」ページ(servlet/security-role-ref/role-name)で使 用しているセキュリティロール名を、変更、削 除することはできません。
説明	<web-app> <security-role> <description>	説明を設定している場合は  、設定してい ない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を 表示し、セキュリティロールの説明を設定し ます。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※定義されたロールリストで行を選択すると、選択したロールの WebOTX 固有の設定が編集できます。

WebOTX 固有の設定

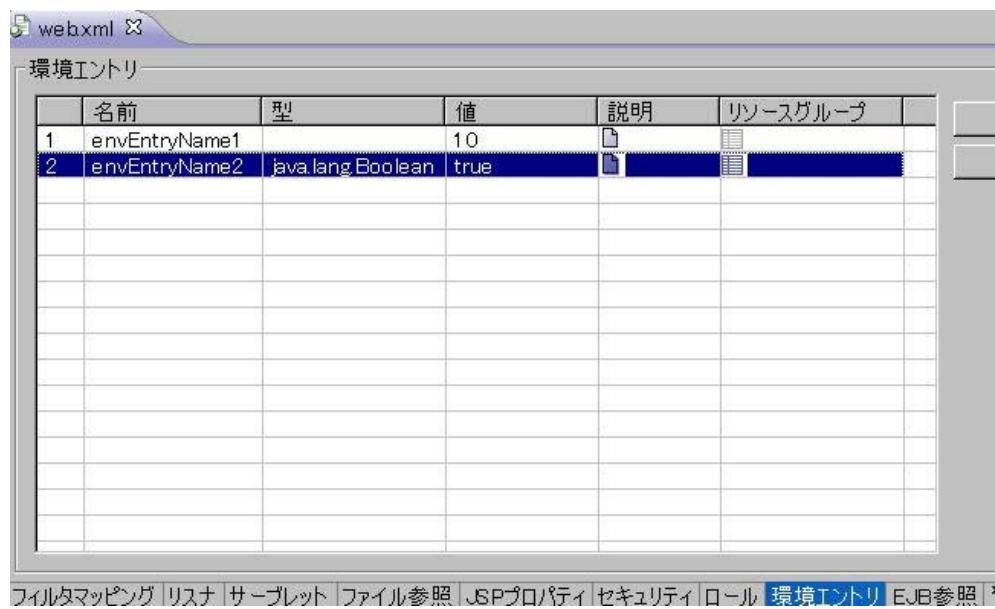
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
Principal 名	<nec-web-app> <security-role-mapping> <principal-name>	定義されたロールリストで選択したロールを 割り当てるユーザ名を設定します。ロールを 選択しないと編集できません。 [任意]
クラス名	<nec-web-app> <security-role-mapping> <principal-name> の class-name 属性	定義されたロールリストで選択したロールを 割り当てるユーザ名のクラス名属性を設定 します。ロールを選択しないと編集できま せん。 [任意]
グループ名	<nec-web-app> <security-role-mapping>	定義されたロールリストで選択したロールを 割り当てるグループ名を設定します。ロール

	<group-name>	を選択しないと編集できません。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「環境エントリ」ページ

web.xml エディタの「環境エントリ」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
 「環境エントリ」ページでは、<env-entry>要素が編集できます。



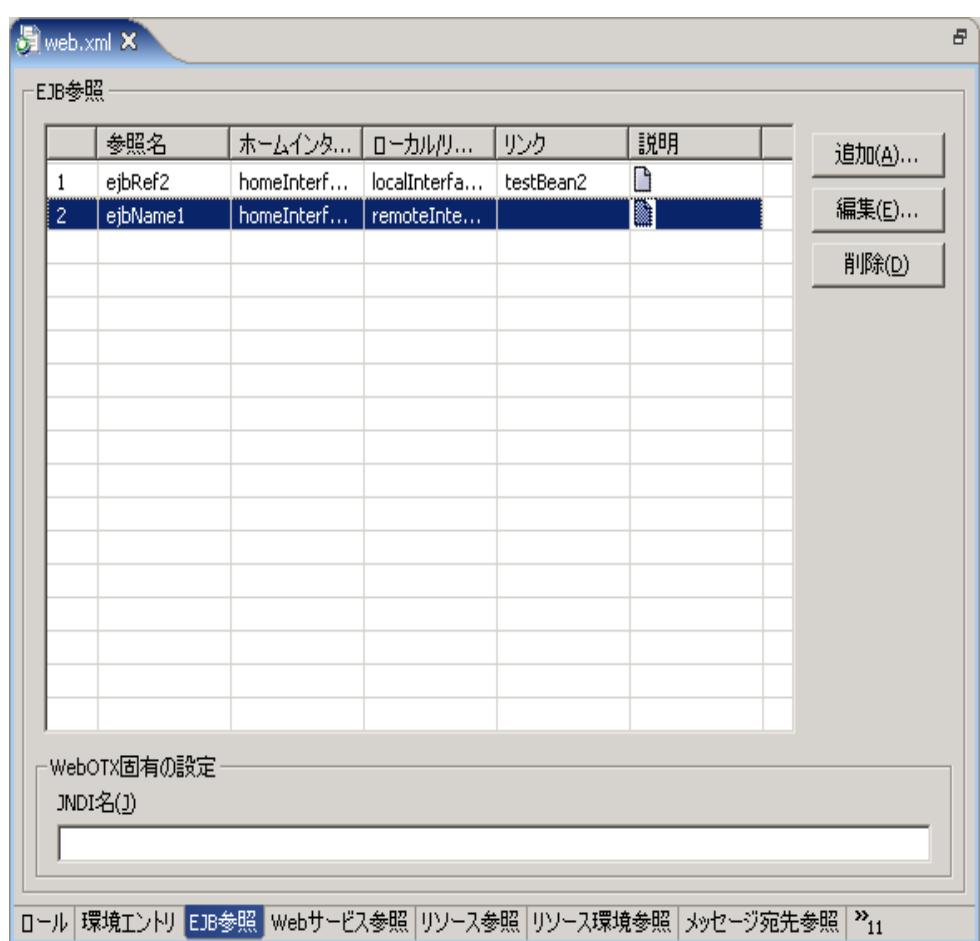
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
環境エントリリスト	<web-app> <env-entry>	環境エントリを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
名前	<web-app> <env-entry> <env-entry-name>	Web アプリケーションの環境エントリ名を設定します。JNDI 名です。 [必須]
型	<web-app> <env-entry> <env-entry-type>	環境エントリ値の型を以下から選択します。 "" java.lang.Boolean java.lang.Byte java.lang.Character java.lang.String

		<code>java.lang.Short</code> <code>java.lang.Integer</code> <code>java.lang.Long</code> <code>java.lang.Float</code> <code>java.lang.Double</code> [任意]
値	<web-app> <env-entry> <env-entry-value>	環境エントリ値を設定します。選択した型として適当な値でなければなりません。型で Boolean を選択した場合は、true か false を選択します。 [任意]
説明	<web-app> <env-entry> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、環境エントリの説明を設定します。 [任意]
リソースグループ	<web-app> <env-entry> <mapped-name> </mapped-name> <injection-target> </injection-target>	リソースグループを設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「リソースグループダイアログ」を表示し、環境エントリのリソースグループを設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「EJB 参照」ページ

web.xml エディタの「EJB 参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
 「EJB 参照」ページでは、<ejb-ref>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
EJB 参照リスト	<web-app> <ejb-ref>/ <ejb-local-ref>	EJB 参照を一覧表示します。 「追加...」ボタン/「編集...」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/編集/削除ができます。 [任意]
参照名	<web-app> <ejb-ref>/ <ejb-local-ref> <ejb-ref-name>	「EJB 参照設定ダイアログ」で設定した参照名を表示します。 [必須]
ホームインターフェース	<web-app> <ejb-ref> <home>/ <ejb-local-ref> <local-home>	「EJB 参照設定ダイアログ」で設定したホームインターフェースを表示します。 [任意]
ローカル/リモートインターフェース	<web-app> <ejb-ref> <remote>/	「EJB 参照設定ダイアログ」で設定したローカル/リモートインターフェースを表示します。 [任意]

	<ejb-local-ref> <local>	
リンク	<web-app> <ejb-ref>/ <ejb-local-ref> <ejb-link>	「EJB 参照設定ダイアログ」で設定したターゲット EJB を表示します。 [任意]
説明	<web-app> <ejb-ref>/ <ejb-local-ref> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックすると、「EJB 参照設定ダイアログ」で設定した説明を表示します。 [任意]
「追加...」ボタン	-	「EJB 参照設定ダイアログ」を表示して、EJB 参照の情報を追加します。
「編集...」ボタン	-	「EJB 参照設定ダイアログ」を表示して、選択行の情報を編集します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※EJB 参照リストで行を選択すると、選択した EJB 参照の WebOTX 固有の設定が編集できます。

WebOTX 固有の設定

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
JNDI 名	<nec-web-app> <ejb-ref> <jndi-name>	EJB 参照リストで選択した EJB 参照に割り当てるリソースの JNDI 名を設定します。EJB 参照を選択しないと編集できません。 [任意]

「EJB 参照設定ダイアログ」

「EJB 参照」ページ の「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のようない画面を表示します。



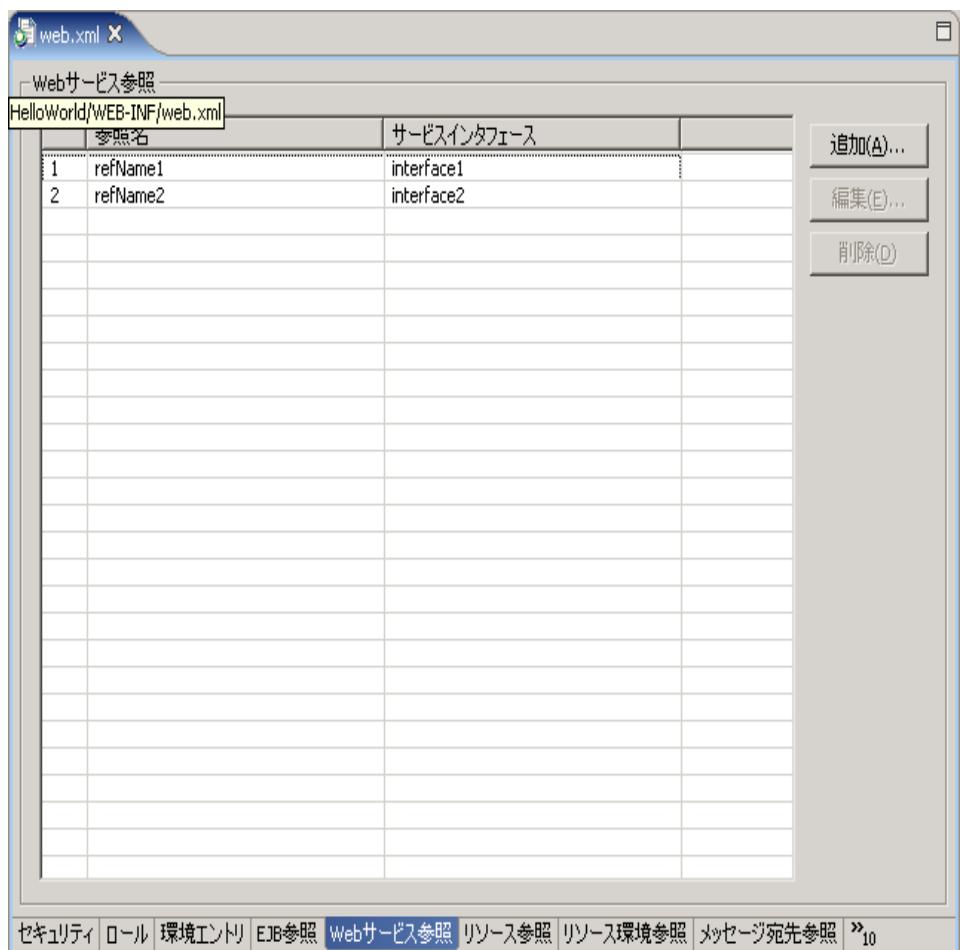
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
参照名	<web-app> <ejb-ref>/ <ejb-local-ref> <ejb-ref-name>	Web アプリケーションのコードで使う EJB 参照名を設定します。 [必須]
タイプ	<web-app> <ejb-ref>/ <ejb-local-ref> <ejb-ref-type>	参照するエンタプライズ Bean のタイプを以下から選択します。 Entity Session [任意]
インターフェース	-	ローカルカリモートか指定します。Local を指定すると、<ejb-local-ref>、Remote を指定すると、<ejb-ref>になります。 [必須]
ホームインターフェース	<web-app> <ejb-ref> <home>/ <ejb-local-ref>	参照するエンタプライズ Bean のホームインターフェースを設定します。 [任意]

	<local-home>	
ローカル/リモートインタフェース	<web-app> <ejb-ref> <remote>/ <ejb-local-ref> <local>	参照するエンタプライズ Bean のローカルインターフェースまたはリモートインターフェース(インターフェースでの設定による)を設定します。 [任意]
「説明...」ボタン	<web-app> <ejb-ref> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、参照の説明を設定します。 [任意]
エンタプライズ Bean	<web-app> <ejb-ref> <ejb-link>/ <ejb-local-ref> <ejb-link>	参照対象のエンタプライズ Bean を設定します。 [任意]
「リソースグループ」ボタン	<web-app> <ejb-ref> /<ejb-local-ref> <mapped-name> </mapped-name> <injection-target> </injection-target >	「リソースグループ」ボタンをクリックして、「リソースグループダイアログ」を表示し、EJB 参照のリソースグループを設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「EJB 参照」ページに戻ります。

「Web サービス参照」ページ

web.xml エディタの「Web サービス参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
 「Web サービス参照」ページでは、<service-ref>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
Web サービス参照リスト	<web-app> <service-ref>	Web サービス参照を一覧表示します。 「追加...」ボタン/「編集...」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/編集/削除ができます。 [任意]
参照名	<web-app> <service-ref> <service-ref-name>	「Web サービス参照設定ダイアログ」で設定した参照名を表示します。 [必須]
サービスインターフェース	<web-app> <service-ref> <service-interface>	「Web サービス参照設定ダイアログ」で設定したサービスインターフェースを表示します。 [必須]
「追加...」ボタン	-	「Web サービス参照設定ダイアログ」を表示して、Web サービス参照の情報を追加します。
「編集...」ボタン	-	「Web サービス参照設定ダイアログ」を表示して、選択行の情報を編集します。

「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
---------	---	---------------------

「Web サービス参照設定ダイアログ」

「Web サービス参照」ページ の「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
参照名	<web-app> <service-ref> <service-ref-name>	Web サービスの参照名を設定します。 [必須]
表示名	<web-app> <service-ref> <display-name>	Web サービスの表示名を設定します。 [任意]
インターフェース	<web-app> <service-ref> <service-interface>	サービスインターフェースを設定します。 [必須]
WSDL ファイル	<web-app> <service-ref> <wsdl-file>	WSDL ファイルを設定します。 [任意]

マッピングファイル	<web-app> <service-ref> <jaxrpc-mapping-file>	JAX-RPC マッピングを記述しているファイルを設定します。 [任意]
サービス QName	<web-app> <service-ref> <service-qname>	サービスの QName を設定します。 [任意] ※「WSDL ファイル」を設定した場合のみ有効です。 ※ QName の形式は、<service-qname xmlns:service_qname_ns_="ネームスペース" >service_qname_ns_: ローカルパート </service-qname>です。
ネームスペース	-	サービスの QName の URI 参照を設定します。 [任意]
ローカルパート	-	サービスの QName のローカルパートを設定します。 [必須]
「ポートコンポーネント参照設定...」ボタン	<web-app> <service-ref> <port-component-ref>	「ポートコンポーネント参照設定ダイアログ」を表示します。
「ハンドラ設定...」ボタン	<web-app> <service-ref> <handler>	「ハンドラ設定ダイアログ」を表示します。
「アイコン...」ボタン	<web-app> <service-ref> <icon>	「アイコン...」ボタンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。
「説明...」ボタン	<web-app> <service-ref> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、Web サービス参照の説明を設定します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「Web サービス参照」ページに戻ります。

「ポートコンポーネント参照設定ダイアログ」

「Web サービス参照設定ダイアログ」の「ポートコンポーネント参照設定...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「ポートコンポーネント参照設定ダイアログ」では、<port-component-ref>要素が編集できます。



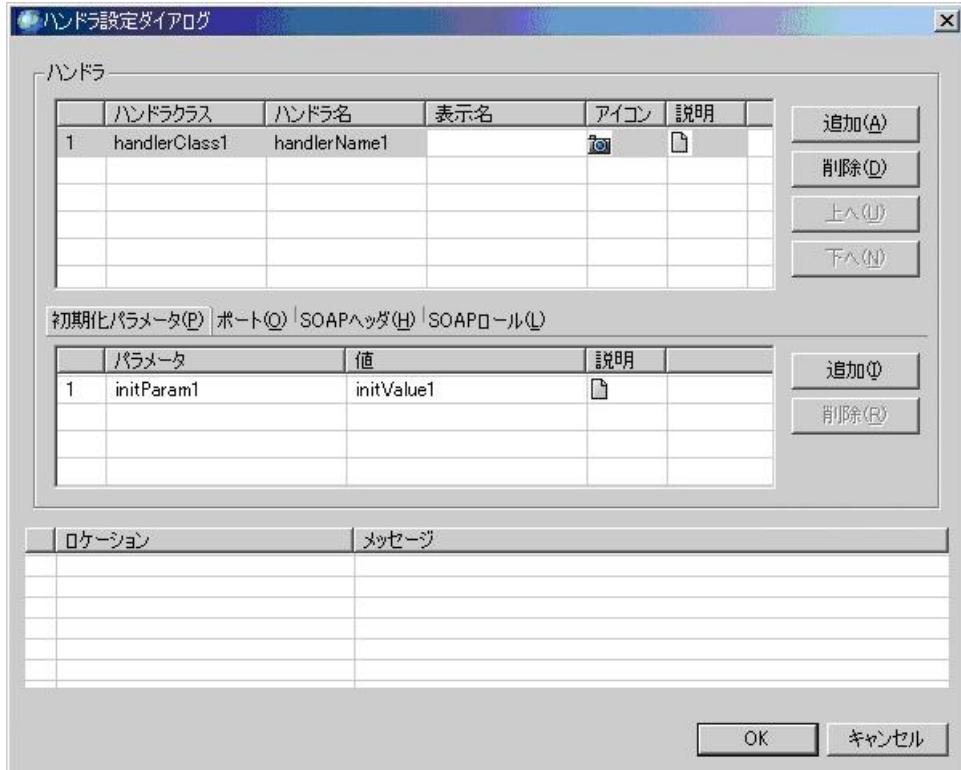
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
ポートコンポーネント参考リスト	<web-app> <service-ref> <port-component-ref>	ポートコンポーネント参照を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
サービスエンドポイントインターフェース	<web-app> <service-ref> <port-component-ref> <service-endpoint-interface>	WSDL ポートのサービスエンドポイントインターフェースの Java クラス名を設定します。 [必須]
ポートコンポーネント名	<web-app> <service-ref> <port-component-ref> <port-component-link>	サービスエンドポイントインターフェースと結びつけて参照するポートコンポーネントの名前を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「Web サービス参考設定ダイアログ」に戻ります。

「ハンドラ設定ダイアログ」

「Web サービス参考設定ダイアログ」の「ハンドラ設定...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「ハンドラ設定ダイアログ」では、<handler>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

ハンドラ

項目	要素	説明
ハンドラリスト	<web-app> <service-ref> <handler>	ポートコンポーネントのためのハンドラを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
ハンドラクラス	<web-app> <service-ref> <handler> <handler-class>	ハンドラ実装クラスのクラス名を設定します。 [必須]
ハンドラ名	<web-app> <service-ref> <handler> <handler-name>	ハンドラ名を設定します。 [必須]
表示名	<web-app> <service-ref>	ハンドラの表示名を設定します。 [任意]

	<handler>	
	<display-name>	
アイコン	<web-app> <service-ref> <handler> <icon>	アイコンを設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。 [任意]
説明	<web-app> <service-ref> <handler> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、ハンドラの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「上へ」ボタン	-	選択行を一行上へ移動します。
「下へ」ボタン	-	選択行を一行下へ移動します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「Web サービス参照設定ダイアログ」に戻ります。

※ハンドラで行を選択すると、選択したハンドラの初期化パラメータ、ポート、SOAP ヘッダ、SOAP ロールが編集できます。

初期化パラメータ

初期化パラメータ(P)		ポート(O)	SOAPヘッダ(H)	SOAPロール(L)
	パラメータ	値	説明	
1	initParam1	initValue1		

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
初期化パラメータリスト	<web-app> <service-ref> <handler> <init-param>	ハンドラリストで選択したハンドラの初期化パラメータを一覧表示します。ハンドラを選択しないと編集できません。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]

パラメータ	<web-app> <service-ref> <handler> <init-param> <param-name>	初期化パラメータ名を設定します。 [必須]
値	<web-app> <service-ref> <handler> <init-param> <param-value>	初期化パラメータの値を設定します。 [必須]
説明	<web-app> <service-ref> <handler> <init-param> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、初期化パラメータの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

ポート

初期化パラメータ(P)		ポート(O)	SOAPヘッダ(H)	SOAPロール(L)
	ポート			
1	port1			
2	port2			

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
ポート	<web-app> <service-ref> <handler> <port-name>	ハンドラリストで選択したハンドラが連携すべき WSDL ポート名を一覧表示します。ハンドラを選択しないと編集できません。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。

「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
---------	---	---------------------

SOAP ヘッダ

初期化パラメータ(P) | ポート(O) | SOAPヘッダ(H) | SOAPロール(L)

ネームスペース	ローカルパート
1 nameSpace	localPart

追加(+) | 削除(R)

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
SOAP ヘッダ	<web-app> <service-ref> <handler> <soap-header>	ハンドラリストで選択したハンドラで処理する SOAP ヘッダの QName を一覧表示します。 ハンドラを選択しないと編集できません。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/ 削除ができます。 [任意] ※ QName の形式は、<service-qname xmlns:service_qname_ns_="ネームスペース" ">service_qname_ns_: ローカルパート </service-qname>です。
ネームスペース	-	SOAP ヘッダの QName の URI 参照を設定します。 [任意]
ローカルパート	-	SOAP ヘッダの QName のローカルパートを設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

SOAP ロール

初期化パラメータ(P) | ポート(O) | SOAPヘッダ(H) | SOAPロール(L)

SOAPロール
1 soapRole1
2 soapRole2

追加(+) | 削除(R)

各項目の説明を以下に示します。

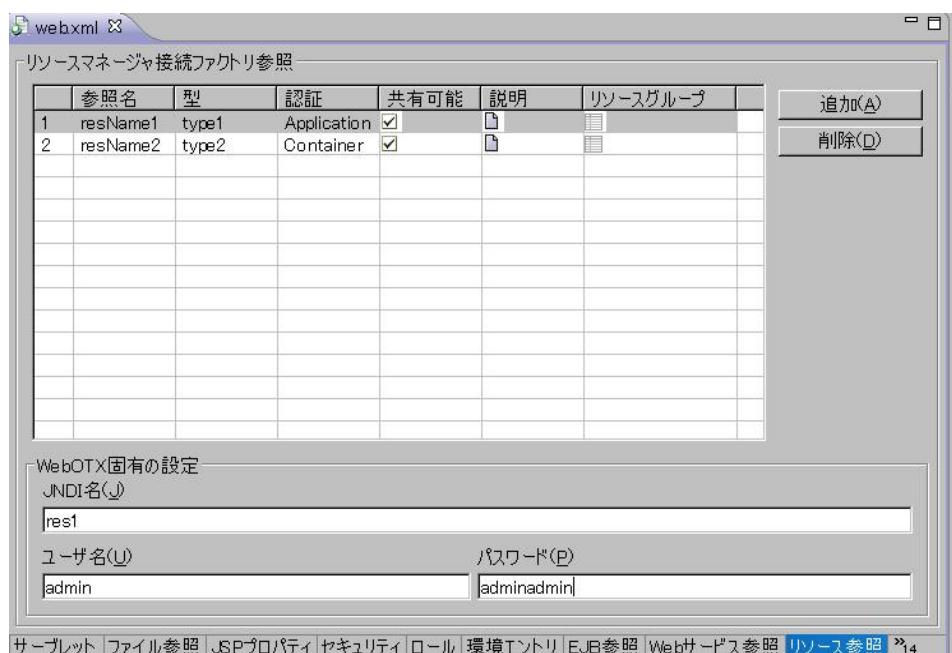
項目	要素	説明
SOAP ロール	<web-app>	ハンドラリストで選択したハンドラの SOAP ロ

	<service-ref> <handler> <soap-role>	ールを一覧表示します。ハンドラを選択しないと編集できません。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「リソース参照」ページ

web.xml エディタの「リソース参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「リソース参照」ページでは、<resource-ref>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
リソースマネージャ接続 ファクトリ参照リスト	<web-app> <resource-ref>	Web アプリケーションの外部リソースへの参照を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
参照名	<web-app> <resource-ref> <res-ref-name>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照の名前を設定します。JNDI 名です。 [必須]
型	<web-app>	データソースの型を指定します。データソース

	<resource-ref> <res-type>	スの Java クラス名かデータソースで実装しているインターフェース名です。 [任意]
認証	<web-app> <resource-ref> <res-auth>	リソースマネージャにサインオンするのが Web アプリケーションかコンテナか指定します。選択肢は以下の通りです。 Application Container [任意]
共有可能	<web-app> <resource-ref> <res-sharing-scope>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照から取得したコネクションを共有できるかどうか指定します。 既定値: 共有可能 [任意]
説明	<web-app> <resource-ref> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、リソース参照の説明を設定します。 [任意]
リソースグループ	<web-app> <resource-ref> <mapped-name> </mapped-name> <injection-target> </injection-target>	リソースグループを設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「リソースグループダイアログ」を表示し、リソースマネージャ接続ファクトリ参照のリソースグループを設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストで行を選択すると、選択したリソースマネージャ接続ファクトリ参照の WebOTX 固有の設定が編集できます。

WebOTX 固有の設定

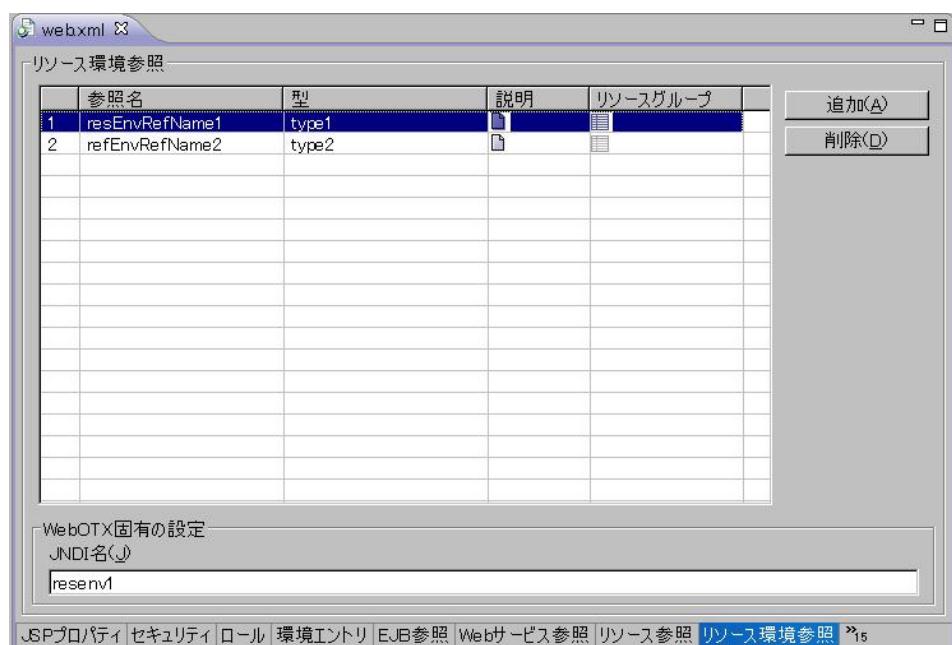
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
JNDI 名	<nec-web-app> <resource-ref> <jndi-name>	リソースマネージャ接続ファクトリ参照リストで選択したリソースマネージャ接続ファクトリ参照に割り当てるリソースの JNDI 名を設定します。リソースマネージャ接続ファクトリ参

		照を選択しないと編集できません。 [任意]
ユーザ名	<nec-web-app> <resource-ref> <default-resource-princi pal > <name>	リソースのデフォルトのユーザ名を設定しま す。 [任意] ※設定する場合は、JNDI 名、パスワードと 一緒に設定しなければなりません。
パスワード	<nec-web-app> <resource-ref> <default-resource-princi pal > <password>	リソースのデフォルトのユーザのパスワード を設定します。 [任意] ※設定する場合は、JNDI 名、ユーザ名と一 緒に設定しなければなりません。

「リソース環境参照」ページ

web.xml エディタの「リソース環境参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「リソース環境参照」ページでは、<resource-env-ref>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
リソース環境参照リスト	<web-app> <resource-env-ref>	リソース環境参照を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加 /削除ができます。 [任意]
参照名	<web-app>	リソース環境参照の名前を設定します。

	<resource-env-ref> <res-ref-env-name>	JNDI 名です。 [必須]
型	<web-app> <resource-env-ref> <res-env-type>	リソース環境参照の型を設定します。Java クラス名かインターフェース名です。 [任意]
説明	<web-app> <resource-env-ref> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、リソース環境参照の説明を設定します。 [任意]
リソースグループ	<web-app> <resource-env-ref> <mapped-name> </mapped-name> <injection-target> </injection-target>	リソースグループを設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「リソースグループダイアログ」を表示し、リソース環境参照のリソースグループを設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※リソース環境参照リストで行を選択すると、選択したリソース環境参照の WebOTX 固有の設定が編集できます。

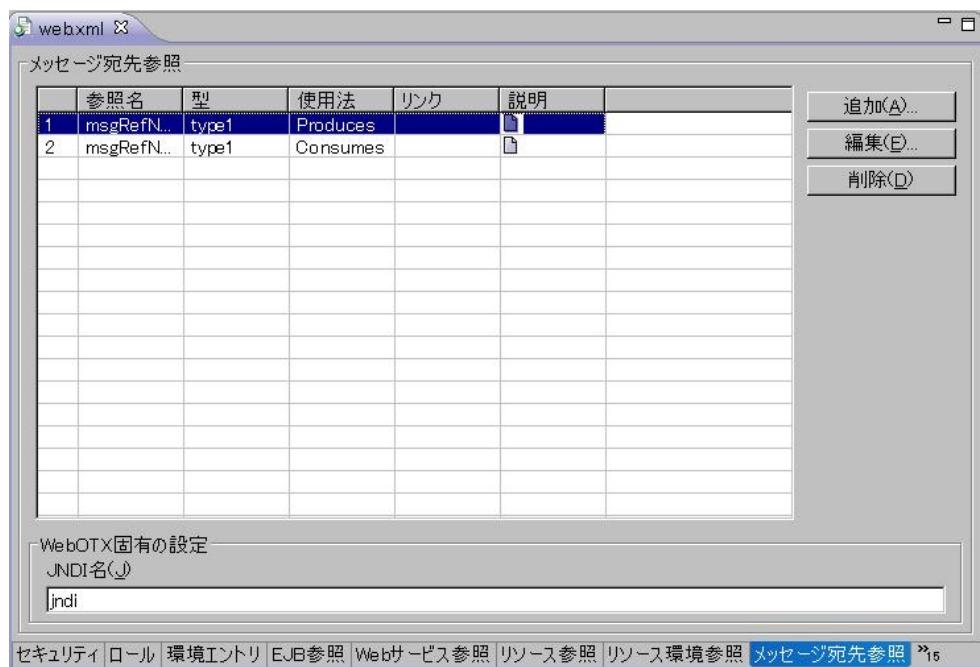
WebOTX 固有の設定

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
JNDI 名	<nec-web-app> <resource-env-ref> <jndi-name>	リソース環境参照リストで選択したリソース環境参照に割り当てるリソースの JNDI 名を設定します。リソース環境参照を選択しないと編集できません。 [任意]

「メッセージ宛先参照」ページ

web.xml エディタの「メッセージ宛先参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「メッセージ宛先参照」ページでは、<message-destination-ref>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
メッセージ宛先参照リスト	<web-app> <message-destination-ref> <message-destination-ref-name>	メッセージ宛先参照を一覧表示します。「追加...」ボタン/「編集...」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/編集/削除ができます。 [任意]
参照名	<web-app> <message-destination-ref> <message-destination-ref-name>	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」で設定した参照名を表示します。 [必須]
型	<web-app> <message-destination-ref> <message-destination-type>	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」で設定した型を表示します。 [任意]
使用法	<web-app> <message-destination-ref>	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」で設定した使用法を表示します。 [任意]

	<message-destination-u sage>	
リンク	<web-app>	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」で設 定したターゲット宛先を表示します。 [任意]
	<message-destination-r ef>	
	<message-destination-li nk>	
説明	<web-app> <message-destination-r ef> <description>	説明を設定している場合は  、設定してい ない場合は  を表示します。 アイコンをクリックすると、「メッセージ宛先参 照設定ダイアログ」で設定した説明を表示し ます。 [任意]
「追加...」ボタン	-	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」を表 示して、メッセージ宛先参照の情報を追加し ます。
「編集...」ボタン	-	「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」を表 示して、選択行の情報を編集します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※メッセージ宛先参照リストから、1つのメッセージ宛先参照を選択すると、該当メッセー
ジ宛先参照の WebOTX 固有の設定が編集できます。

WebOTX 固有の設定

各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
JNDI 名	<nec-web-app> <message-destination-r ef> <jndi-name>	メッセージ宛先参照リストで選択したメッセー ジ宛先参照に割り当てるメッセージ宛先参 照の JNDI 名を設定します。メッセージ宛先 参照を選択しないと編集できません。 [任意]

「メッセージ宛先参照設定ダイアログ」

「メッセージ宛先参照」ページ の「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のよう
な画面を表示します。



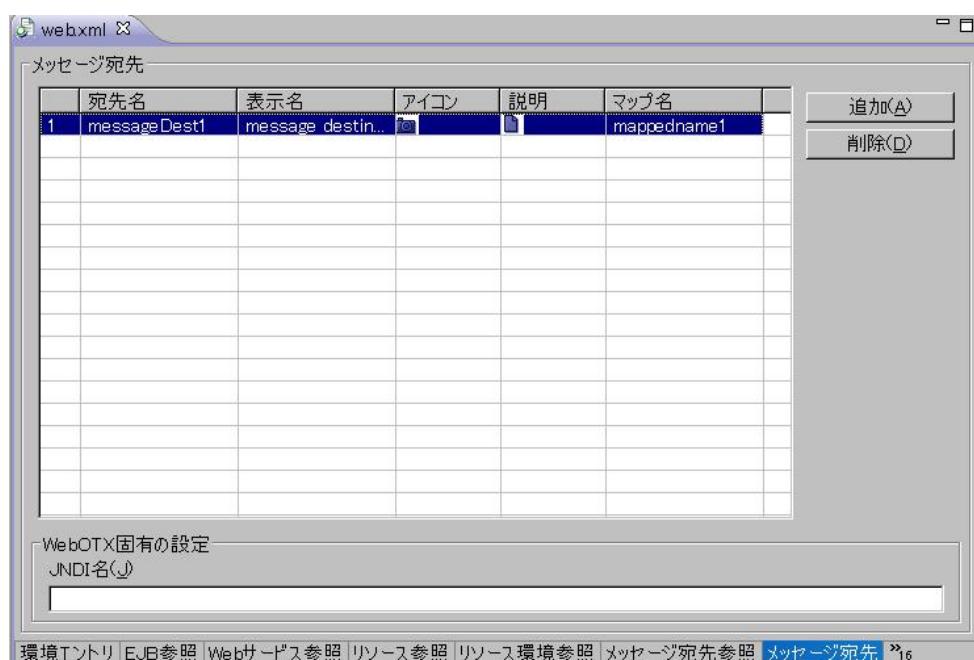
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
参照名	<web-app> <message-destination-ref> <message-destination-ref-name>	メッセージ宛先参照の参照名を設定します。JNDI 名です。 [必須]
型	<web-app> <message-destination-ref> <message-destination-type>	メッセージ宛先参照の型を設定します。 メッセージ宛先で実装しているインターフェースです。 [任意]
使用法	<web-app> <message-destination-ref> <message-destination-usage>	メッセージ宛先参照の使用法を指定します。選択肢は以下の通りです。 “” Consumes Produces ConsumesProduces [任意]
「説明...」ボタン	<web-app> <message-destination-ref> <description>	「説明...」ボタンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、メッセージ宛先参照の説明を設定します。 [任意]

宛先名	<web-app> <message-destination-ref> <message-destination-link>	参照対象のメッセージ宛先を設定します。 [任意]
「リソースグループ」ボタン	<web-app> <message-destination-ref> <mapped-name> </mapped-name> <injection-target> </injection-target>	「リソースグループ」ボタンをクリックして、「リソースグループダイアログ」を表示し、メッセージ宛先参照のリソースグループを設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「メッセージ宛先参照」ページに戻ります。

「メッセージ宛先」ページ

web.xml エディタの「メッセージ宛先」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「メッセージ宛先」ページでは、<message-destination>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
メッセージ宛先リスト	<web-app> <message-destination>	メッセージ宛先を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]

宛先名	<web-app> <message-destination> <message-destination-name>	メッセージ宛先の名前を設定します。 [必須]
表示名	<web-app> <message-destination> <display-name>	メッセージ宛先の表示名を設定します。 [任意]
アイコン	<web-app> <message-destination> <icon>	アイコンを設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「アイコンダイアログ」を表示し、小さいアイコン、大きいアイコンを設定します。 [任意]
説明	<web-app> <message-destination> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、「説明ダイアログ」を表示し、メッセージ宛先の説明を設定します。 [任意]
マップ名	<web-app> <message-destination> <mapped-name>	メッセージ宛先のマップ名を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

※メッセージ宛先リストから、1つのメッセージ宛先を選択すると、該当メッセージ宛先のWebOTX固有の設定が編集できます。

WebOTX固有の設定

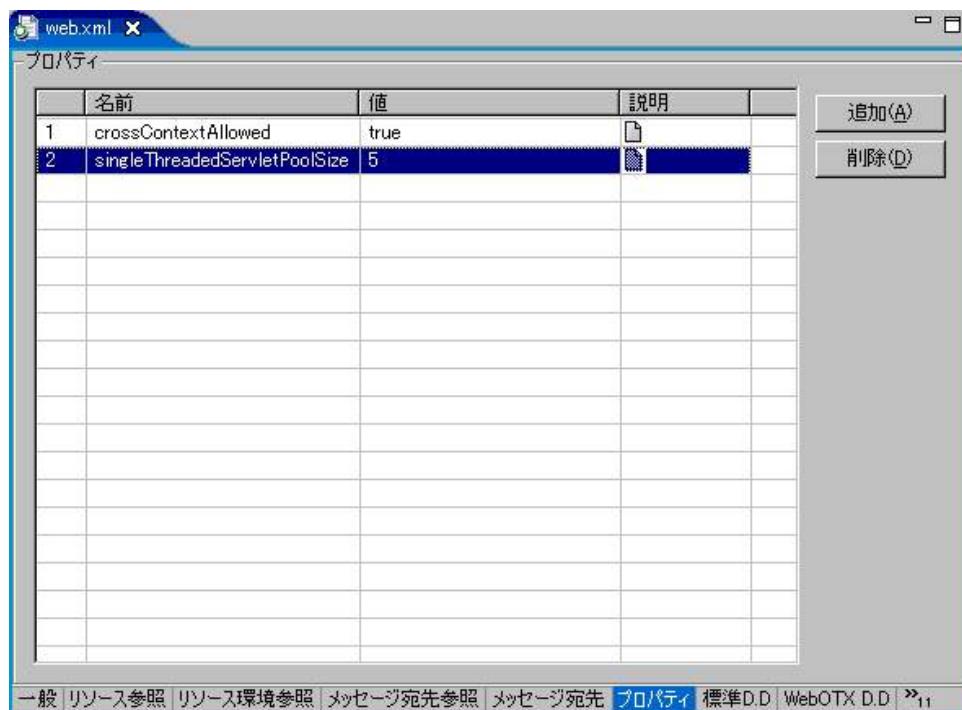
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
JNDI名	<nec-web-app> <message-destination>	メッセージ宛先リストで選択したメッセージ宛先に割り当てるメッセージ宛先のJNDI名を

	<jndi-name>	設定します。メッセージ宛先を選択しないと編集できません。 [任意]
--	-------------	--------------------------------------

「プロパティ」ページ

web.xml エディタの「プロパティ」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「プロパティ」ページでは、<property>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
プロパティリスト	<nec-web-app> <property>	プロパティを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
名前	<nec-web-app> <property> の name 属性	プロパティの名前を設定します [必須]
値	<nec-web-app> <property> の value 属性	プロパティの値を設定します。 [必須]
説明	<nec-web-app> <property> <description>	説明を設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックして、説明ダイアログを表示し、プロパティの説明を設定します。

		[任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「永続コンテキスト参照」ページ

web.xml エディタの「永続コンテキスト参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
 「永続コンテキスト参照」ページでは、< persistence-context-ref >要素が編集できます。



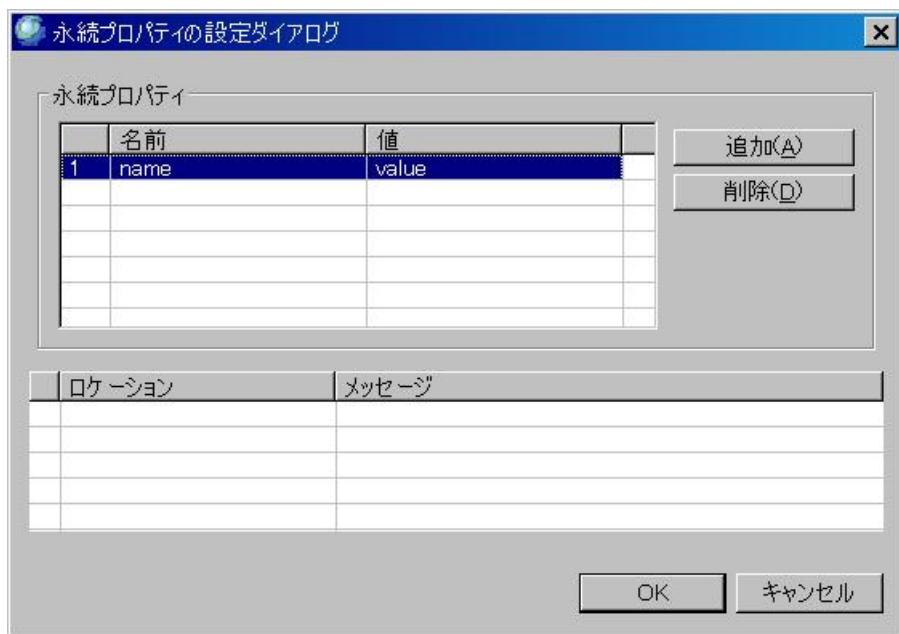
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
永続コンテキスト参照	<web-app> <persistence-context-ref>	永続コンテキスト参照を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
永続コンテキスト参照名	< web-app> <persistence-context-ref> <persistence-unit-ref-name> </persistence-context-ref>	永続コンテキスト参照名を設定します [必須]
永続結合名	< web-app> <persistence-context-ref> <persistence-unit-name>	永続結合名を設定します。 [任意]
永続コンテキストタイプ	< web-app> <persistence-context-ref> <persistence-context-type>	永続コンテキストタイプを設定します。 [任意]
永続プロパティ	< web-app> <persistence-context-ref> <persistence-property>	永続プロパティを設定している場合は 、設定していない場合は を表示します。 アイコンをクリックして、「永続プロパティの設定ダイアログ」を表示し、永続コンテキスト参照の永続プロパティを設定します。 [任意]

リソースグループ	<pre><web-app> <persistence-context-ref> <mapped-name> </mapped-name> <injection-target> </injection-target></pre>	<p>リソースグループを設定している場合は図、設定していない場合は図を表示します。</p> <p>アイコンをクリックして、「リソースグループダイアログ」を表示し、永続コンテキスト参照のリソースグループを設定します。</p> <p>[任意]</p>
説明	<pre>< web-app> <persistence-context-ref> <description></pre>	<p>説明を設定している場合は図、設定していない場合は図を表示します。</p> <p>アイコンをクリックして、説明ダイアログを表示し、永続コンテキスト参照の説明を設定します。</p> <p>[任意]</p>
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「永続プロパティの設定ダイアログ」

「永続コンテキスト参照」ページ の「追加...」ボタンまたは「編集...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
----	----	----

永続プロパティ	< web-app> <persistence-context-ref> <persistence-property>	永続プロパティを一覧表示します。 [任意]
名前	<web-app> <persistence-context-ref> <persistence-property> </persistence-property> > <name>	永続プロパティの名前を設定します [必須]
値	<web-app> <persistence-context-ref> <persistence-property> </persistence-property> > <value>	永続プロパティの値を設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、前の画面に戻ります。

「永続結合参照」ページ

web.xml エディタの「永続結合参照」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「永続結合参照」ページでは、< persistence-unit-ref >要素が編集できます。



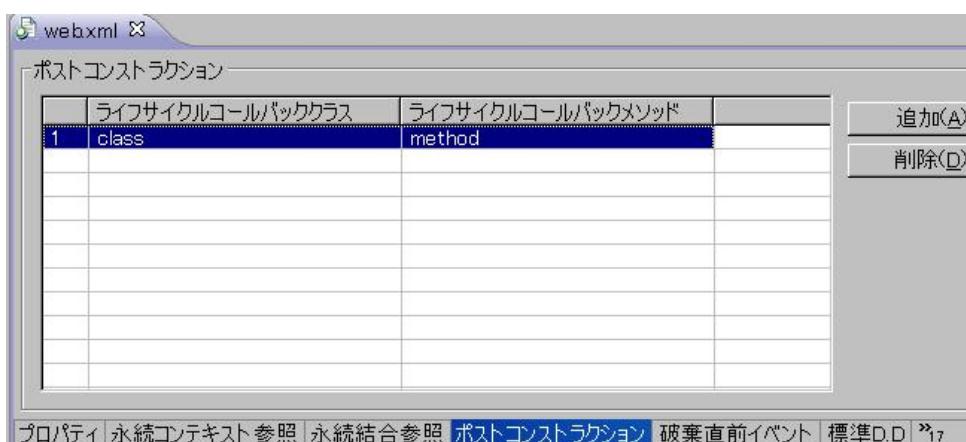
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
永続結合参照	<web-app> <persistence-unit-ref>	永続結合参照を一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
永続結合参照名	<web-app> <persistence-unit-ref> <persistence-unit-ref-name>	永続結合参照名を設定します [必須]
永続結合名	<web-app> <persistence-unit-ref> <persistence-unit-name>	永続結合名を設定します。 [任意]
リソースグループ	<web-app> <persistence-unit-ref> <mapped-name>	リソースグループを設定している場合は [] 、設定していない場合は []

	</mapped-name> <injection-target> </injection-target>	を表示します。 アイコンをクリックして、「リソースグループダイアログ」を表示し、永続結合参照のリソースグループを設定します。 [任意]
説明	<web-app> <persistence-unit-ref> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、説明ダイアログを表示し、永続結合参照の説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「ポストコンストラクト」ページ

web.xml エディタの「ポストコンストラクト」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「ポストコンストラクト」ページでは、<post-construct>要素が編集できます。



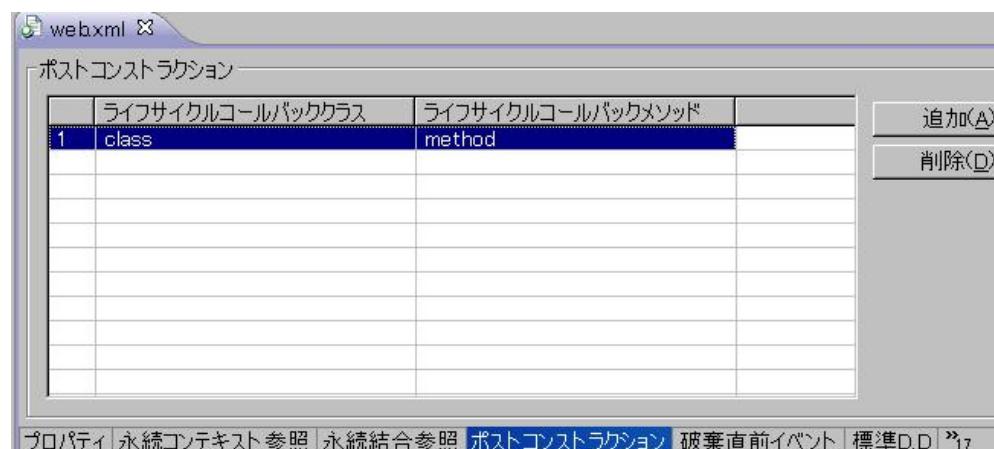
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
ポストコンストラクト	<web-app> <post-construct>	ポストコンストラクトを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
ライフサイクルコー	<web-app>	ライフサイクルコールバッククラスを

ルバッククラス	<post-construct> <lifecycle-callback-class>	設定します [任意]
ライフサイクルコード ルバックメソッド	<web-app> <post-construct> <lifecycle-callback-method> >	ライフサイクルコールバックメソッドを 設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加しま す。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除 します。

「破棄直前イベント」ページ

web.xml エディタの「破棄直前イベント」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。
「破棄直前イベント」ページでは、<pre-destroy>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

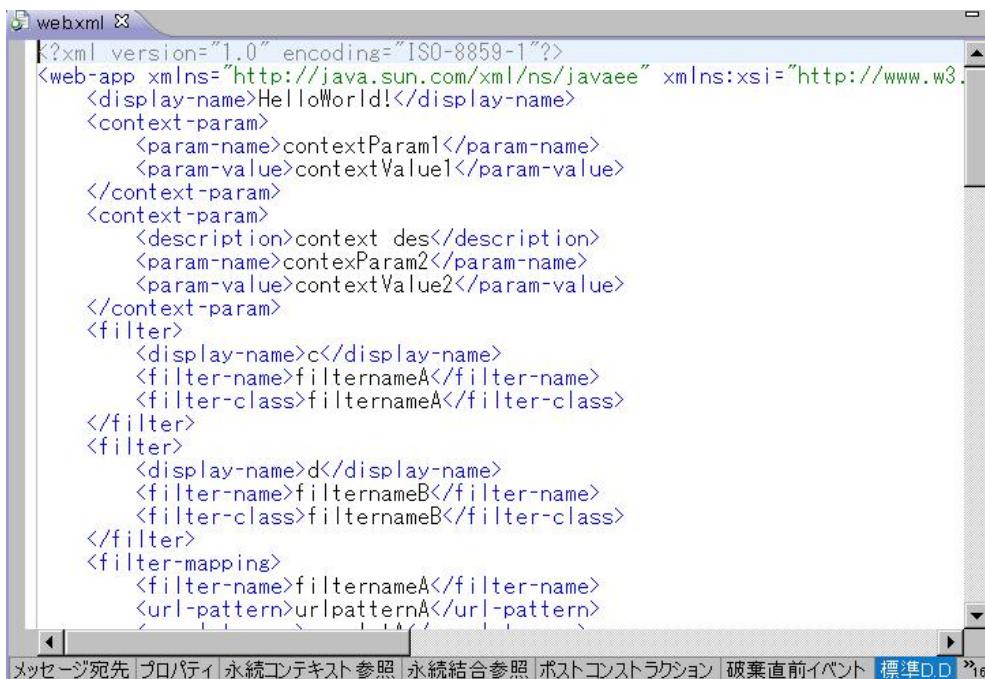
項目	要素	説明
破棄直前イベント	<web-app> <pre-destroy>	破棄直前イベントを一覧表示しま す。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義 の追加/削除ができます。 [任意]
ライフサイクルコード ルバッククラス	<web-app> <pre-destroy> <lifecycle-callback-class>	ライフサイクルコールバッククラスを 設定します [任意]
ライフサイクルコード ルバックメソッド	<web-app> <pre-destroy> <lifecycle-callback-method> >	ライフサイクルコールバックメソッドを 設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加しま す。

「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
---------	---	---------------------

「標準 D.D」ページ

web.xml エディタの「標準 D.D」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「標準 D.D」ページでは、編集中の web.xml ファイルの内容をテキスト形式で表示して、編集することができます。



```

<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<web-app xmlns="http://java.sun.com/xml/ns/javaee" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="http://java.sun.com/xml/ns/javaee http://java.sun.com/xml/ns/javaee/web-app_2_5.xsd" version="2.5">
    <display-name>HelloWorld!</display-name>
    <context-param>
        <param-name>contextParam1</param-name>
        <param-value>contextValue1</param-value>
    </context-param>
    <context-param>
        <description>context des</description>
        <param-name>contextParam2</param-name>
        <param-value>contextValue2</param-value>
    </context-param>
    <filter>
        <display-name>c</display-name>
        <filter-name>filternameA</filter-name>
        <filter-class>filternameA</filter-class>
    </filter>
    <filter>
        <display-name>d</display-name>
        <filter-name>filternameB</filter-name>
        <filter-class>filternameB</filter-class>
    </filter>
    <filter-mapping>
        <filter-name>filternameA</filter-name>
        <url-pattern>urlpatternA</url-pattern>
    </filter-mapping>
</web-app>

```

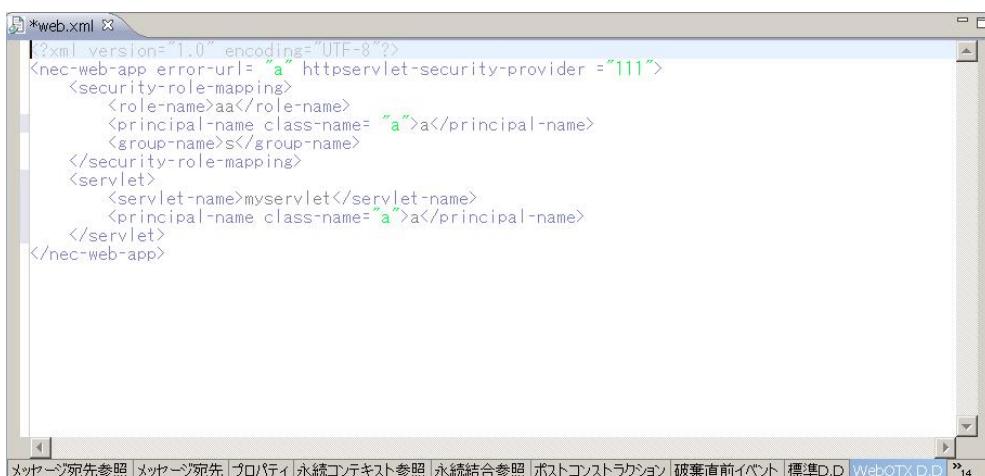
The screenshot shows the 'Standard D.D' tab selected in the bottom navigation bar of the web.xml editor. The XML code of the web.xml file is displayed in the main pane.

「標準 D.D」ページでエラーが発生すると、問題ビューにエラーメッセージを表示します。問題ビューのエラーメッセージをクリックすると、エラーがある行をハイライトで表示することができます。エラーメッセージ、および対処方法については、「障害解析」を参照してください。

「WebOTX D.D」ページ

web.xml エディタの「WebOTX D.D」ページをクリックすると、以下のような画面を表示します。

「WebOTX D.D」ページでは、編集中の nec-web.xml ファイルの内容をテキスト形式で表示します。編集することはできません。



```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<nec-web-app error-url="a" httpservlet-security-provider="111">
    <security-role-mapping>
        <role-name>aa</role-name>
        <principal-name class-name="a">a</principal-name>
        <group-name>s</group-name>
    </security-role-mapping>
    <servlet>
        <servlet-name>myservlet</servlet-name>
        <principal-name class-name="a">a</principal-name>
    </servlet>
</nec-web-app>

```

The screenshot shows the 'WebOTX D.D' tab selected in the bottom navigation bar of the web.xml editor. The XML code of the nec-web.xml file is displayed in the main pane.

共通ダイアログ

「アイコンダイアログ」

ページまたはダイアログで、「アイコン...」ボタンやアイコン(、)をクリックすると、以下のような画面を表示します。「アイコンダイアログ」では<icon>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
小さいアイコン	<icon> <small-icon>	小さいアイコン(16x16)を設定します。「参照...」ボタンでアイコンを選択することもできます。 [任意]
大きいアイコン	<icon> <large-icon>	大きいアイコン(32x32)を設定します。「参照...」ボタンでアイコンを選択することもできます。 [任意]
「参照...」ボタン	-	「リソースの選択ダイアログ」を表示します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、前の画面に戻ります。

「リソースの選択ダイアログ」

「アイコンダイアログ」の「参照...」ボタンをクリックすると、以下のような画面を表示します。リソースの一覧からアイコンを選択できます。



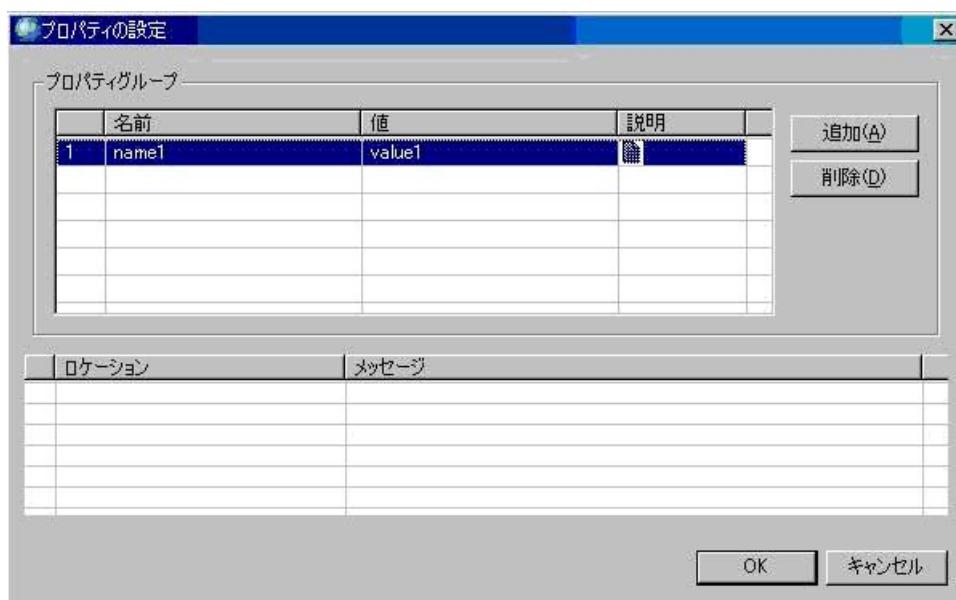
- 左ペインでディレクトリを移動し、右ペインで指定するファイル 1 つだけにチェックをつけて選択します。
- 「OK」ボタンをクリックすると、選択内容を保存します。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、選択内容を保存しないで、「アイコンダイアログ」に戻ります。

〈注意〉

左ペインでディレクトリにチェックをつけると、複数ファイルが選択状態になります。その場合は、一番上のディレクトリのチェックをはずして選択状態を解除してください。複数ファイルを選択すると、正しく設定できません。

「プロパティの設定」ダイアログ

ページまたはダイアログで、「プロパティ...」ボタンやアイコン(□、■)をクリックすると、以下のような画面を表示します。「プロパティの設定」ダイアログでは<property>要素が編集できます。



各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
プロパティグループ	<property>	プロパティを一覧表示します。 [任意]
名前	<property>の name 属性	プロパティの名前を設定します [必須]
値	<property>の value 属性	プロパティの値を設定します。 [必須]
説明	<property> <description>	説明を設定している場合は  、設定していない場合は  を表示します。 アイコンをクリックして、説明ダイアログを表示し、プロパティの説明を設定します。 [任意]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、前の画面に戻ります。

「説明ダイアログ」

ページまたはダイアログで、「説明...」ボタンやアイコン(, )をクリックすると、以下のようないいな画面を表示します。「説明ダイアログ」では<description>要素が編集できます。



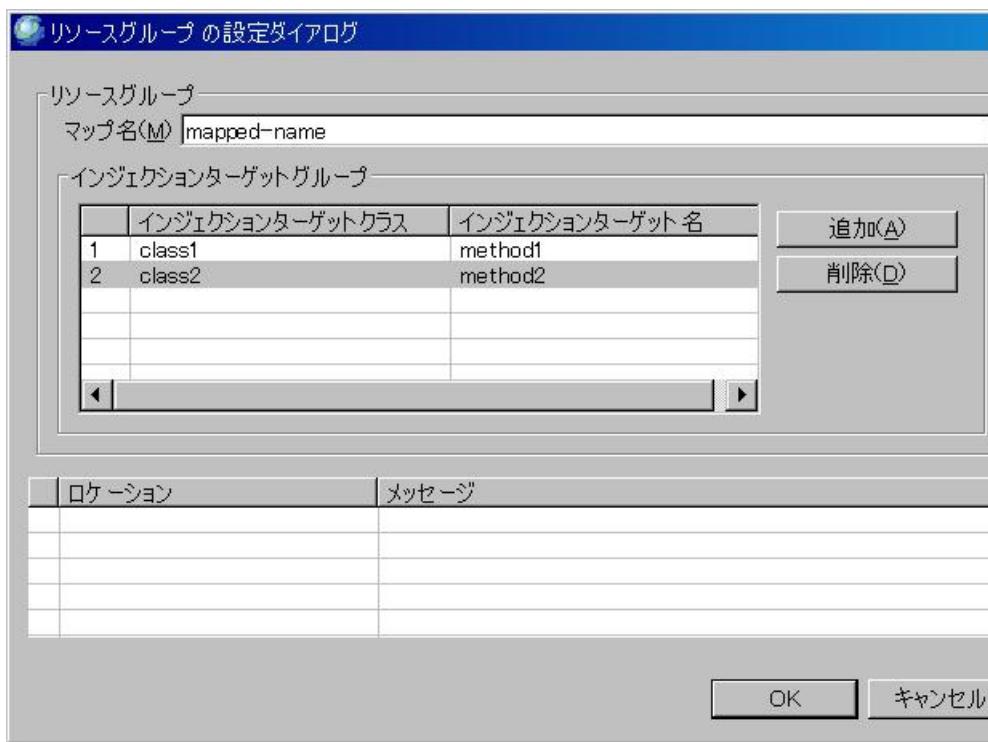
各項目の説明を以下に示します。

項目	要素	説明
説明	<description>	説明を設定します。 [任意]
「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、前の画面に戻ります。

		ます。
--	--	-----

「リソースグループの設定ダイアログ」

ページまたはダイアログで、「リソースグループ」...」ボタンやアイコン(■、■)をクリックすると、以下の
ような画面を表示します。



項目	要素	説明
マップ名	<mapped-name>	マップ名を設定します。 [任意]
インジェクションターゲットグループ	<injection-target>	インジェクションターゲットグループを一覧表示します。 「追加」ボタン/「削除」ボタンで、定義の追加/削除ができます。 [任意]
インジェクションターゲットクラス	<injection-target> <injection-target-class>	インジェクションターゲットクラスを設定します。 [必須]
インジェクションターゲット名	<injection-target> <injection-target-name>	インジェクションターゲット名を設定します。 [必須]
「追加」ボタン	-	空の行をリストの最後に追加します。
「削除」ボタン	-	削除確認後、選択行の情報を削除します。

「OK」ボタン	-	設定内容を保存します。
「キャンセル」ボタン	-	設定内容を保存しないで、「セキュリティ」ページに戻ります。

「削除の確認メッセージボックス」

ページまたはダイアログで、「削除」ボタンをクリックすると、以下のような削除を確認するメッセージボックスを表示します。



- 「はい」ボタンをクリックすると、選択行を削除します。
- 「いいえ」ボタンをクリックすると、選択行を削除しません。

障害解析

web.xmlエディタでエラーが発生すると、Eclipseの問題ビューまたは、web.xmlエディタのエラーリストにエラーメッセージを表示します。また、web.xmlエディタ使用中に例外が発生すると、ログファイルに情報を出力します。

エラーメッセージ、および対処方法について説明します。

問題ビューに表示するエラーメッセージ

概要

web.xmlエディタ使用中に発生した例外や定義内容の妥当性チェックで発生したエラーの情報をEclipseの問題ビューに表示します。

出力形式

問題ビューに表示する情報のフォーマットは下図のとおりです。

問題 X DDIエディタエラーログビュー			
0エラー、2警告、0情報			
記述	リソース	フォルダー	行
cvc-complex-type.2.2: Element 'session-timeout' must ha...	web.xml	HelloWorld/WE...	行 63
cvc datatype-valid.1.2.1: '12xx' is not a valid value for 'i...	web.xml	HelloWorld/WE...	行 63

各列項目に表示する内容は以下のとおりです。

項目	説明
問題種別	⚠️: 警告 - 妥当性のエラー情報です。 ✖️: エラ - 例外情報です。
記述	エラーメッセージ
リソース	エラーが発生したリソースの名前
フォルダー	エラーが発生したリソースのフォルダー
ロケーション	エラー発生箇所のリソース内の行番号

メッセージ内容

< 要素の複数定義エラー >

エラーメッセージ	対処方法
<session-config>要素が複数あります。1つにしてください。	「標準 D.D」ページで、<session-config>要素を 1 つにしてください。
<jsp-config>要素が複数あります。1つにしてください。	「標準 D.D」ページで、<jsp-config>要素を 1 つにしてください。
<login-config>要素が複数あります。1つにしてください。	「標準 D.D」ページで、<login-config>要素を 1 つにしてください

< web.xml エディタ使用中に発生する例外 >

エラーメッセージ	対処方法
I/O 例外が発生しました。	例外情報はログファイルを参照してください。解決しない場合は、開発部門にお問い合わせください。
構文解析中に、I/O 例外が発生しました。	例外情報はログファイルを参照してください。解決しない場合は、開発部門にお問い合わせください。
例外が発生しました。	予期せぬ例外が発生しました。例外情報はログファイルを参照してください。解決しない場合は、開発部門にお問い合わせください。

< 定義内容の妥当性チェックで発生するエラー >

定義内容の妥当性チェックでエラーが発生した場合、問題ビューのエラーメッセージをクリックすると、「標準 D.D」ページを開いてエラー発生箇所を表示します。エラーメッセージの内容にしたがって定義を見直してください。

スキーマの詳細については、<http://java.sun.com/xml/ns/javaee/> の「Java EE : XML Schemas for Java EE Deployment Descriptors」を参照してください。

問題ビューに表示するエラーメッセージの設定

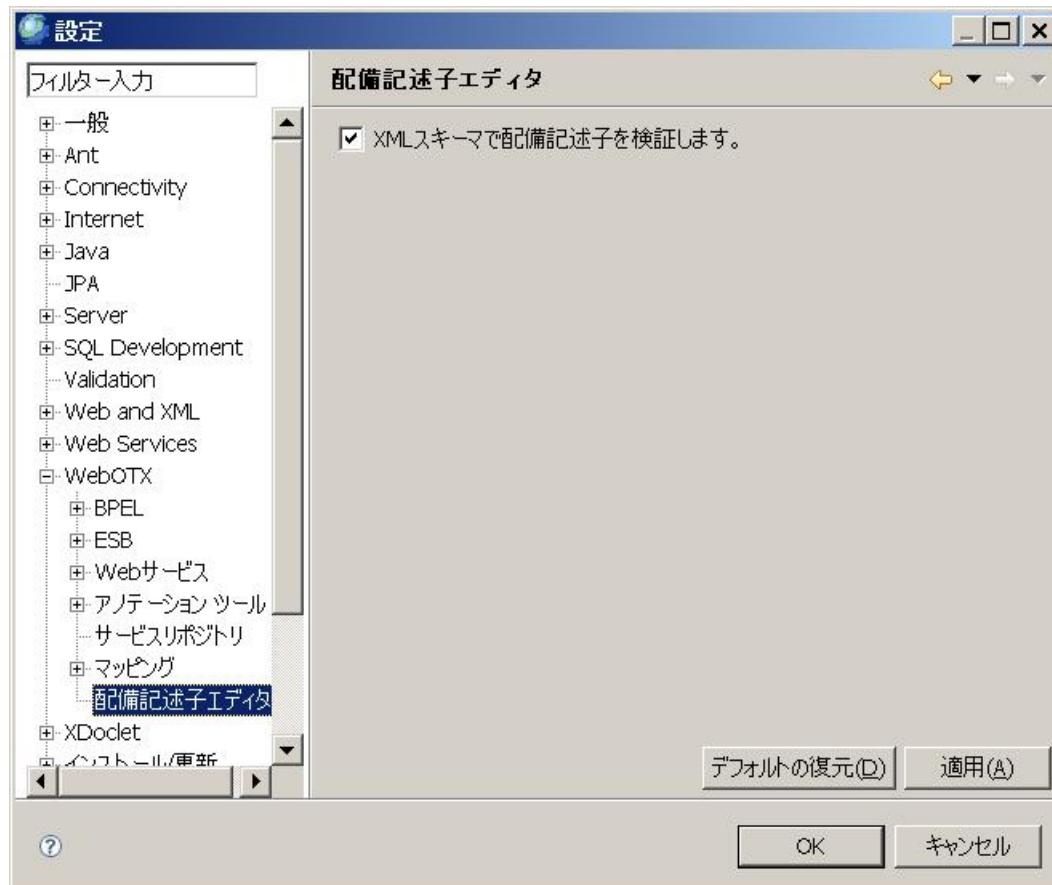
概要

web.xml エディタ使用中に発生した例外や定義内容の妥当性チェックで発生したエラーの情報を Eclipse の問題ビューに表示するかどうか設定できます。

設定方法

- メニューから「ウィンドウ」-「設定」を選択します。
- 「設定」ウィンドウで、「WebOTX」-「配備記述子エディタ」を選択します。

下図のとおりです。



各項目に表示する内容は以下のとおりです。

項目	説明
xml スキーマで配備記述子を検証します。	選択した場合は、xml スキーマで配備記述子を検証して、エラー情報を Eclipse の問題ビューに表示します。 選択しない場合は、xml スキーマで配備記述子を検証しませんので、エラー情報も表示しません。
デフォルトの復元	配備記述子エディタのデフォルト値を復元します。
適用	設定を反映します。

エラーリストに表示するエラーメッセージ

概要

GUI ページでの編集中、または GUI ページからオープンするダイアログでの編集中に発生したエラーの情報をエラーリストに表示します。

出力形式

エラーリストに表示する情報のフォーマットは下図のとおりです。

< ページで表示するエラーリスト(DD エディタエラーログビュー) >

< ダイアログで表示するエラーリスト >

ロケーション	メッセージ
セッションタイムアウト(分)	セッションタイムアウト(分)は整数で設定し…

各列項目に表示する内容は以下のとおりです。

項目	説明
	エラーの標記
ロケーション	エラーの場所
メッセージ	エラーの内容

ロケーションには以下のフォーマットがあります。

フォーマット	説明
--------	----

項目名	項目名の設定値にエラーがあります。
テーブル名:n	テーブル名テーブルの n 行目にエラーがあります。
ボタン名→項目名	ボタン名ボタンをクリックして表示するダイアログの項目名の設定値にエラーがあります。
項目名→ボタン名	項目名に対するボタン名ボタンをクリックして表示するダイアログでの設定にエラーがあります。
ボタン名→テーブル名:n	ボタン名ボタンをクリックして表示するダイアログのテーブル名テーブルの n 行目にエラーがあります。
テーブル名:n→項目名	テーブル名テーブルの n 行目に対する項目名の設定値にエラーがあります。
テーブル名 1:n→テーブル名 2:m	テーブル名 1 テーブルの n 行目に対するテーブル名 2 テーブルの m 行目にエラーがあります。
ボタン名→テーブル名 1:n→テーブル名 2:m	ボタン名ボタンをクリックして表示するダイアログのテーブル名 1 テーブルの n 行目に対するテーブル名 2 テーブルの m 行目にエラーがあります。

メッセージ内容

GUI ページでの編集中、または GUI ページからオープンするダイアログでの編集中にエラーが発生すると、エラーリストにエラーメッセージを表示します。

以下に、web.xml エディタで編集中に発生するエラーのエラーメッセージ、および対処方法について示します。

< ページ共通 >

エラーメッセージ	対処方法
項目を設定してください。	項目は省略できないので、設定してください。
項目は整数で設定してください。	項目は整数でなければならぬので、整数で設定してください。
項目はプラスの整数で設定してください。	項目はプラスの整数でなければならぬので、プラスの整数で設定してください。
項目は “/” から始まらなければなりません。	項目は “/” から始まらなければならぬので、“/” から設定してください。
項目はすでに存在しています。	項目の値はロケーションで示すテーブル内で一意でなければなりません。重複しないように設定してください。
値はすでに存在しています。	ロケーションで示す項目に設定する値は、このダイアログでの設定情報を表示するテーブル内で一意でなければなりません。重複しないように設定してください。

<「フィルタマッピング」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
フィルタ名->値は未定義のフィルタです。	フィルタ名の設定値が定義済みのフィルタ名ではありません。 エラーが発生した行を選択して、「編集...」ボタンで「フィルタ設定ダイアログ」を表示し、フィルタ名コンボボックスの選択肢から選択してください。 あるいは、「フィルタリスト編集...」ボタンで「フィルタリスト編集ダイアログ」を表示し、この値をフィルタ名として追加してください。
ディスパッチャ->値は不正な値です。「標準 D.D」ページで修正してください。	値はディスパッチャとして定義に使用できる値ではありません。定義に使用できるのは、FORWARD, REQUEST, INCLUDE, ERROR です。「標準 D.D」ページに切り替えて修正してください。

<「サーブレット」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
値は不正な値です。設定しなおしてください。	実行タイプの設定値が定義済みのロール名ではありません。エラーが発生したサーブレットを選択して、実行タイプコンボボックスの選択肢から選択してください。あるいは、「ロール」ページでこの値をロール名として追加してください。
ロールリンク->値は不正な値です。設定しなおしてください。	ロールリンクの設定値が定義済みロール名ではありません。エラーが発生したサーブレットを選択して、ロールリンクコンボボックスの選択肢から選択してください。あるいは、「ロール」ページでこの値をロール名として追加してください。

<「ファイル参照」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
エラーコード/例外は数字 3 行(404 など)で設定してください。	タイプでエラーコードを選択した場合、エラーコード/例外には数字 3 行でエラーコード(404 など)を設定してください。
エラーコード/例外は完全なクラス名で設定してください。	タイプで例外を選択した場合、エラーコード/例外には完全なクラス名で例外を設定してください。

<「JSP プロパティ」ページ >

エラーメッセージ	対処方法

値は不正な値です。設定しなおしてください。	この値は“true”または“false”でなければなりません。エラーが発生した JSP プロパティグループを選択して、ロケーションで示している項目名のチェックボックスをクリックし、設定しなおしてください。
-----------------------	--

<「セキュリティ」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
値は不正な値です。設定しなおしてください。	転送保証の設定値が不正です。エラーが発生したセキュリティ制約を選択して、転送保証コンボボックスの選択肢から選択してください。
値は不正な値です。「標準 D.D」ページで修正してください。	値は HTTP メソッドとして定義に使用できる値ではありません。定義に使用できるのは、GET, POST, PUT, DELETE, HEAD, OPTIONS, TRACE です。「標準 D.D」ページに切り替えて修正してください。
HTTP メソッド->値は不正な値です。「標準 D.D」ページで修正してください。	値は HTTP メソッドとして定義に使用できる値ではありません。定義に使用できるのは、GET, POST, PUT, DELETE, HEAD, OPTIONS, TRACE です。「標準 D.D」ページに切り替えて修正してください。

<「ロール」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
ロール名“*”は設定できません。	ロール名“*”は設定できません。他の値で設定してください。

<「環境エントリ」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
型->値は不正な値です。設定しなおしてください。	型の設定値が不正です。型コンボボックスの選択肢から選択してください。
値は指定した型として不正な値です。	指定した型として適切な値を設定しなおしてください。

<「EJB 参照」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
タイプ->値は不正な値です。設定しなおしてください。	タイプの設定値が不正です。エラーが発生した行を選択して、「編集...」ボタンで「EJB 参照設定ダイアログ」を表示し、タイプコンボボックスの選択肢から選択してください。

<「リソース参照」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
認証->値は不正な値です。設定しなおしてください。	認証の設定値が不正です。認証コンボボックスの選択肢から選択してください。
値は不正な値です。設定しなおしてください。	共有可能の設定値が不正です。チェックボックスをクリックして、共有可能かどうか(Shareable/Unshareable)設定しなおしてください。

<「メッセージ宛先参照」ページ >

エラーメッセージ	対処方法
使用法->値は不正な値です。設定しなおしてください。	使用法の設定値が不正です。使用法コンボボックスの選択肢から選択してください。

ログファイル

web.xml エディタ使用中に例外が発生すると、ログファイルに情報を出力します。

ログファイルの場所と名前

ログファイルの場所と名前は、下記のとおりです。

```

${Eclipse}¥plugins¥${配備記述子エディタ}¥ddeditor.log
${Eclipse} : Eclipse のインストールディレクトリ
${web.xml エディタ} : 配備記述子エディタのプラグインディレクトリ(既定値:
com.nec.webotx.studio.editor.ddeditor_6.4.0.0)

```

＜注意＞

ログファイルが読み込み専用になっている場合、web.xml エディタ起動時にエラーメッセージを表示します。読み込み専用のままでは情報を出力できませんので、ログファイルを書き込み可能にして、Eclipse を再起動してください。

ログファイルの内容

ログファイルに出力する情報は、下記のとおりです。

- 例外発生の日時
- エラーメッセージ
- 例外のスタックトレース

ログファイルの更新

ログファイルの最大サイズは 5MB、バックアップファイル数は 1 です。ログファイルが最大サイズを超えると、バックアップファイル(ddeditor.log.1)を作成します。ログファイルは、ddeditor.log と ddeditor.log.1 の二世代管理になります。

注意制限事項

WebOTX web.xml エディタの注意制限事項について説明します。

ユーザ入力文字

GUI ページで「<」、「>」、「&」、「'」、「"」を入力すると、それぞれ「<」、「>」、「&」、「'」、「"」に変換して保存します。

フォーマット変更

web.xml エディタで編集したファイルのフォーマットを変更する可能性があります。

空要素

web.xml エディタで、ファイルを保存すると、空の要素（<description>、<icon>、<display-name> 要素を除く）を削除します。

要素の順番

web.xml エディタで編集したファイルの要素の順番を変更する可能性があります。web.xml エディタでファイルを保存すると、「サポートする要素」の要素の順番にしたがって、自動的に要素を整理します。

XML 宣言の編集

「標準 D.D」ページで XML 宣言（<?xml version="1.0" encoding="ISO-2022-JP"?>）を編集しないでください。エンコーディング宣言(encoding="ISO-2022-JP")を変更する場合は、「一般」ページのエンコーディングコンボボックスを使用してください。web.xml エディタがサポートしているエンコーディングを選択できます。

Eclipse のファイル処理

編集中ファイルの「移動」、「名前変更」、「削除」を実行した場合の動作は、パースペクティブによって異なります。よって、これらの操作は、ファイルの変更を保存してから実行することを推奨します。

例)「Java」パースペクティブで web.xml エディタを使用する場合

1. 「Java」パースペクティブで、web.xml エディタで開いているファイルの「移動」または「名前変更」を実行すると、この web.xml エディタは閉じます。ファイルに変更がある場合は、変更を保存してからでないと「移動」または「名前変更」を実行できません。
2. 「Java」パースペクティブで、web.xml エディタで開いているファイルの「削除」を実行すると、この web.xml エディタは閉じます。ただし、ファイルに変更がある場合は、web.xml エディタは閉じずに、ファイルだけを削除します。この web.xml エディタを閉じようすると、変更を保存するかどうか問い合わせされます。

コメント文

web.xml エディタは、コメント文（<!-- コメント -->）をサポートしていません。web.xml エディタでファイルを保存すると、コメント文を削除します。</p>

要素の id 属性

web.xml エディタは、要素の id 属性をサポートしていません。web.xml エディタでファイルを保存すると、要素の id 属性を削除します。

1.4.2.nec-web.xml ファイルの要素

nec-web.xml ファイルで定義できる要素の一覧を以下に示します。

web.xml エディタの GUI ページでサポートしていない要素は、nec-web.xml ファイルをテキストエディタで開いて定義してください。

要素	説明
nec-web-app	<p>Web アプリケーションに対して WebOTX 固有の設定を定義する nec-web.xml ファイルのルート要素です。</p> <p>error-url と http servlet-security-provider を属性にもつ nec-web-app を指定します。</p> <p>[1 個]</p> <p>サブ要素：</p> <ul style="list-style-type: none">context-rootsecurity-role-mappingservletidempotent-url-patternsession-configejb-refresource-refresource-env-refservice-refmessage-destination-refcacheclass-loaderjsp-configlocale-charset-infoparameter-encodingpropertymessage-destinationwebservice-description
▪ context-root	<p>Web アプリケーションのコンテキストルートを指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>
▪ security-role-mapping	<p>現在のアクティブルームに存在するユーザやグループにロールを割り当てます。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素：</p> <ul style="list-style-type: none">role-name

	principal-name group-name
· · role-name	web.xml ファイルの security-role 要素で定義しているロール名を指定します。 [1 個]
· · principal-name	ロールを割り当てるユーザ名を指定します。 class-name を属性にもつ principal-name を指定します。 [0 個以上 ただし group-name がなければ 1 個以上]
· · group-name	ロールを割り当てるグループ名を指定します。 [0 個以上 ただし principal-name がなければ 1 個以上]
· servlet	サーブレットのユーザを指定します。 web.xml ファイルの servlet-name が同じ servlet 要素で定義している run-as ロールに使用します。 [0 個以上] サブ要素: servlet-name principal-name webservice-endpoint
· · servlet-name	web.xml ファイルの servlet 要素の servlet-name で定義している サーブレット名を指定します。 [1 個]
· · principal-name	現在のレルムに存在するユーザ名を指定します。 class-name を属性にもつ principal-name を指定します。 [0~1 個]
· · webservice-endpoint	Web サービスエンドポイントに関する情報を指定します。 [0 個以上] サブ要素: port-component-name endpoint-address-uri login-config transport-guarantee service-qname tie-class servlet-impl-class
· · · port-component-name	ポートコンポーネントに対する一意な名前を指定します。WSDL ポートの内部名です。 [1 個]
· · · endpoint-address-uri	Web サービスエンドポイントのアドレスを相対 URI で指定します。 サーブレットエンドポイントの場合は、Web アプリケーションのコンテキストルートからの相対で、EJB エンドポイントの場合は、Web サーバのルートからの相対です。

	[0~1 個]				
· · · login-config	EJB Web サービスエンドポイントに対する認証設定を指定します。サーブレット Web サービスエンドポイントの場合は、web.xml ファイルで定義するので必要ありません。 [0~1 個] サブ要素： auth-method				
· · · · auth-method	認証方法を指定します。 [1 個]				
· · · · transport-guarantee	クライアントとサーバの通信の種類を NONE, INTEGRAL, CONFIDENTIAL で指定します。 [0~1 個]				
· · · · service-qname	参照する WSDL サービス要素を QName で指定します。 [0~1 個] サブ要素： namespaceURI localpart				
· · · · namespaceURI	QName のネームスペースの URI を指定します。 [1 個]				
· · · · localpart	QName のローカルパートを指定します。 [1 個]				
· · · tie-class	ポートコンポーネントのための tie 実装クラスの名前を指定します。 [0~1 個]				
· · · servlet-impl-class	サーブレット実装クラスの名前を指定します。 [0~1 個]				
· idempotent-url-pattern	url-pattern と num-of-retries を属性にもつ idempotent-url-pattern を指定します。 [0 個以上]				
· session-config	セッションの設定情報を指定します。 [0~1 個] サブ要素： session-manager session-properties cookie-properties				
· · session-manager	セッションマネージャの設定情報を指定します。 [0~1 個] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <th style="text-align: center; padding: 2px;">属性</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">persistence-type</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">セッション永続化の方法を指定します。 指定できる値は</td> </tr> </tbody> </table>	属性	説明	persistence-type	セッション永続化の方法を指定します。 指定できる値は
属性	説明				
persistence-type	セッション永続化の方法を指定します。 指定できる値は				

		<p>memory、と file です。 ※マルチプロセスモードでは file は利用できません。 [省略可] 既定値:memory ※file を指定する場合は、web.xml に”<distributable />”の設定が必要です。</p>								
		<p>サブ要素:</p> <p>manager-properties</p> <p>store-properties</p>								
· · · manager-properties		<p>セッションマネージャのプロパティを指定します。 [0~1 個]</p> <p>サブ要素:</p> <p>property</p>								
· · · · property		<p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。 [0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロパティ</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>reapIntervalSeconds</td><td>期限切れのセッションをチェックする間隔を秒単位で指定します。 既定値: 60</td></tr> <tr> <td>maxSessions</td><td>アクティブセッションの最大数を指定します。 -1 を指定すると無制限になります。 既定値: -1</td></tr> <tr> <td>sessionFilename</td><td>アプリケーション再起動中にセッション状態を保存するファイルを相対パスまたは絶対パスで指定します。 相対パスの場合は、この Web アプリケーションのテンポラリディレクトリからの相対になります。 session-manager 要素の persistence-type 属性が memory の場合のみ有効です。 既定値: なし</td></tr> </tbody> </table> <p>サブ要素:</p> <p>description</p>	プロパティ	説明	reapIntervalSeconds	期限切れのセッションをチェックする間隔を秒単位で指定します。 既定値: 60	maxSessions	アクティブセッションの最大数を指定します。 -1 を指定すると無制限になります。 既定値: -1	sessionFilename	アプリケーション再起動中にセッション状態を保存するファイルを相対パスまたは絶対パスで指定します。 相対パスの場合は、この Web アプリケーションのテンポラリディレクトリからの相対になります。 session-manager 要素の persistence-type 属性が memory の場合のみ有効です。 既定値: なし
プロパティ	説明									
reapIntervalSeconds	期限切れのセッションをチェックする間隔を秒単位で指定します。 既定値: 60									
maxSessions	アクティブセッションの最大数を指定します。 -1 を指定すると無制限になります。 既定値: -1									
sessionFilename	アプリケーション再起動中にセッション状態を保存するファイルを相対パスまたは絶対パスで指定します。 相対パスの場合は、この Web アプリケーションのテンポラリディレクトリからの相対になります。 session-manager 要素の persistence-type 属性が memory の場合のみ有効です。 既定値: なし									
· · · · · description		<p>プロパティの説明を指定します。 [0~1 個]</p>								
· · · store-properties		<p>セッション永続化のプロパティを指定します。 [0~1 個]</p> <p>サブ要素:</p>								

	property								
· · · · property	<p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロパティ</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>directory</td><td> <p>セッションごとのセッションファイルを保存するディレクトリを相対パスまたは絶対パスで指定します。</p> <p>相対パスの場合は、この Web アプリケーションのテンポラリディレクトリからの相対になります。</p> <p>session-manager 要素の persistence-type 属性が file の場合のみ有効です。</p> <p>既定値: <domain_dir>/generated/jsp /j2ee-modules/<appname></p> </td></tr> </tbody> </table> <p>サブ要素:</p> <p>description</p>	プロパティ	説明	directory	<p>セッションごとのセッションファイルを保存するディレクトリを相対パスまたは絶対パスで指定します。</p> <p>相対パスの場合は、この Web アプリケーションのテンポラリディレクトリからの相対になります。</p> <p>session-manager 要素の persistence-type 属性が file の場合のみ有効です。</p> <p>既定値: <domain_dir>/generated/jsp /j2ee-modules/<appname></p>				
プロパティ	説明								
directory	<p>セッションごとのセッションファイルを保存するディレクトリを相対パスまたは絶対パスで指定します。</p> <p>相対パスの場合は、この Web アプリケーションのテンポラリディレクトリからの相対になります。</p> <p>session-manager 要素の persistence-type 属性が file の場合のみ有効です。</p> <p>既定値: <domain_dir>/generated/jsp /j2ee-modules/<appname></p>								
· · · · · description	<p>プロパティの説明を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>								
· · session-properties	<p>セッションのプロパティを指定します。</p> <p>[0~1 個]</p> <p>サブ要素:</p> <p>property</p>								
· · · property	<p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロパティ</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>timeoutSeconds</td><td> <p>アクセスのない状態のセッションのタイムアウト時間を秒単位で指定します。0 以下を指定するとこの Web アプリケーションのセッションは期限切れにならん。</p> <p>既定値:1800</p> </td></tr> <tr> <td>enableCookie</td><td> <p>セッション ID の格納に cookie を使用するかどうかを指定します。</p> <p>既定値:true</p> </td></tr> <tr> <td>enableURLRewriting</td><td> <p>セッション ID の格納に URL を使用するかどうかを指定します。</p> <p>既定値:true</p> </td></tr> </tbody> </table> <p>サブ要素:</p> <p>description</p>	プロパティ	説明	timeoutSeconds	<p>アクセスのない状態のセッションのタイムアウト時間を秒単位で指定します。0 以下を指定するとこの Web アプリケーションのセッションは期限切れにならん。</p> <p>既定値:1800</p>	enableCookie	<p>セッション ID の格納に cookie を使用するかどうかを指定します。</p> <p>既定値:true</p>	enableURLRewriting	<p>セッション ID の格納に URL を使用するかどうかを指定します。</p> <p>既定値:true</p>
プロパティ	説明								
timeoutSeconds	<p>アクセスのない状態のセッションのタイムアウト時間を秒単位で指定します。0 以下を指定するとこの Web アプリケーションのセッションは期限切れにならん。</p> <p>既定値:1800</p>								
enableCookie	<p>セッション ID の格納に cookie を使用するかどうかを指定します。</p> <p>既定値:true</p>								
enableURLRewriting	<p>セッション ID の格納に URL を使用するかどうかを指定します。</p> <p>既定値:true</p>								

· · · · description	プロパティの説明を指定します。 [0~1 個]										
· · cookie-properties	セッション ID を格納する cookie のプロパティを指定します。 [0~1 個] サブ要素: property										
· · · property	name と value を属性にもつプロパティを指定します。 [0 個以上] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <th style="text-align: center; padding: 2px;">プロパティ</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">cookiePath</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">ブラウザから cookie を送信する URL を制限する場合に指定します。 既定値:コンテキストパス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">cookieMaxAgeSeconds</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">cookie の有効期限を秒単位で指定します。 既定値:-1(無期限)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">cookieDomain</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">cookie が有効となるドメインを指定します。 既定値:なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">cookieComment</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">cookie ファイル内でセッション ID の cookie を識別するためのコメントを指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	プロパティ	説明	cookiePath	ブラウザから cookie を送信する URL を制限する場合に指定します。 既定値:コンテキストパス	cookieMaxAgeSeconds	cookie の有効期限を秒単位で指定します。 既定値:-1(無期限)	cookieDomain	cookie が有効となるドメインを指定します。 既定値:なし	cookieComment	cookie ファイル内でセッション ID の cookie を識別するためのコメントを指定します。
プロパティ	説明										
cookiePath	ブラウザから cookie を送信する URL を制限する場合に指定します。 既定値:コンテキストパス										
cookieMaxAgeSeconds	cookie の有効期限を秒単位で指定します。 既定値:-1(無期限)										
cookieDomain	cookie が有効となるドメインを指定します。 既定値:なし										
cookieComment	cookie ファイル内でセッション ID の cookie を識別するためのコメントを指定します。										
· · · · description	プロパティの説明を指定します。 [0~1 個]										
· ejb-ref	EJB 参照に EJB の JNDI 名を割り当てます。 [0 個以上] サブ要素: ejb-ref-name jndi-name										
· · ejb-ref-name	EJB の参照名を指定します。 [1 個]										
· · jndi-name	JNDI に登録されている EJB の JNDI 絶対名を指定します。 文字列 java:comp/env で始まる必要があります。 [1 個]										
· resource-ref	リソース参照にリソースの JNDI 名を割り当てます。 [0 個以上] サブ要素: res-ref-name jndi-name										

	default-resource-principal
· · res-ref-name	リソースの参照名を指定します。 [1 個]
· · jndi-name	JNDI に登録されているリソースの JNDI 絶対名を指定します。 文字列 java:comp/env で始まる必要があります。 [1 個]
· · default-resource-principal	リソースのデフォルトのユーザを指定します。 [0~1 個] サブ要素: name password
· · · name	ユーザの名前を指定します。 [1 個]
· · · password	ユーザのパスワードを指定します。 [1 個]
· resource-env-ref	リソース環境参照にリソース環境の JNDI 名を割り当てます。 [0 個以上] サブ要素: resource-env-ref-name jndi-name
· · resource-env-ref-name	リソース環境の参照名を指定します。 [1 個]
· · jndi-name	JNDI に登録されているリソース環境の JNDI 絶対名を指定します。 文字列 java:comp/env で始まる必要があります。 [1 個]
· service-ref	Web サービス参照のランタイム設定を指定します。 [0 個以上] サブ要素: service-ref-name port-info call-property wsdl-override service-impl-class service-qname
· · service-ref-name	Web サービス参照名を指定します。 [1 個]
· · port-info	Web サービス参照のポートの情報を指定します。 [0 個以上]

	<p>サブ要素:</p> <ul style="list-style-type: none"> service-endpoint-interface wsdl-port stub-property call-property
· · · service-endpoint-interface	<p>Web サービス参照名を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>
· · · wsdl-port	<p>WSDL ポートを指定します。</p> <p>[0~1 個]</p> <p>サブ要素:</p> <ul style="list-style-type: none"> namespaceURI localpart
· · · · namespaceURI	<p>WSDL ポートのネームスペースの URI を指定します。</p> <p>[1 個]</p>
· · · · localpart	<p>WSDL ポートのローカルパートを指定します。</p> <p>[1 個]</p>
· · · stub-property	<p>Web サービスクライアントに戻る前に javax.xml.rpc.Stub オブジェクトに設定する JAX-RPC プロパティ値を指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <ul style="list-style-type: none"> name value
· · · · name	<p>プロパティの名前を指定します。</p> <p>[1 個]</p>
· · · · value	<p>プロパティの値を指定します。</p> <p>[1 個]</p>
· · · call-property	<p>Web サービスクライアントに戻る前に javax.xml.rpc.Call オブジェクトに設定する JAX-RPC プロパティ値を指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <ul style="list-style-type: none"> name value
· · · · name	<p>プロパティの名前を指定します。</p> <p>[1 個]</p>
· · · · value	<p>プロパティの値を指定します。</p> <p>[1 個]</p>
· · call-property	<p>Web サービスクライアントに戻る前に javax.xml.rpc.Call オブジェクトに設定する JAX-RPC プロパティ値を指定します。</p> <p>[0 個以上]</p>

	<p>サブ要素:</p> <p>name</p> <p>value</p>				
· · · name	<p>プロパティの名前を指定します。</p> <p>[1 個]</p>				
· · · value	<p>プロパティの値を指定します。</p> <p>[1 個]</p>				
· · wsdl-override	<p>WSDL ドキュメントの有効な URL を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>				
· · service-impl-class	<p>サービス実装クラスの名前を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>				
· · service-qname	<p>参照する WSDL サービス要素を QName で指定します。</p> <p>[0~1 個]</p> <p>サブ要素:</p> <p>namespaceURI</p> <p>localpart</p>				
· · · namespaceURI	<p>QName のネームスペースの URI を指定します。</p> <p>[1 個]</p>				
· · · localpart	<p>QName のローカルパートを指定します。</p> <p>[1 個]</p>				
· message-destination-ref	<p>アプリケーションの中で定義された論理メッセージ宛先参照の名前を指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <p>message-destination-ref-name</p> <p>jndi-name</p>				
· · message-destination-ref-name	<p>論理メッセージ宛先参照の名前を指定します。</p> <p>[1 個]</p>				
· · jndi-name	<p>論理メッセージ宛先参照の JNDI 絶対名を指定します。</p> <p>文字列 java:comp/env で始まる必要があります。</p> <p>[1 個]</p>				
· cache	<p>キャッシング機能を設定します。</p> <p>[0~1 個]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>max-entries</td><td> <p>キャッシングに格納できるエントリの最大数を指定します。正の整数でなければなりません。</p> <p>[省略可]</p> <p>既定値: 4096</p> </td></tr> </tbody> </table>	属性	説明	max-entries	<p>キャッシングに格納できるエントリの最大数を指定します。正の整数でなければなりません。</p> <p>[省略可]</p> <p>既定値: 4096</p>
属性	説明				
max-entries	<p>キャッシングに格納できるエントリの最大数を指定します。正の整数でなければなりません。</p> <p>[省略可]</p> <p>既定値: 4096</p>				

	<p>timeout-in-seconds</p> <hr/> <p>enabled</p> <hr/>	<p>エントリを生成、更新してからキャッシュ内に保持する最大時間を秒単位で指定します。 timeout 要素で上書きできます。 [省略可] 既定値:30</p> <p>サーブレットと JSP のキャッシュを有効にするかどうかを指定します。 [省略可] 既定値:true</p>							
	<p>サブ要素:</p> <p>cache-helper</p> <p>default-helper</p> <p>property</p> <p>cache-mapping</p>								
· · cache-helper		<p>CacheHelper インタフェースを実装しているカスタムクラスを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>name</td><td>ヘルパークラスの一意の名前を指定します。 cache-mapping 要素で参照する名前です。 [省略不可] 既定値: default</td></tr> <tr> <td>class-name</td><td>キャッシュヘルパークラスの完全修飾クラス名を指定します。 [省略不可] 既定値:なし</td></tr> </tbody> </table> <p>サブ要素:</p> <p>property</p>	属性	説明	name	ヘルパークラスの一意の名前を指定します。 cache-mapping 要素で参照する名前です。 [省略不可] 既定値: default	class-name	キャッシュヘルパークラスの完全修飾クラス名を指定します。 [省略不可] 既定値:なし	
属性	説明								
name	ヘルパークラスの一意の名前を指定します。 cache-mapping 要素で参照する名前です。 [省略不可] 既定値: default								
class-name	キャッシュヘルパークラスの完全修飾クラス名を指定します。 [省略不可] 既定値:なし								
· · · property		<p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。</p> <p>カスタムのキャッシュヘルパークラスで使用できるプロパティを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <p>description</p>							
· · · · description		<p>プロパティの説明を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>							
· · default-helper		<p>内蔵のデフォルトキャッシュヘルパークラスのプロパティを変更します。</p> <p>[0~1 個]</p> <p>サブ要素:</p> <p>property</p>							

· · · property	<p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロパティ</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>cacheKeyGeneratorAttrName</td><td>カスタムのキー エネレータを設定 している ServletContext の 属性名を指定しま す。 既定値: 内蔵のデ フォルトキャッシュ ヘルパーのキー 生成を使用</td></tr> </tbody> </table> <p>サブ要素:</p> <p>description</p>	プロパティ	説明	cacheKeyGeneratorAttrName	カスタムのキー エネレータを設定 している ServletContext の 属性名を指定しま す。 既定値: 内蔵のデ フォルトキャッシュ ヘルパーのキー 生成を使用		
プロパティ	説明						
cacheKeyGeneratorAttrName	カスタムのキー エネレータを設定 している ServletContext の 属性名を指定しま す。 既定値: 内蔵のデ フォルトキャッシュ ヘルパーのキー 生成を使用						
· · · · description	<p>プロパティの説明を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>						
· · property	<p>キャッシュのプロパティを指定します。</p> <p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロパティ</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>cacheClassName</td><td>キャッシュ機能を実装 するクラスの完全修飾 クラス名を指定しま す。 指定できる値は以下 のとおりです。 com.nec.webotx.appse rv. util.cache.LruCache com.nec.webotx.appse rv. util.cache.BaseCache com.nec.webotx.appse rv. util.cache.MultiLruCac he com.nec.webotx.appse rv. util.cache.BoundedMul tiLruCache 既定値: com.nec.webotx.appse rv. util.cache.LruCache</td></tr> <tr> <td>MultiLRUPageSize</td><td>独自の LRU リストを持 つキャッシュテーブル の 1 セグメントのエント リ数を指定します。 cacheClassName プロ パティで com.nec.webotx.appse rv. util.cache.MultiLruCac he を指定した場合の み有効です。 既定値: 4096</td></tr> </tbody> </table>	プロパティ	説明	cacheClassName	キャッシュ機能を実装 するクラスの完全修飾 クラス名を指定しま す。 指定できる値は以下 のとおりです。 com.nec.webotx.appse rv. util.cache.LruCache com.nec.webotx.appse rv. util.cache.BaseCache com.nec.webotx.appse rv. util.cache.MultiLruCac he com.nec.webotx.appse rv. util.cache.BoundedMul tiLruCache 既定値: com.nec.webotx.appse rv. util.cache.LruCache	MultiLRUPageSize	独自の LRU リストを持 つキャッシュテーブル の 1 セグメントのエント リ数を指定します。 cacheClassName プロ パティで com.nec.webotx.appse rv. util.cache.MultiLruCac he を指定した場合の み有効です。 既定値: 4096
プロパティ	説明						
cacheClassName	キャッシュ機能を実装 するクラスの完全修飾 クラス名を指定しま す。 指定できる値は以下 のとおりです。 com.nec.webotx.appse rv. util.cache.LruCache com.nec.webotx.appse rv. util.cache.BaseCache com.nec.webotx.appse rv. util.cache.MultiLruCac he com.nec.webotx.appse rv. util.cache.BoundedMul tiLruCache 既定値: com.nec.webotx.appse rv. util.cache.LruCache						
MultiLRUPageSize	独自の LRU リストを持 つキャッシュテーブル の 1 セグメントのエント リ数を指定します。 cacheClassName プロ パティで com.nec.webotx.appse rv. util.cache.MultiLruCac he を指定した場合の み有効です。 既定値: 4096						

		<p>MaxSize</p> <p>キヤッッシュのメモリサイズの上限値を KB または MB 単位で指定します。 cacheClassName プロパティで com.nec.webotx.appserver.util.cache.BoundedMultiLruCache を指定した場合のみ有効です。 既定値:無制限 (Long.MAX_VALUE)</p>		
		<p>サブ要素:</p> <p>description</p>		
... · description		<p>プロパティの説明を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>		
... · cache-mapping		<p>サーブレット名または URL パターンにキヤッッシュの条件を割り当てます。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <p>servlet-name</p> <p>url-pattern</p> <p>cache-helper-ref</p> <p>timeout</p> <p>refresh-field</p> <p>dispatcher</p> <p>http-method</p> <p>key-field</p> <p>constraint-field</p>		
... · servlet-name		<p>キヤッッシュを有効にするサーブレットの名前を指定します。</p> <p>web.xml ファイルの servlet 要素の servlet-name で定義しているサーブレット名でなければなりません。</p> <p>[servlet-name または url-pattern が 1 個]</p>		
... · url-pattern		<p>キヤッッシュを有効にするサーブレットの URL パターンを指定します。</p> <p>[servlet-name または url-pattern が 1 個]</p>		
... · cache-helper-ref		<p>使用するキヤッッシュヘルパークラスを cache-helper 要素の name 属性で定義している名前で指定します。</p> <p>[timeout, refresh-field, http-method, key-field, constraint-field を使用しない場合に 1 個]</p>		
... · timeout		<p>エントリを生成、更新してからキヤッッシュ内に保持する最大時間を秒単位で指定します。cache-mapping ごとの値です。</p> <p>指定しない場合は、cache 要素の timeout-in-seconds 属性の値を使用します。</p> <p>[cache-helper-ref を使用しない場合に 0~1 個]</p>		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #a0c0ff;">属性</th> <th style="background-color: #a0c0ff;">説明</th> </tr> </thead> </table>	属性	説明
属性	説明			

	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">name</td><td>このタイムアウト値の パラメータ名を指定し ます。 [省略不可]</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">scope</td><td>このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie request.attribute session.attribute [省略可] 既定値: request.attribute</td></tr> </table>	name	このタイムアウト値の パラメータ名を指定し ます。 [省略不可]	scope	このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie request.attribute session.attribute [省略可] 既定値: request.attribute		
name	このタイムアウト値の パラメータ名を指定し ます。 [省略不可]						
scope	このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie request.attribute session.attribute [省略可] 既定値: request.attribute						
... refresh-field	<p>アプリケーションコンポーネントのプログラムでキャッシングエンタリのリフレッシュができるようにするフィールドを指定します。</p> <p>[cache-helper-ref を使用しない場合に 0~1 個]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">name</td><td>このリフレッシュフィー ルドのパラメータ名を 指定します。 [省略不可]</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">scope</td><td>このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie session.id session.attribute [省略可] 既定値: request.parameter</td></tr> </tbody> </table>	属性	説明	name	このリフレッシュフィー ルドのパラメータ名を 指定します。 [省略不可]	scope	このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie session.id session.attribute [省略可] 既定値: request.parameter
属性	説明						
name	このリフレッシュフィー ルドのパラメータ名を 指定します。 [省略不可]						
scope	このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie session.id session.attribute [省略可] 既定値: request.parameter						
... dispatcher	<p>キャッシング対象の dispatcher を指定します。</p> <p>[cache-helper-ref を使用しない場合に 0 個以上]</p> <p>既定値:REQUEST</p>						
... http-method	<p>キャッシング対象の HTTP メソッドを指定します。</p> <p>[cache-helper-ref を使用しない場合に 0 個以上]</p> <p>既定値:GET</p>						
... key-field	<p>キャッシングエンタリの検索や抽出に使用するキーのコンポーネントを指定します。</p> <p>この要素が存在しない場合は、サーブレットパスを使用します。</p> <p>[cache-helper-ref を使用しない場合に 0 個以上]</p>						

	属性	説明
	name	このキーフィールドの パラメータ名を指定し ます。 [省略不可]
	scope	このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie session.id session.attribute [省略可] 既定値: request.parameter
... constraint-field		指定した url-pattern あるいは servlet-name に対するキャッシング 制約条件を指定します。 [cache-helper-ref を使用しない場合に 0 個以上]
	name	この制約条件フィール ドのパラメータ名を指 定します。 [省略不可]
	scope	このパラメータの有効 範囲を指定します。 指定できる値は以下 のとおりです。 context.attribute request.header request.parameter request.cookie request.attribute session.attribute [省略可] 既定値: request.parameter
	cache-on-match	条件に一致する応答 をキャッシングするかど うか指定します。 constraint-field-value サブ要素の属性より 優先します。 [省略可] 既定値:true
	cache-on-match-failur e	条件に一致しない応 答をキャッシングするか どうか指定します。 constraint-field-value サブ要素の属性より 優先します。 [省略可] 既定値:false

	<p>サブ要素:</p> <p>constraint-field-value</p>								
· · · · constraint-field-value	<p>パラメータの値と比較する制約条件を指定します。比較では大文字、小文字は区別します。</p> <p>[0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>match-expr</td><td> 使用する比較の種類を指定します。 指定できる値は以下のとおりです。 equals greater lesser not-equals in-range [省略可] 既定値:equals </td></tr> <tr> <td>cache-on-match</td><td> 条件に一致する応答をキャッシュするかどうか指定します。 [省略可] 既定値:true </td></tr> <tr> <td>cache-on-match-failure</td><td> 条件に一致しない応答をキャッシュするかどうか指定します。 [省略可] 既定値:false </td></tr> </tbody> </table>	属性	説明	match-expr	使用する比較の種類を指定します。 指定できる値は以下のとおりです。 equals greater lesser not-equals in-range [省略可] 既定値:equals	cache-on-match	条件に一致する応答をキャッシュするかどうか指定します。 [省略可] 既定値:true	cache-on-match-failure	条件に一致しない応答をキャッシュするかどうか指定します。 [省略可] 既定値:false
属性	説明								
match-expr	使用する比較の種類を指定します。 指定できる値は以下のとおりです。 equals greater lesser not-equals in-range [省略可] 既定値:equals								
cache-on-match	条件に一致する応答をキャッシュするかどうか指定します。 [省略可] 既定値:true								
cache-on-match-failure	条件に一致しない応答をキャッシュするかどうか指定します。 [省略可] 既定値:false								
· class-loader	<p>Web アプリケーションのクラスローダを設定します。</p> <p>[0~1 個]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>extra-class-path</td><td> この Web アプリケーションに追加するクラスパスを指定します。 [省略可] 既定値:なし </td></tr> <tr> <td>delegate</td><td> 親のクラスローダを優先する(true)か、ローカルのクラスローダを優先する(false)かを指定します。 [省略可] 既定値:true </td></tr> </tbody> </table> <p>サブ要素:</p> <p>property</p>	属性	説明	extra-class-path	この Web アプリケーションに追加するクラスパスを指定します。 [省略可] 既定値:なし	delegate	親のクラスローダを優先する(true)か、ローカルのクラスローダを優先する(false)かを指定します。 [省略可] 既定値:true		
属性	説明								
extra-class-path	この Web アプリケーションに追加するクラスパスを指定します。 [省略可] 既定値:なし								
delegate	親のクラスローダを優先する(true)か、ローカルのクラスローダを優先する(false)かを指定します。 [省略可] 既定値:true								
· · property	<p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <p>description</p>								

▪ ▪ ▪ description	プロパティの説明を指定します。 [0~1 個]																				
▪ jsp-config	JSP を事前コンパイルするとき、または precompilejsp オプションを指定してアプリケーションを配備するときに使用する JSP の設定情報を指定します。 [0~1 個] サブ要素： property																				
▪ ▪ property	name と value を属性にもつプロパティを指定します。 [0 個以上] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <th style="text-align: left; padding: 5px;">プロパティ</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">compiler</td><td style="padding: 5px;">JSP のコンパイラを指定します。 既定値 :javac</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">classdebuginfo</td><td style="padding: 5px;">生成した Java サーブレットをコンパイルするときにデバッグオプションをつけるかどうかを指定します。 既定値 :true</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">classpath</td><td style="padding: 5px;">生成した Java サーブレットをコンパイルするときに使用するクラスパスを指定します。 既定値 :Web アプリケーションに基づいて動的に生成</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">enablePooling</td><td style="padding: 5px;">タグハンドラのキャッシングを有効にするかどうかを指定します。 既定値 :true</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">javaEncoding</td><td style="padding: 5px;">生成する Java サーブレットのエンコーディングを指定します。Java コンパイラにも渡ります。 既定値 :UTF8</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">genStrAsCharArray</td><td style="padding: 5px;">文字列を char 配列として生成するかどうかを指定します。 既定値 :false</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">errorOnUseBeanInvalidClassAttribute</td><td style="padding: 5px;">useBean の class 属性値が bean クラスとして有効でない場合にエラーにするかどうかを指定します。 既定値 :false</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">scratchdir</td><td style="padding: 5px;">生成コードを格納する作業ディレクトリを指定します。 既定値 :Web アプリケーションのデフォルト作業ディレクトリ</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">xpoweredBy</td><td style="padding: 5px;">生成する Java サーブレットで X-Powered-By レスポンスヘッダを付与する</td></tr> </tbody> </table>	プロパティ	説明	compiler	JSP のコンパイラを指定します。 既定値 :javac	classdebuginfo	生成した Java サーブレットをコンパイルするときにデバッグオプションをつけるかどうかを指定します。 既定値 :true	classpath	生成した Java サーブレットをコンパイルするときに使用するクラスパスを指定します。 既定値 :Web アプリケーションに基づいて動的に生成	enablePooling	タグハンドラのキャッシングを有効にするかどうかを指定します。 既定値 :true	javaEncoding	生成する Java サーブレットのエンコーディングを指定します。Java コンパイラにも渡ります。 既定値 :UTF8	genStrAsCharArray	文字列を char 配列として生成するかどうかを指定します。 既定値 :false	errorOnUseBeanInvalidClassAttribute	useBean の class 属性値が bean クラスとして有効でない場合にエラーにするかどうかを指定します。 既定値 :false	scratchdir	生成コードを格納する作業ディレクトリを指定します。 既定値 :Web アプリケーションのデフォルト作業ディレクトリ	xpoweredBy	生成する Java サーブレットで X-Powered-By レスポンスヘッダを付与する
プロパティ	説明																				
compiler	JSP のコンパイラを指定します。 既定値 :javac																				
classdebuginfo	生成した Java サーブレットをコンパイルするときにデバッグオプションをつけるかどうかを指定します。 既定値 :true																				
classpath	生成した Java サーブレットをコンパイルするときに使用するクラスパスを指定します。 既定値 :Web アプリケーションに基づいて動的に生成																				
enablePooling	タグハンドラのキャッシングを有効にするかどうかを指定します。 既定値 :true																				
javaEncoding	生成する Java サーブレットのエンコーディングを指定します。Java コンパイラにも渡ります。 既定値 :UTF8																				
genStrAsCharArray	文字列を char 配列として生成するかどうかを指定します。 既定値 :false																				
errorOnUseBeanInvalidClassAttribute	useBean の class 属性値が bean クラスとして有効でない場合にエラーにするかどうかを指定します。 既定値 :false																				
scratchdir	生成コードを格納する作業ディレクトリを指定します。 既定値 :Web アプリケーションのデフォルト作業ディレクトリ																				
xpoweredBy	生成する Java サーブレットで X-Powered-By レスポンスヘッダを付与する																				

		ンスヘッダを追加する かどうかを指定しま す。 既定値: true
precompileDefaultEn coding		JSP の事前コンパイル をするときに使用する レスポンスのデフォル トエンコードを指定しま す。 JSP にエンコーディン グ指定 (Content-type の charset と pageEncoding) がない 場合に使用します。 既定値: なし
precompileDefaultBuf ferSize		JSP の事前コンパイル をするときに使用する レスポンスのバッファ サイズを指定します。 JSP の page ディレクテ イブで buffer 属性の指 定がない場合に使用 します。 kb 単位で指定しなけ ればなりません。小文 字の "kb" のみ有効で す。 既定値: なし
priorityJspInEncodi ng		JSP ファイルをコンパ イルする際、どの文字 コードを読み込むか Web アプリケーション の指定より高い優先 度で文字コードを 指定することができます。 規定値: なし
priorityJspOutEncodi ng		コンパイルした JSP フ ァイルのコードで HTTP レスポンスに setContentType で指 定される文字コードを Web アプリケーション の指定より高い優先 度で指定することができます。 規定値: なし
priorityJspOutEncodi ng-map:<ロケール名 (ja 等)>		コンパイルした JSP フ ァイルのコードで HTTP レpsonsに setContentType で指 定される文字コードを Web アプリケーション の指定より高い優先 度で指定することができます。HTTP レspo ンスのロケールとマッ ピングさせて指定し、 複数指定することができます。 規定値: なし

	<p>サブ要素:</p> <p><code>description</code></p>								
<code>description</code>	<p>プロパティの説明を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>								
<code>locale-charset-info</code>	<p>アプリケーションの国際化設定を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td><code>default-locale</code></td><td>デフォルトのロケールを指定します。 [省略可]</td></tr> </tbody> </table> <p>※この属性は現在利用できません</p> <p>サブ要素:</p> <p><code>locale-charset-map</code></p> <p><code>parameter-encoding</code></p>	属性	説明	<code>default-locale</code>	デフォルトのロケールを指定します。 [省略可]				
属性	説明								
<code>default-locale</code>	デフォルトのロケールを指定します。 [省略可]								
<code>locale-charset-map</code>	<p>文字エンコーディングにロケールとエージェントを割り当てます。</p> <p>[1 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td><code>locale</code></td><td>ロケールを指定します。 [省略不可]</td></tr> <tr> <td><code>agent</code></td><td>リクエストを送ってくるクライアントの種類を指定します。クライアントが送信する HTTP リクエストヘッダの <code>user-agent</code> の値と一致する値でなければなりません。 [省略可]</td></tr> <tr> <td><code>charset</code></td><td>ロケールを割り当てる文字エンコーディングを指定します。 [省略不可]</td></tr> </tbody> </table> <p>サブ要素:</p> <p><code>description</code></p>	属性	説明	<code>locale</code>	ロケールを指定します。 [省略不可]	<code>agent</code>	リクエストを送ってくるクライアントの種類を指定します。クライアントが送信する HTTP リクエストヘッダの <code>user-agent</code> の値と一致する値でなければなりません。 [省略可]	<code>charset</code>	ロケールを割り当てる文字エンコーディングを指定します。 [省略不可]
属性	説明								
<code>locale</code>	ロケールを指定します。 [省略不可]								
<code>agent</code>	リクエストを送ってくるクライアントの種類を指定します。クライアントが送信する HTTP リクエストヘッダの <code>user-agent</code> の値と一致する値でなければなりません。 [省略可]								
<code>charset</code>	ロケールを割り当てる文字エンコーディングを指定します。 [省略不可]								
<code>description</code>	<p>マッピングの説明を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>								
<code>parameter-encoding</code>	<p>リクエストヘッダの <code>content-type</code> に <code>charset</code> が設定されていない場合に、Web コンテナが使用する文字エンコードを決定する隠しフィールドとデフォルトの文字エンコードを指定します。</p> <p>[0~1 個]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td><code>form-hint-field</code></td><td>文字エンコードを指定するフォーム内の隠しフィールドの名前を指定します。 [省略可]</td></tr> <tr> <td><code>default-charset</code></td><td>リクエストのデフォルト</td></tr> </tbody> </table>	属性	説明	<code>form-hint-field</code>	文字エンコードを指定するフォーム内の隠しフィールドの名前を指定します。 [省略可]	<code>default-charset</code>	リクエストのデフォルト		
属性	説明								
<code>form-hint-field</code>	文字エンコードを指定するフォーム内の隠しフィールドの名前を指定します。 [省略可]								
<code>default-charset</code>	リクエストのデフォルト								

		文字エンコードを指定します。 [省略可]												
▪ parameter-encoding		form-hint-field と default-charset を属性にもつ parameter-encoding を指定します。 [0~1 個]												
▪ property		<p>name と value を属性にもつプロパティを指定します。 [0 個以上]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロパティ</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>crossContextAllowed</td><td>Web アプリケーションが ServletContext.getContext() メソッドを使ってほかの Web アプリケーションのコンテキストにアクセスすることを許可するかどうかを指定します。 既定値:なし</td></tr> <tr> <td>tempdir</td><td>この Web アプリケーションで使用する作業ディレクトリを指定します。コンパイルした JSP もこのディレクトリに格納します。 既定値: <domain_dir>/generate d/jsp /j2ee-modules/<appn ame></td></tr> <tr> <td>singleThreadedServle tPoolSize</td><td>Web アプリケーション内の個々の SingleThreadModel サーブレットに割り当てるサーブレットインスタンスの最大数を指定します。 既定値:5</td></tr> <tr> <td>reuseSessionID</td><td>リクエストに含まれているセッション ID が期限切れになっている場合に、同じセッション ID でセッションを生成するかどうかを指定します。 そのセッション ID がすでに使用されている場合は、セッションの生成に失敗し、null が返ります。 既定値:false</td></tr> <tr> <td>priorityResponseEnc oding</td><td>HTTP レスポンスにデータをどの文字コード</td></tr> </tbody> </table>	プロパティ	説明	crossContextAllowed	Web アプリケーションが ServletContext.getContext() メソッドを使ってほかの Web アプリケーションのコンテキストにアクセスすることを許可するかどうかを指定します。 既定値:なし	tempdir	この Web アプリケーションで使用する作業ディレクトリを指定します。コンパイルした JSP もこのディレクトリに格納します。 既定値: <domain_dir>/generate d/jsp /j2ee-modules/<appn ame>	singleThreadedServle tPoolSize	Web アプリケーション内の個々の SingleThreadModel サーブレットに割り当てるサーブレットインスタンスの最大数を指定します。 既定値:5	reuseSessionID	リクエストに含まれているセッション ID が期限切れになっている場合に、同じセッション ID でセッションを生成するかどうかを指定します。 そのセッション ID がすでに使用されている場合は、セッションの生成に失敗し、null が返ります。 既定値:false	priorityResponseEnc oding	HTTP レスポンスにデータをどの文字コード
プロパティ	説明													
crossContextAllowed	Web アプリケーションが ServletContext.getContext() メソッドを使ってほかの Web アプリケーションのコンテキストにアクセスすることを許可するかどうかを指定します。 既定値:なし													
tempdir	この Web アプリケーションで使用する作業ディレクトリを指定します。コンパイルした JSP もこのディレクトリに格納します。 既定値: <domain_dir>/generate d/jsp /j2ee-modules/<appn ame>													
singleThreadedServle tPoolSize	Web アプリケーション内の個々の SingleThreadModel サーブレットに割り当てるサーブレットインスタンスの最大数を指定します。 既定値:5													
reuseSessionID	リクエストに含まれているセッション ID が期限切れになっている場合に、同じセッション ID でセッションを生成するかどうかを指定します。 そのセッション ID がすでに使用されている場合は、セッションの生成に失敗し、null が返ります。 既定値:false													
priorityResponseEnc oding	HTTP レスポンスにデータをどの文字コード													

		<p>として出力するか、Web アプリケーションの指定より高い優先度で文字コードを指定することができます。</p> <p>規定値: なし</p>
	<p>priorityResponseEncoding-map:<ロケール名(ja 等)></p>	<p>HTTP レスポンスにデータをどの文字コードとして出力するか、Web アプリケーションの指定より高い優先度で文字コードを指定することができます。</p> <p>HTTP レスポンスのロケールとマッピングさせて指定し、複数指定することができます。</p> <p>規定値: なし</p>
	<p>サブ要素:</p> <p>description</p>	
· · description	<p>プロパティの説明を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>	
· message-destination	<p>アプリケーションの中で定義された論理メッセージ宛先の名前を指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <p>message-destination-name</p> <p>jndi-name</p>	
· · message-destination-name	<p>論理メッセージ宛先の名前を指定します。</p> <p>[1 個]</p>	
· · jndi-name	<p>論理メッセージ宛先の JNDI 絶対名を指定します。</p> <p>文字列 java:comp/env で始まる必要があります。</p> <p>[1 個]</p>	
· webservice-description	<p>Web サービスの名前と配備中に Web サービスの WSDL をパブリッシュするディレクトリを指定します。</p> <p>[0 個以上]</p> <p>サブ要素:</p> <p>webservice-description-name</p> <p>wsdl-publish-location</p>	
· · webservice-description-name	<p>Web サービスの名前を指定します。</p> <p>[1 個]</p>	
· · wsdl-publish-location	<p>配備中に Web サービスの WSDL をパブリッシュするディレクトリの URL を指定します。</p> <p>[0~1 個]</p>	